

現場説明書(技術的事項)

工事名 (仮称) 東中条ポンプ所新築工事

1 現場の状況

工事場所は、福山市神辺町地内に位置しています。

2 別途工事

プラント電気工事

プラント機械工事

場内配管工事

場内整備工事

3 福山市週休2日適用工事について

(発注者が指定した工事に該当し実施については○印のついたものを適用する)

- ・ 発注者指定型
- 受注者希望型

本工事は、持続可能な建設産業の実現に向けた労働環境の改善を目的とする福山市週休2日適用工事です。詳細については、別紙（公共建築工事における福山市週休2日適用工事の実施について）によるものとします。

2 留意事項

【共通事項】

- (1) 工事に当たっては、交通渋滞、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
- (2) 工事車両等の進入・退出・停車等に当たっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。
- (3) 資材の搬入、搬出時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。
- (4) 道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路に係る維持管理（舗装・構造物等の保護養生、補修等）は、受注者で行ってください。

- (5) 工事場所外においても、駐車違反、速度制限、積載制限等交通法規を遵守し、事故防止に万全を期してください。
- (6) 工事に係る留意事項は、協力業者、資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (7) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。
また、工事排水についても管理を徹底し、周辺排水路等に土砂等を流した場合は、速やかに清掃を行ってください。
- (8) 高所作業に当たっては、適切な安全対策を講じ、事故の防止に努めてください。
- (9) 実施工程表は、契約後14日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工関係書についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (10) 工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (11) 特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は関係法令に従い適切に処理してください。
- (12) 工事施工に必要な官公署への手続は、受注者の責任において速やかに行い、手続を行った場合は、速やかに報告してください。
- (13) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。
- (14) 受注者は、各種工事の職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。

【特記事項】

- (1) 施工区域及び隣接区域で別途工事が行われますので、現場着手日及び仮設計画など、あらかじめ関連工事業者とスケジュール調整を密に行い、協議調整の上、行ってください。
- (2) 施工区域前面道路は幅員が狭いため、施工時に通行止めを行う場合は、監督員と協議の上、地域住民への周知及び予告看板など、適切な措置を講じてください。
- (3) 工事で既存工作物等に損傷を与えないように対策を講じてください。
- (4) 本工事対象施設は本工事完成時に受電を行いません。そのため、建築電気及び建築機械の工事完了時の試験成績、機能確認は仮設にて電源を用意し試験を行ってください。
- (5) 工事作業及び工事関係車両の搬出入は、8時～17時までとしてください。
- (6) 重機作業等については、十分な振動・騒音・粉塵対策を講じてください。
- (7) 施工前に、施工図を提出し監督員の承諾を受けてください。
- (8) 本現場説明書及び設計図書に明示していない事項、またはその内容に疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議し指示を受けてください。

福山市上下水道局週休 2 日適用工事の実施について

1 福山市上下水道局週休 2 日適用工事の実施に係る用語の定義は次の各号に定めるものとする。

(1) 「週休 2 日」とは、次のアからイまでに定める区分に応じ、各条件を満たすものをいう。

ア 「完全週休 2 日（土日）」とは、対象期間の全ての週（原則として、土曜日から金曜日までの 7 日間とする。以下同じ。）毎に現場閉所又は現場休息（以下「現場閉所等」という。）を原則として土曜日及び日曜日に指定し、1 週間に 2 日以上の現場閉所等を行うものをいう。

イ 「月単位の週休 2 日」とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所等の日数が、4 週 8 休（現場閉所等の割合が 28.5%（8 日／28 日）以上のものをいう。以下同じ。）以上であるものをいう。

(2) 「現場閉所」とは、巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて 1 日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。

(3) 「現場休息」とは、分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて 1 日を通して現場作業が無い状態をいう。

(4) 「対象期間」とは、工事着手日（準備期間（契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。）を除く。）から工事の完成日（後片付け期間（契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間をいう。）を除く。）までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。

ア 年末年始 6 日間及び夏季休暇 3 日間

イ 工場製作のみが行われている期間

ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間

(5) 「発注者指定型」とは、週休 2 日適用工事として発注者が指定するものをいう。

(6) 「受注者希望型」とは、受注者が工事着手前に、発注者に対して週休 2 日適用工事として取り組む旨を申し出たものをいう。

2 週休 2 日は、次の各号に定めるところにより実施するものとする。

(1) 完全週休 2 日（土日）

1 (1) アに定めるところにより実施するものとする。ただし、対象期間内のうち、日数が 7 日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで実施できるものとする。

(2) 月単位の週休 2 日

1 (1) イに定めるところにより実施するものとする。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では 4 週 8 休に満たない月又は日数が 28 日に満たない月においては、当該月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより実

施できるものとする。

- 3 受注者は、受注した工事が発注者指定型の場合は、工事着手までに監督員に対し、実施する週休2日の区分について申し出るとともに、現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（様式1）（以下「計画表」という。）を提出するものとする。
- 4 受注者は、受注した工事が受注者希望型の場合は、工事着手までに監督員に対し、週休2日実施の有無及び実施する週休2日の区分について申し出るとともに、実施する場合は計画表を提出するものとする。工事着手前に週休2日を実施しない旨を申し出た場合は、工事着手後の週休2日を実施する旨の申出は受け付けないものとする。なお、週休2日実施を希望しない受注者は、6～7に規定する義務を負わない。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日適用工事である旨を土木工事にあっては標示板の見えやすい位置に記載して工事現場に設置し、建築工事にあっては施設管理者の承諾を得て公衆の見やすい場所に掲示しなければならない。この場合において、記載内容は、別記様式に定めるものを基本とするものとする。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日（7日が閉庁日の場合は翌開庁日）まで及び工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。
- 10 経費の補正は、次の各号に掲げるとおりとする。
 - (1) 発注者指定型
月単位の週休2日の経費を見込んで発注し、現場閉所等の実績に基づき、完全週休2日（土日）を達成したと認めた場合は、完全週休2日（土日）の補正係数を適用して変更契約し、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする。
 - (2) 受注者希望型
週休2日の経費は見込まず発注し、現場閉所等の実績に基づき、達成した週休2日の区分に応じて完全週休2日（土日）又は月単位の週休2日の補正係数を適用して変更契約を行うものとする。
- 11 土木工事に係る経費の補正係数については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数、別表土木工事市場単価の補正係数及び土木工事標準単価の補正係数を用いるものとする。
 - (1) 完全週休2日（土日）

ア 労務費	1.02
イ 共通仮設費	1.02
ウ 現場管理費	1.03
 - (2) 月単位の週休2日
ア 労務費 1.02

イ 共通仮設費 1.01

ウ 現場管理費 1.02

12 11(1)ア及び11(2)アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工とする。

13 建築工事に係る経費については、次の各号に掲げる現場閑所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数を用いて労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費とする。）及び現場管理費を補正するものとする。

(1) 完全週休2日（土日）

ア 労務費 1.02

イ 現場管理費 1.01

(2) 月単位の週休2日

労務費 1.02

14 週休2日を達成したときは、工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

15 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

別表

土木工事市場単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		月単位の 週休2日	完全 週休2日 (土日)
鉄筋工		1.02	1.02
ガス圧接工		1.01	1.01
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.02
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.01
道路標識設置工	設置	1.00	1.00
	撤去・移設	1.01	1.01
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
法面工		1.01	1.01
吹付栓工		1.01	1.01
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.01	1.01
道路植栽工		1.02	1.02
公園植栽工		1.02	1.02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.02
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.00
グルービング工		1.00	1.00
軟弱地盤処理工		1.01	1.01
コンクリート表面処理工 (ウォータージェット工)		1.01	1.01
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
砂基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
碎石基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
組立マンホール設置工		1.01	1.01
小型マンホール工		1.00	1.00
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00	1.00
	取付管布設及び支管取付工	1.01	1.01

土木工事標準単価の補正係数

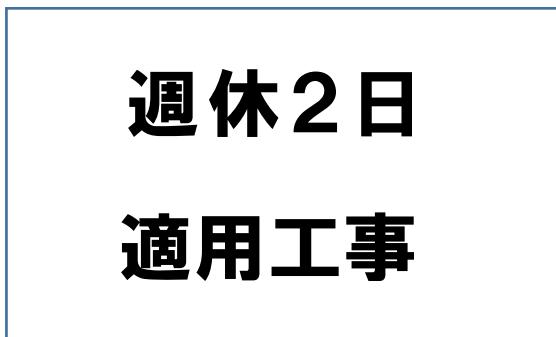
名称	区分	補正係数	
		月単位の 週休 2 日	完全 週休 2 日 (土日)
区画線工		1. 02	1. 02
高視認性区画線工		1. 02	1. 02
橋梁塗装工		1. 01	1. 01
構造物とりこわし工	機械	1. 01	1. 01
	人力	1. 02	1. 02
コンクリートブロック積工		1. 02	1. 02
排水構造物工		1. 02	1. 02

別記様式

(1) 土木工事

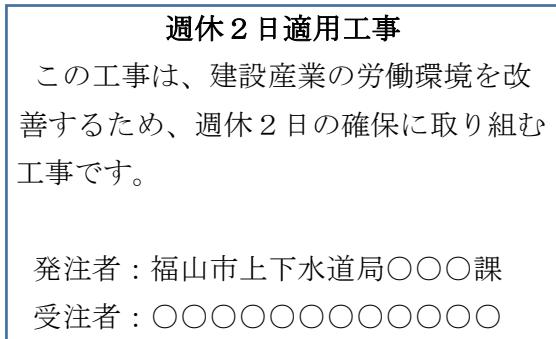


(2) 建築工事



(A3 サイズ以上)

(3) 共通



(A3サイズ以上)

(仮称) 東中条ポンプ所新築工事

図面目録

図面番号	図面名称	縮尺
1	位置図・工事箇所図	図示
2	配置図・敷地断面図・面積求積図	1:150
3	工事区分表	-
A-1	建築工事 特記仕様書No.1	-
A-2	建築工事 特記仕様書No.2	-
A-3	建築工事 特記仕様書No.3	-
A-4	建築工事 特記仕様書No.4	-
A-5	求積図・仕上表	1:100
A-6	平・立・断面図	1:100
A-7	平面詳細図	1:30
A-8	断面詳細図	1:30
A-9	部分詳細図(1)	図示
A-10	部分詳細図(2)	図示
A-11	建具枠回り詳細及び記号(鋼製)	-
A-12	建具枠回り詳細及び記号(鋼製・鋼製軽量)	-
A-13	建具配置図・建具リスト	1:100
A-14	貫通孔・埋込管及び基礎仕様書	-
A-15	貫通孔・埋込管及び基礎図(1)	1:30
A-16	貫通孔・埋込管及び基礎図(2)	1:30

図面番号	図面名称	縮尺
S-1	建築工事 特記仕様書 構造関係	-
S-2	鉄筋工事仕様書No.1	-
S-3	鉄筋工事仕様書No.2	-
S-4	土質柱状図	1:100
S-5	伏図	1:50
S-6	軸組図	1:50
S-7	断面リスト、部分詳細図	1:30
S-8	架構配筋詳細図	1:30
C-1	現況平面図	1:100
C-2	現況横断・縦断図	1:100
C-3	土工平面図	1:100
C-4	土工断面図	1:100
C-5	造成平面図	1:100
C-6	造成断面図	1:100
C-7	小型重力式擁壁展開図・標準図	1:100 1:25
AM-1	機械設備工事 特記仕様書No.1	-
AM-2	機械設備工事 特記仕様書No.2	-
AM-3	換気設備、機器表、平・断面図	1:30
AE-1	電気設備工事 特記仕様書	-
AE-2	電灯・コンセント設備 平面図	1:50

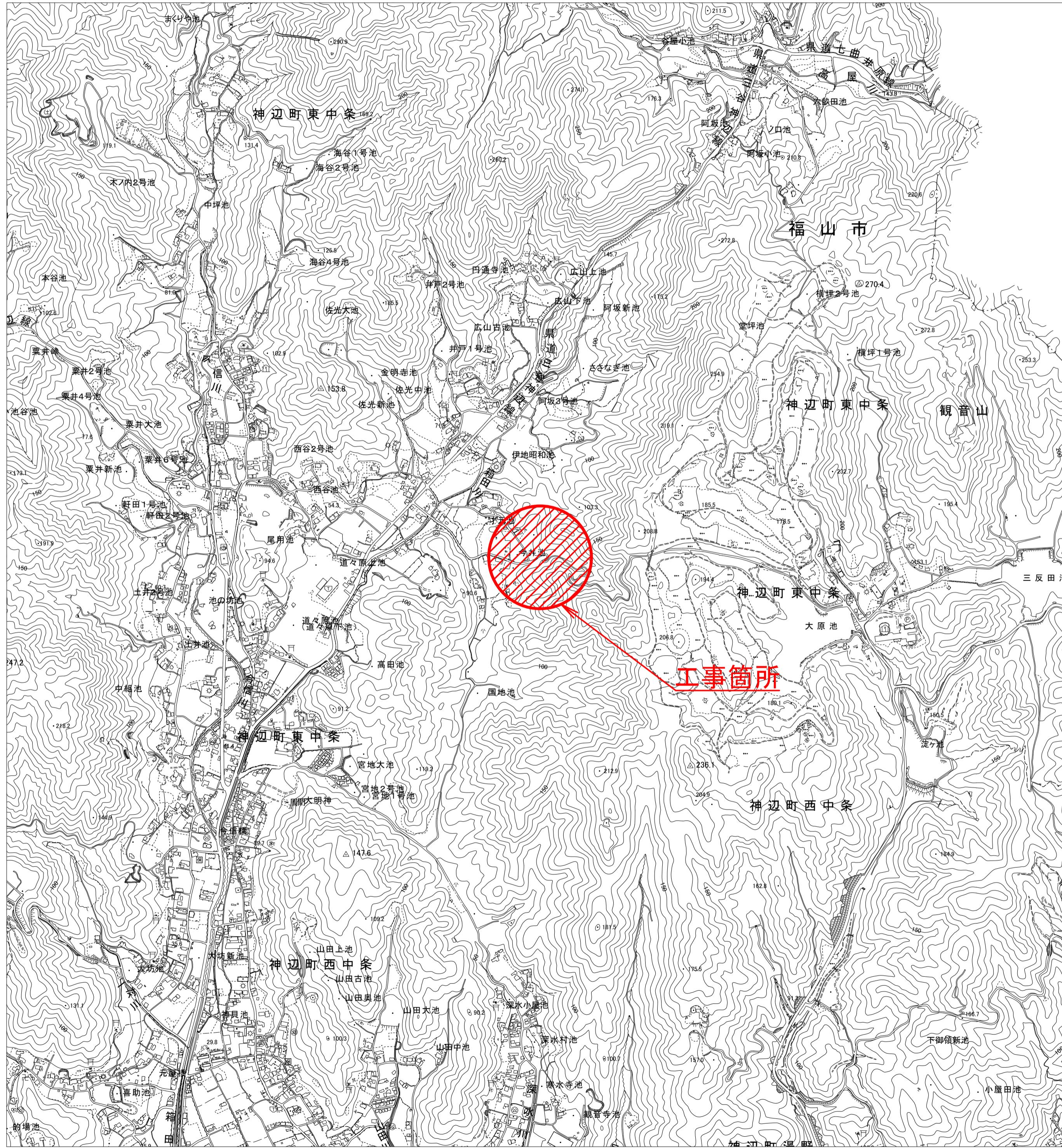
※:図面縮尺はA1サイズ出力でのものを記載

工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	位置図・工事箇所図		
図面番号	1	縮尺	図示
福山市上下水道局			

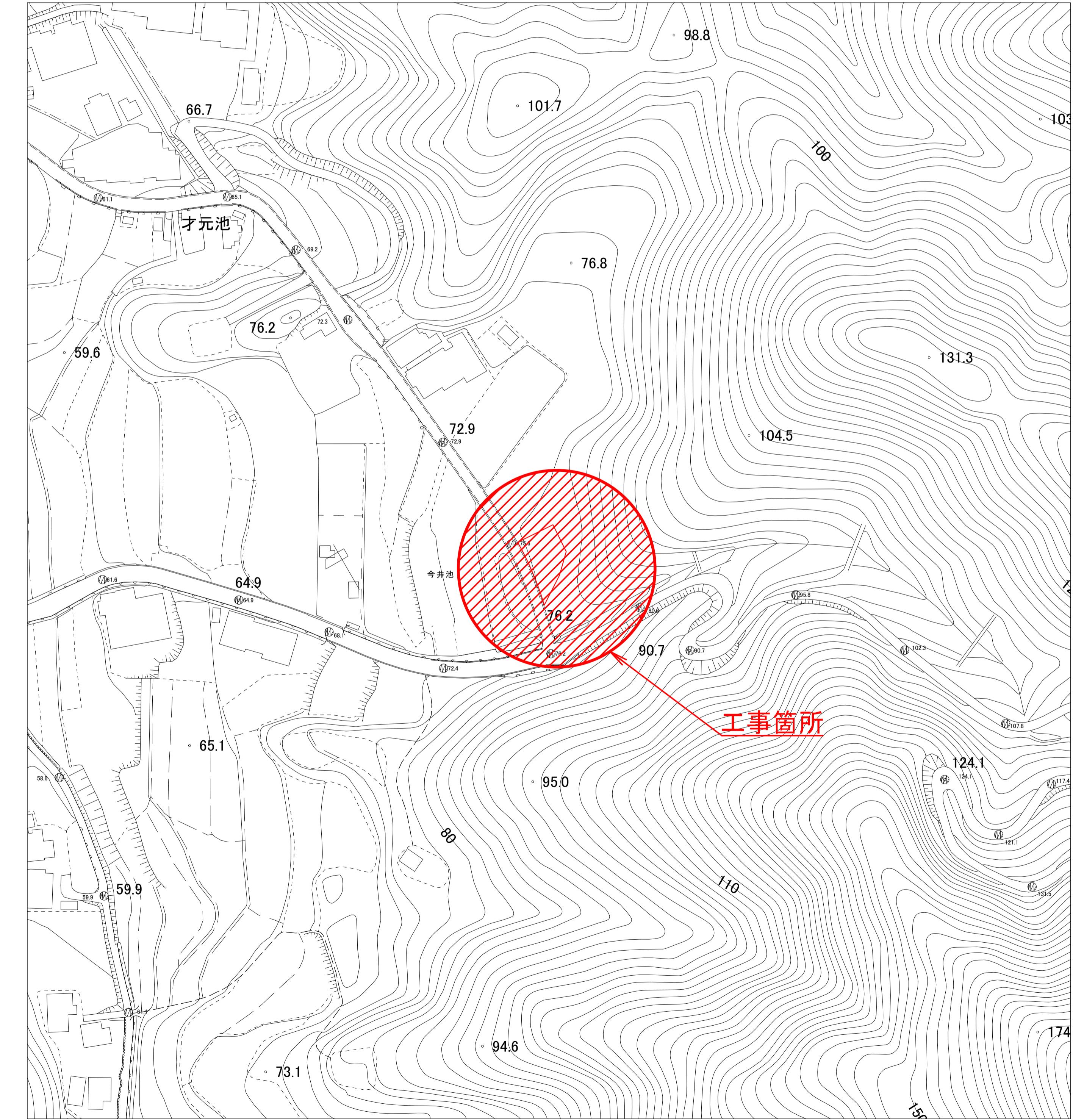
工事概要
 ・構造 RC造 平屋建
 ・規模 延べ面積 31.42m²
 ・その他 摊壁工 一式
 ・換気設備工事 一式
 ・電灯設備工事 一式

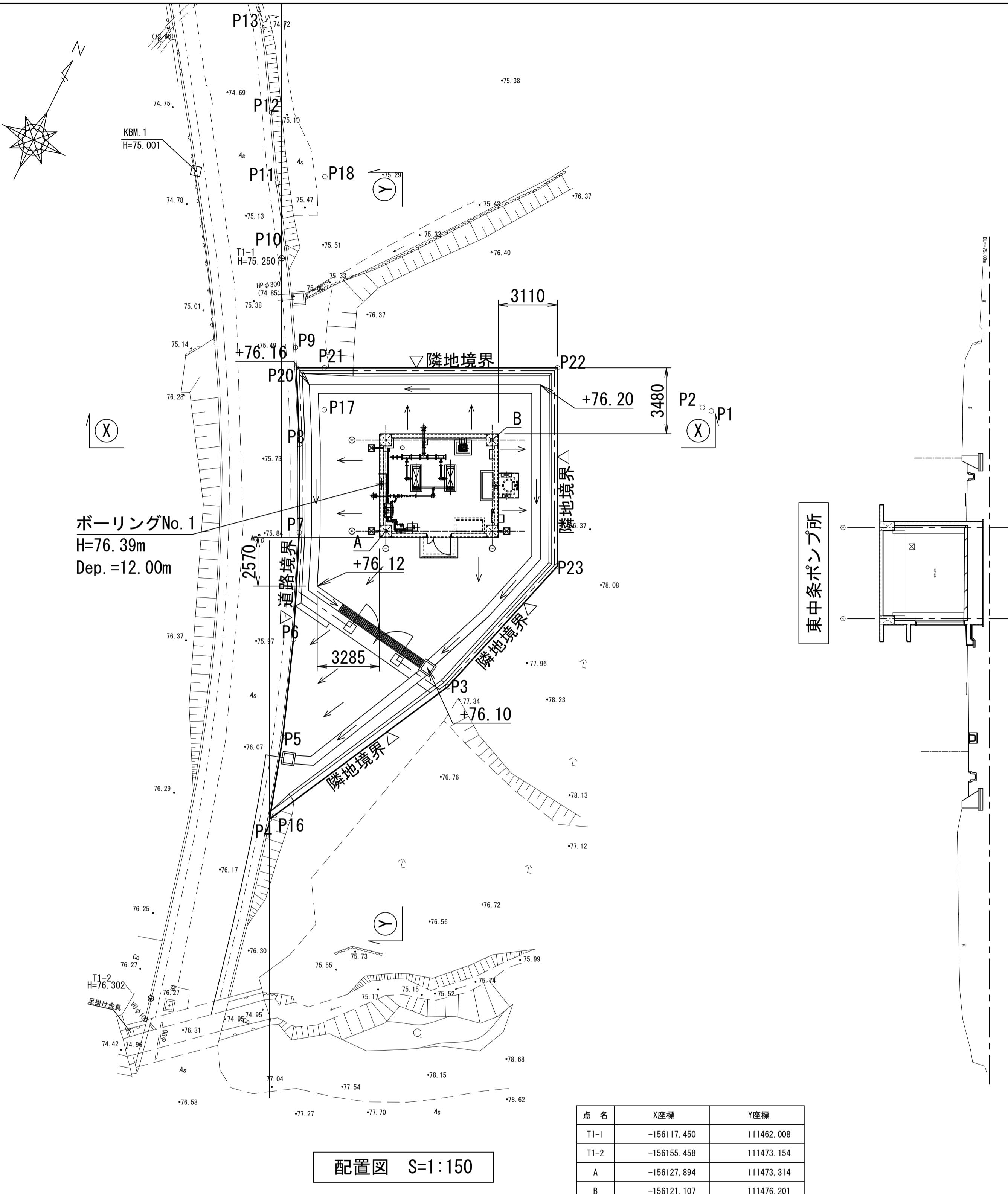
設計年月 2026年1月
 A3 50%縮小縮尺

位置図 S=1:10,000



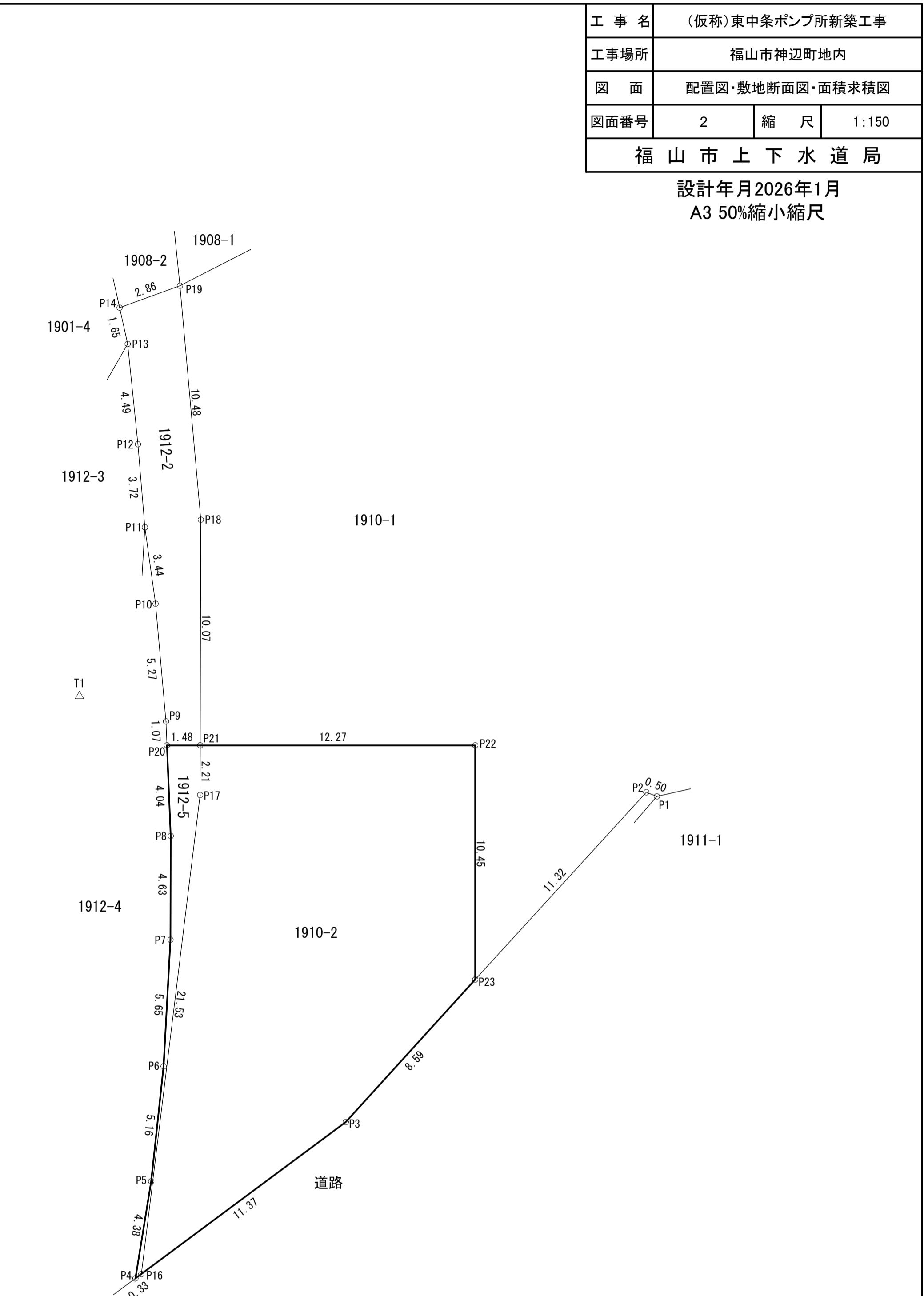
工事箇所図 S=1:1,000



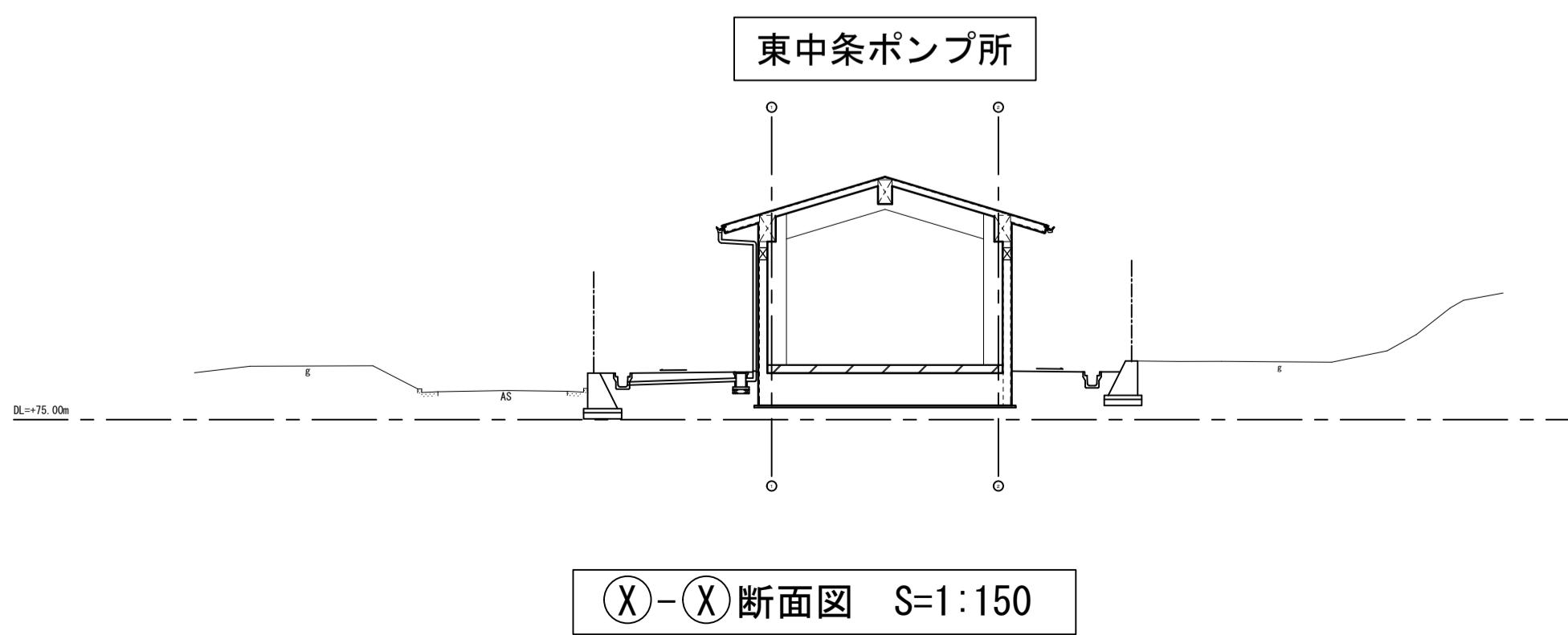


配置図 S=1:150

Y-Y断面図 S=1:150



敷地求積図 S=1:150



○-○断面図 S=1:150

敷地求積表

地番	1912-5					地番	1910-2				
測点名	X 座標	Y 座標	X _{n+1} -X _{n-1}	Y(X _{n+1} -X _{n-1})	測点名	X 座標	Y 座標	X _{n+1} -X _{n-1}	Y(X _{n+1} -X _{n-1})		
P4	-156144.216	111474.564	3.897	434416.375908	P21	-156121.615	111466.592	7.439	829199.977888		
P5	-156140.025	111473.271	9.041	1007829.843111	P22	-156116.164	111477.592	-3.915	-436434.772680		
P6	-156135.175	111471.487	10.044	1119619.615428	P23	-156125.530	111482.233	-17.629	-1965320.285557		
P7	-156129.981	111469.255	9.352	1042460.472760	P3	-156133.793	111479.880	-18.392	-2050337.952960		
P8	-156125.823	111467.207	7.707	859077.764349	P16	-156143.922	111474.714	10.190	1135927.335660		
P20	-156122.274	111465.262	4.208	469045.822496	P17	-156123.603	111467.571	22.307	2486507.106297		
P21	-156121.615	111466.592	-1.329	-148139.100768	倍面積					-458.591352	
P17	-156123.603	111467.571	-22.307	-2486507.106297	面積					229.2956760	
P16	-156143.922	111474.714	-20.613	-2297828.279682	合計					241.5920235	
倍面積					敷地面積					241.59 m ²	
面積											

工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	工事区分表		
図面番号	3	縮尺	-
福山市上下水道局			

設計年月2026年1月

工事区分一覧表 (工事区分の記載事項については区分が不明確になる恐れのあるものについて記入する。)

(C) (A) (AM) (AE) は、一括発注につき、図面記載上の区分を示す。

福山市建築工事特記仕様書	
I 工事概要	
1. 工事名称	(仮称) 東中条ポンプ所新築工事
2. 工事場所	福山市神辺町地内
3. 施工地域	・ 防火地域 準防火地域 ○ 指定なし
4. 防火地図	
5. 工事種別	○ 新築 増築
6. 施工面積	241.59m ²
7. 建物概要	RC造 平屋建
1) 構造	建築面積 31.42m ²
2) 面積	延べ面積 31.42m ²
床面積	1階 : 31.42m ²
	:
	:
	:
	:
	:

3) 付属施設

8. 别途工事	電気設備工事 升降機設備工事 ○ プラント機械設備工事
	給排水衛生設備工事 カーテン取付工事 ○ プラント電気設備工事
	空調機と設備工事 植栽工事
	ガス設備工事

* 本工事の工期は設備工事の工期及び工事検査期間としての14日を含んでいる。
 * 契約締結後14日内に実施工程表を提出する。
 * 本工事は法定外の労災保険を見込んでいる。

II 建築工事仕様

1. 共通仕様
 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官営管轄部監修、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下「建築標準仕様書」という。）による。ただし、アスベスト成形板の処理等は、国土交通省大臣官房官営管轄部監修、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下「建築改修標準仕様書」という。）による。
 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれ公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）による。

(1) 官署手続
 受注者は関係官署への必要な手続きを行なう。（官署手続きは監督員の承諾後とする。）
 (2) 地元企業及び地場製品の活用
 受注者は、地元企業及び地場製品の積極的な活用に努める。
 (3) 疑義に対する協議等
 設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合は現場の納まり、取り合い等の関係で、設計図書によることが困難苦しくは不都合が生じた場合は、監督員と協議する。

2. 特記仕様
 (1) 草、項目は番号に○印のついたものを適用する。
 (2) 特記項目は○印のついたものを適用する。
 ○印のつない場合は、※印のついたものを適用する。
 ○印と⑩印のついた場合は共に適用する。
 (3) 特記事項に記載の（）内表示番号は、「建築標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。
 (4) 材料および製造所等の記載順序は異なる。
 3. 引渡し検査
 - 引渡し検査（第1次点検）引渡しの概ね1年後
 - 引渡し検査（第2次点検）引渡しの概ね2年後

3) 特記事項
 ① 通用基準等
 - 公共住宅建設工事共通仕様書（令和元年度版）
 ○ 建築工事標準詳細 国土交通省大臣官房官営管轄部整備課監修（令和4年版）
 ○ 建築構造設計基準及び同解説 国土交通省大臣官房官営管轄部整備課監修（平成22年版）
 ○ 建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）建設経済局建設業課・住宅局建築指導課監修
 ○ 建築工事安全施工技術指針 建設大臣官房官営管轄部監修長通知
 - 建築改修標準仕様書 国土交通省大臣官房官営管轄部監修（令和4年版）
 ○ 建築基準法、消防法、その他関係法令
 - 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律への対応
 - 建築物移動等の円滑化説導基準（認定）

② 監理（主任）技術者
 受注者は、監理技術者及び主任技術者を建設業法により定め、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。

③ 工事実績情報の登録
 (1.1.4)
 * 受注者は、次回に従い、工事実績情報を登録する。
 登録内容について、あらかじめ監督員の承認を受けたのちに、次回の期間内に登録申請を行なう。ただし、期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉園日を除く。

請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時
500万円以上	契約締結日以内	変更契約締結日以内	工事完成後10日以内

 変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行なう（請負金額のみ変更の場合、登録不要）
 * 登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。
 なお、変更時と工事完成時の間が10日未満な場合は、変更時の提出を省略できる。（登録要）

④ 別契約の関連工事との調整等
 (1.1.7)
 施工範囲 「工事区分表」による。
 関連工事との調整
 * 別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。
 * 別契約の関連工事受注者と工事を含めた総合的な打合せを定期的に行なう、監督員の（1.1.7）調整に協力し、当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。

⑤ 施工管理
 (1.3.1)
 受注者は施工管理体制を確立し、品質、工程、安全等の施工管理を行う。(1.3.1)
 * 施工体制台帳（建設業法等に従って作成し、写しを提出する。）(1.1.5)
 技術者台帳（施工体制台帳に添付）
 監理技術者、主任技術者（下請を含む）及び専門技術者の写真、名前、生年月日、所属会社名を記載する。
 * 施工体系図（建設業法に基づき、当該現場の見やすい場所に掲示する。）

6 電気保安技術者
 (1.3.3)
 - 適用する ○ 適用しない (1.3.3)

⑦ 施工条件
 (1.3.5)
 ○ 作業時間は、原則午前8時から午後5時までとし、通常時間帯を考慮すること。(1.3.5)
 - 日曜日及び祝日に作業を行わないこと、ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りではない。

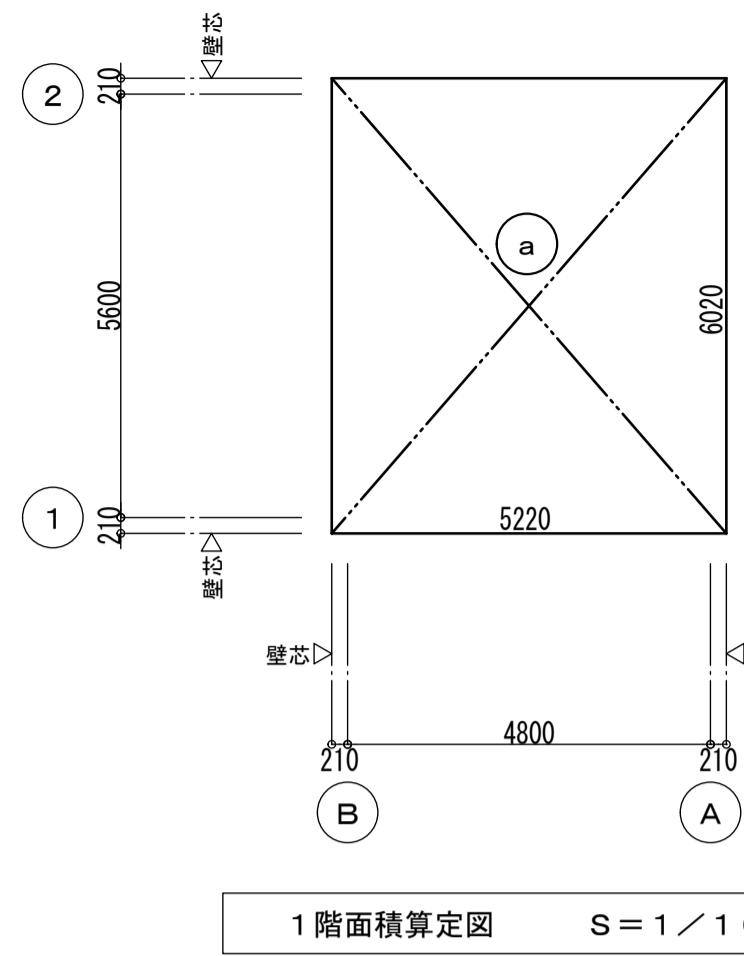
記号・略号
 (一)般 (構造材料)
 B.M....ベンチマーク U.P....上がる S.R.C....鉄骨筋コンクリート C.B....コンクリートブロック
 G.L....基礎地盤面 D.N....下がる R.C....鉄筋コンクリート S.I....木製
 F.L....基礎床面 P.S....アスベストベース P.C....プレキサストコンクリート S.W....鋼製
 W....内洗浄 D.S....ダクト・スベース A.L.C....軽量気泡コンクリート L.G.S....軽量型鋼
 H....内法高 E.V....エレベータ

章	項	特記事項	章	項	特記事項	章	項	特記事項	章	項	特記事項					
⑧	施工中の安全確保 (1.3.7)	・ 労働安全衛生法第30条第2項の規定に基づく指名・有り・無し (1.3.7) ○ 工事中は、騒音・振動の発生、粉塵の飛散（散水）、道路の汚染等の防止に努めること。 ※ 高騒音型・低騒動型建設機械を使用すること（近隣住民の生活環境の保護の必要性がある場合） ・ 本工事は、交通誘導員として人を見込んでいる。 交通誘導員の配置については、実施伝票（原本）および配置状況のわかる立会写真の撮影を行い監督員に提出する。	⑪	保証書	次の工事について保証書を提出する 工事区分 材料名 保証年限 備考	7	鉄骨工事					特記仕様書（構造関係）による				
⑨	資材の処理 (1.3.11)	・ 引渡しを要するもの () (1.3.11) ・ 現場において再利用を図るもの () ※ 再資源化を図るもの ・ アスファルトコンクリート コンクリート 木材 ・ コンクリート及び鉄からなる建設資材 ※ 上記以外のものは構外に搬出し、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設サイクル法」という）、「資源の効率的利用促進法」という、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下、「資源効率利用促進法」という）、「廃棄物処理法」という）その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適正に処理する。 建設副産物情報交換システム（C O B R I S）（財）日本建設情報総合センター 本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムデータの登録を行なうものとする。 また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入（搬出）する場合は、次表により計画書（実施書）を提出する。なお、これにより難い場合は、監督員と協議する。	⑫	施工図及び施工計画書	提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る使用権は、発注者に譲渡するものとする	8	C B A L C バッカル	コンクリートブロック (B.2.2) (8.3.2~3)	各部の配筋 ※ 図示による A L C パネルの種類等 種類 厚さ(mm) 単位荷重(N/m2) 耐火性能 工法 別種 ・ 外壁用 ・ 間仕切用 ・ 屋根用 ・ 床用	8.2.2~8.3.2	ブロックの種類及び厚さ ※ 空洞ブロック16 ・ 空洞ブロック16-W ・ 空洞ブロック08 種類 厚さ 各部の配筋 ※ 図示による A L C パネルの種類等 種類 厚さ(mm) 単位荷重(N/m2) 耐火性能 工法 別種 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種 ・ F種	外壁パネル工法における耐風圧性能及び耐震性能 ※ 図示による 伸縮目地への耐火材地材の塗装 ・ 適用する ・ 適用しない				
⑩	建築材料等	建築材料の製造所、品質及び施工業者などは、特記されたもの又は同等のものとする。ただし、同等とする場合は、監督員の承諾を受ける。 また、（社）公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所の品質・性能を有するとの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出する。 国等による環境物品等の調達等に関する法律（平成12年法律第100号）、「グリーン（1.4.1）購入法」というにより、環境負荷を低減できる材料を選定するよう努める。 材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 工事に使用する材料は、アスベストを含有しないものとする。 本工事の施工にあたり、東洋ガス化工品（株）又はニッタ化工品（株）で製造された製品や材料を用いる場合には、第三者機関による品質を証明する書類を提出すること。	⑬	情報共有システム	本工事は、インターネットを利用して、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事である。 本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事工事情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い、利用料を支払うものとする。 運用に当たっては、「福山市工事工事における情報共有システム利用実施要領（建築工事）及び「情報共有システム利用手引（建築工事）」によるものとする。	9	防 水 工 事	コンクリート ブロック (B.4.2~7)	各部の配筋 ※ 図示による A L C パネルの種類等 種類 厚さ(mm) 单位荷重(N/m2) 耐火性能 工法 別種 ・ 外壁用 ・ 間仕切用 ・ 屋根用 ・ 床用	8.4.2~8.4.2~4	外壁パネル工法における耐風圧性能及び耐震性能 ※ 図示による 伸縮目地への耐火材地材の塗装 ・ 適用する ・ 適用しない					
11	特別な材料の工法	受注者は、引渡し前に次の対象物質について室内空気中に含まれる濃度を測定し、(1.5.9)厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告する。 対象物質 ・ 4項目（ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン） ・ 5項目（ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン） ・ 6項目（ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン、パラジクロロベンゼン） (注) 文部科学省の「学校環境衛生の基準」による。	12	技能士 (1.5.2)	工事別 適用種別 工事別 適用種別 (1.5.2)	①	工事現場仮囲い 仮設工事 工事	・ ナイロンロープ張り 木製仮囲い 鋼製仮囲い ○ ガードフェンス(H=1800)	10	防水工事	アスファルト防水 (9.2.2)	種別 施工場所 (9.2.1~9.2.10)	屋根保護防水層（断熱工法）の断熱材（オゾン層を破壊する物質を使用しないもの） 材質及び種類 ※ 押出法ガリバット・断熱材3種B(A(外層付き)、JIS A 9521(建築用断熱材)) 厚さ mm	屋根露出防水層（断熱工法）の断熱材（オゾン層を破壊する物質を使用しないもの） 材質 ※ 泡発アスファルト断熱材 (JIS A 9521) 種類 厚さ mm	防水立上り部の保護 種類 ※ 乾式保護材 屋根露出防水絶縁工法の脱気装置 ・ 設計する ・ 開けない ※ 設計する 種類 平場部脱気型 設置数 管所	防水立上り部の保護 種類 ※ 乾式保護材 屋根露出防水絶縁工法の脱気装置 ・ 設計する ・ 開けない ※ 設計する 種類 平場部脱気型 設置数 管所
13	化学物質の濃度測定 (1.5.9)	受注者は、引渡し前に次の対象物質について室内空気中に含まれる濃度を測定し、(1.5.9)厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告する。 対象物質 ・ 4項目（ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン） ・ 5項目（ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン） ・ 6項目（ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン、パラジクロロベンゼン） (注) 文部科学省の「学校環境衛生の基準」による。	14	アスベスト含有成形板の処理等	処理を行うアスベスト含有成形板の仕様及び部位 アスベスト含有成形板の仕様 使用部位 ・ 石綿スレート ・ 石綿セメントけい酸カルシウム板 ・ その他 () ※ 事前に施工調査等により広く確認を行う。	②	① 工事現場仮囲い 仮設工事 工事	・ ナイロンロープ張り 木製仮囲い 鋼製仮囲い ○ ガードフェンス(H=1800)	11	防 水 工 事	アスファルト防水 (9.2.2)	種別 施工場所 (9.2.1~9.2.10)	屋根保護防水層（断熱工法）の断熱材（オゾン層を破壊する物質を使用しないもの） 材質及び種類 ※ 押出法ガリバット・断熱材3種B(A(外層付き)、JIS A 9521(建築用断熱材)) 厚さ mm	屋根露出防水層（断熱工法）の断熱材（オゾン層を破壊する物質を使用しないもの） 材質 ※ 泡発アスファルト断熱材 (JIS A 9521) 種類 厚さ mm	防水立上り部の保護 種類 ※ 乾式保護材 屋根露出防水絶縁工法の脱気装置 ・ 設計する ・ 開けない ※ 設計する 種類 平場部脱気型 設置数 管所	防水立上り部の保護 種類 ※ 乾式保護材 屋根露出防水絶縁工法の脱気装置 ・ 設計する ・ 開けない ※ 設計する 種類 平場部脱気型 設置数 管所
15	工事及び完成写真	測定方法 ※ 計画書を提出し、監督員の承諾を受ける。 対象室名 測定箇所数	③	① 工事現場仮囲い 仮設工事 工事	・ 設ける (m ² 程度) ・ 備品等 () ・ 敷地内へ建てることができる ④ 工事用水	④	① 工事現場仮囲い 仮設工事 工事	・ 有償で利用できる (副メーター設置等) ・ 有償で利用できる ⑤ 工事用電力	12	改質アスファルト シート防水 (9.3.2~3)	種別 施工場所 (9.3.2~3)	屋根露出防水層（断熱工法）の断熱材（オゾン層を破壊する物質を使用しないもの） 材質及び種類 ※ 押出法ガリバット・断熱材3種B(A(外層付き)、JIS A 9521(建築用断熱材)) 厚さ mm	屋根露出防水層（断熱工法）の断熱材（オゾン層を破壊する物質を使用しないもの） 材質 ※ 泡発アスファルト断熱材 (JIS A 9521) 種類 厚さ mm	改質アスファルト シート防水 (9.3.2~3)	改質アスファルト シート防水 (9.3.2~3)	
16	工事及び完成写真	測定方法 ※ 計画書を提出し、監督員の承諾を受ける。 対象室名 測定箇所数	⑤	① 工事現場仮囲い 仮設工事 工事	・ 有償で利用できる ・ 本引込みより引渡しまでの基本料金 ※ 受注者負担 ・ 本引込みより引渡しまでの使用料金 ※ 受注者負担	6	改質アスファルト シート防水 (9.3.2~3)	・ 有償で利用できる ・ 本引込みより引渡しまでの基本料金 ※ 受注者負担 ・ 有償で利用できる ・ 別途	13	合成高分子系 ルーフィング シート防水 (9.4.2~4)	種別 施工場所 (9.4.2~4)	防水立上り部の保護 種類 ※ 乾式保護材 屋根露出防水絶縁工法の脱気装置 ・ 設計する ・ 開けない ※ 設計する 種類 平場部脱気型 設置数 管所	防水立上り部の保護 種類 ※ 乾式保護材 屋根露出防水絶縁工法の脱気装置 ・ 設計する ・ 開けない ※ 設計する 種類 平場部脱気型 設置数 管所	防水立上り部の保護 		

章項		特記事項					章項		特記事項					章項		特記事項					章項		特記事項					
7	金属成形板張り (14.5.2~3)	種別	アルミスパンダレル(既製品)	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法	15	建具工事	種別	性能項目	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法	11	自動ドア開閉装置 (16.9.2)	木下地	性能による	・自動ドア開閉装置の性能	・引き戸用自動装置の場合、標準仕様書表16.9.1による	16.9.2	④	錆止め塗装塗り (18.3.2)(18.3.3)(表18.3.1~表18.3.4)	種別	下地面等	錆止め塗装の種別	工程の種別
		製法	押出し形材	板曲げ						D種	* S-2	* A-3	* W-3	(mm)					SOP	A種	* A種	B種						
		寸法(mm)	板幅	板厚					E種	* S-3	* A-3	* W-3	(mm)					D P	1回目C種	2、3回目D種	標準仕様書 表18.3.4							
		形状																E P-G	A種	* B種	標準仕様書 表18.3.4							
		表面処理																SOP	A種	* B種	標準仕様書 表18.3.4							
		伸縮締手	※設計ない	・設計する(場所は図示)														D P	1回目C種	2、3回目D種	標準仕様書 表18.3.4							
8	アルミニウム製笠木 (14.7.2~3)	※押出形材	・曲げ材															E P-G	A種	* B種	標準仕様書 表18.3.4							
		部材の種類	・250形(呼称肉厚は1.5以上)															SOP	※ A種	* B種	標準仕様書 表18.3.4							
			300形(呼称肉厚1.8以上)														D P	B種		標準仕様書 表18.3.4								
			・350形(呼称肉厚2.0以上)														E P-G	C種		標準仕様書 表18.3.4								
		表面処理	種別()種														SOP	・ A種	* B種	標準仕様書 表18.3.4								
		笠木等の固定金具の工法等															D P	A種		標準仕様書 表18.3.4								
		建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法															E P-G	C種		標準仕様書 表18.3.4								
		※ 図示による																										
15	1ラス系下地 (15.2.4)	※図示による。																										
左官工事	2せっこうボード、その他のボード下地 (15.2.5)	材料																										
		せっこうボード、せっこうラスボード及び木質系セメント板の種類及び厚さ																										
		木質系セメント板	種類()	厚さ(mm)																								
		せっこうラスボード	種類()	厚さ(mm)																								
	3こまごま下地 (15.2.6)	建築基準法に基づく耐力壁の指定	なし	あり																								
	4木製下地 (15.2.7)	材料																										
	5モルタル塗り (15.3.2~5)	木すり用小幅板の材種	※杉(心去り材)																									
		材料																										
		モルタル																										
		○現場調合材料	・既調合材料																									
		吸水調整材の品質	※表15.3.2による																									
		既製目地材	・使用しない	・使用する																								
		形状、寸法	()																									
	6セルフレベリング 材塗り (15.5.2)	床目地	・設ける(工法 *押し目地)																									
		外袋タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験	・行う																									
		木すり用小幅板の材種	※杉(心去り材)																									
		木すり用小幅板の材種	※杉(心去り材)																									
	7仕上塗材仕上げ (15.6.2)	材料																										
		内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量	※ F☆☆☆☆																									
		薄付け仕上塗材																										
		種類	厚さ(mm)																									
		セメント土	※ 10																									
		セメント土	※ 10																									
		薄付け仕上塗材																										
		種類	厚さ(mm)																									
		施工箇所																										
		内装薄塗材E	・砂壁状	・吹付け																								
		内装薄塗材E	・砂壁状じゅらく	・吹付け	・適用する																							
		可とう形外装薄塗材E	・砂壁状	・吹付け	・適用しない																							
		厚付け仕上塗材																										
		種類	仕上げの形状	工法	吸放湿性																							
		外装薄塗材E	・吹放し	・吹付け		・行う																						
		内装厚塗材E	・吹放し	・吹付け	・適用する																							
		可とう形外装薄塗材E	・吹放し	・吹付け	・適用しない																							
		複層仕上塗材																										
		種類	仕上げの形状	工法	上塗材																							
		外装厚塗材E	・吹放し	・吹付け		・行う																						
		内装厚塗材E	・吹放し	・吹付け	・適用する																							
		複層仕上塗材																										
		種類	仕上げの形状	工法	上塗材																							
		複層塗材E	・凹凸状	※吹付け	※水系	※アクリル系	・つやあり																					
		複層塗材CE	・凸部処理	○ドーラー	・溶剤系	・アクリル系	・つやなし																					
		可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状		・弱溶剤系	・アクリル系	・マット系																					

工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	求積図・仕上表		
図面番号	A-5	縮尺	1:100

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺



建築面積・1階床面積		
記号	計算式(m)	面積(m ²)
a	5.220 × 6.020	31.42

面積表		
建築面積	記号	面積(m ²)
延べ床面積	a	31.42 m ²
1階床面積	a	31.42 m ²

ポンプ棟 仕上表

共通事項	略号	外部付属物及び詳細番号	内部付属物及び詳細番号
<p>1. 外部仕上表及び内外部付属物の適用分類、詳細番号は、○印のついたものを適用する。</p> <p>2. 仕上表に記載の詳細番号のうち、(例) 1-0-2-3 は建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房 官庁施設部監修)を示す。</p> <p>3. 特記以外の木、鉄部の塗装はSOPとする。但し、和室回りは除く。</p> <p>4. 付属物のうち、室名札、床点検口、掲示板、案内板、ピクトグラフ、階段表示板等は、平面図による。</p> <p>5. 付属物のうち、カーテンボックス、ブラインドボックス、ブラインド、天井点検口等は天井伏図による。</p> <p>6. PF板、木板等打込み箇所は、別図による。</p> <p>7. 内壁の見え掛りとなるPF板打込み部分は、GB厚1.2、5直張り(継目処理工法)とし、塗装は、その部屋の壁面と同様とする。</p> <p>8. 壁のボード張りは水平方向には原則として継手は設けない。</p> <p>9. 天井仕上ボード張りのうち、GB-NC(NT)及びDR(下地GB共)は突付け張りとし、天井回り線は、アルミ製、天井付き目地とする。</p> <p>10. 直接地業工事に接する内部床のコンクリート下地には、防湿層としてポリエチレンフィルム厚0.15の敷込みを行う。ただし、床仕上げがビニル床タイル、ビニル床シート及び合成樹脂塗床、床用塗料の場合とする。</p> <p>11. 打放し仕上げの出隅部分は、面取りを行う。</p>	<p>C コンクリート CB コンクリートブロック W 木造 LGS 軽量鉄骨 GB-R セッコウボード GB-NC(N) 不燃積層セッコウボード(化粧無し:下地張り用) GB-NC(NT) 不燃積層セッコウボード(化粧有り:トラバーチン模様) GB-S シージングセッコウボード GB-F 強化セッコウボード ケイカル板 けい酸カルシウム板(タイプ2) DR ロックウール化粧吸音板 DR(凹凸) ロックウール化粧吸音板 凹凸模様 DR(軒天) ロックウール化粧吸音板 軒天用:トラバーチン模様 DR(軒天凹凸) ロックウール化粧吸音板 軒天用:凹凸模様 PF板 押出法ポリスチレンフォーム保温材 木毛板 木質系セメント板 TB テラゾーブロック 外装薄塗材(E) 外装成樹脂エマルション系薄付け仕上塗材 内装薄塗材(Si) 内装成樹脂エマルション系薄付け仕上塗材 内装薄塗材(E) 内装成樹脂エマルション系薄付け仕上塗材 C(B) コンクリート打放し(B) C(C) コンクリート打放し(C) M モルタル 軽量吹付 軽量骨材仕上塗材</p>	<p>複層塗材(E) 合成樹脂エマルション系複層仕上塗材 複層塗材(CE) ポリマーケント系複層仕上塗材 複層塗材(RE) 反応硬化形合成樹脂エマルション系複層仕上塗材 複層塗材(Si) けい酸質系複層仕上塗材 CL クリアラッカーコート AE アクリル樹脂エナメル塗り DP 耐候性塗料塗り EP-G つや有合成樹脂エマルションペイント塗り EP 合成樹脂エマルションペイント塗り UC ウレタン樹脂ワニス塗り OS オイルステイン塗り SOP 合成樹脂調合ペイント塗り NAD アクリル樹脂系非分散形塗料塗り LE ラッカーエナメル塗り WP 木材保護塗料塗り GW-B グラスウール化粧吸音板 2号32Kガラスブロック額縫貼 ステンレスフサ止め(壁:天井8か所/枚(910×1,820相当))</p>	<p>屋上点検口 5-2-1-1 屋上管類取り出入口 5-2-2-1 クーリングタワー基礎 5-2-2-2 5-2-2-3 テレビアンティ基礎 屋上換気塔 5-2-1-2 煙突 図示 7-2-1-1 足掛け金物 8-3-1-1 ○ 図示 タラップ 8-3-1-2 8-3-1-3 (安全ガード付) ルーフドレン 5-3-2-1 5-3-3-1 トップライト E X P. J 金物 笠木兼用避雷導体 手すり 旗竿 くつふきマット</p> <p>8-2-2-1 8-2-2-2 グレーチング 電気用ハンドホール蓋 文字板 府名板 郵便受 目地 8-3-1 (安全ガード付) ルーフドレン 5-3-2-1 5-3-3-1 図示 既製品 笠木兼用避雷導体 手すり アルミ(図示) ステンレス(図示) スチール(図示) 8-2-1 (安全ガード付) 8-3-1-2 8-3-1-3 (安全ガード付)</p> <p>屋上点検口 6-1-1-1 フード 6-1-1-2 コンロ台 6-1-1-1 流し上部水切り 6-1-1-3 6-1-1-4 図示 つり戸棚 6-1-1-5 水切り棚 6-1-1-5 脱衣箱 6-3-2-1 天井点検口 3-4-2-2 床点検口 既製品 一般便房 既製品 6-2-2 車椅子使用者用 6-2-3-1-2-3 簡易型便房 オストメトイ用便房 6-2-4-1-2-3-4 車椅子使用者用 6-2-5-1 便房 6-2-6-1-2-3 便所手すり 6-2-8-1-2-3-4-5 トラフ 1-2-1-1 くつふきマット 8-2-1-1 足掛け金物 8-3-1-1 ○ 図示 タラップ 8-3-1-2 8-3-1-3 (安全ガード付) フック グレーチング受栓 8-3-1-3 (安全ガード付) U型 図示 8-4-3-1 8-4-4-1 マンホール蓋 室名札 ピクトグラム 府名板 各階案内板 8-4-2-1 下足箱 浴室まわり 6-3-1-1</p>

外部仕上表

床	腰・幅木	外壁	屋根		パラベット	バルコニー		ひさし		備考	
			下地・防水層	押え・仕上		床	手すり	上端	はな		
磁器質タイル コンクリート直均し仕上 モルタル塗り	磁器質タイル コンクリート打放し(B)	磁器質タイル コンクリート打放し(B)の上 複層塗材(RE)	下地 ○ コンクリート直均し仕上 防水層 アスファルト防水(A-) 絶縁材 ポリエチレンフィルム厚0.15 フロアーヤーンクロス(A-) 70 g/m ²	押え 無筋コンクリート厚8.0 補強用溶接金網6φ-100@ 仕上 ● 押えコンクリート直均し仕上 立上がり防水押え	笠木 アルミ既製品 ・ 避雷導体兼用 E-01-1 仕上 ○ 塗膜防水(X-2)	仕上 磁器質タイル ・ 防水モルタル塗り	磁器質タイル ・ 防水モルタル塗り	防水層 アスファルト防水() ・ 合成高分子ルーフィング シート防水 ○ 塗膜防水(X-2) ・ 軒天用ロックウール(外部用) 化粧吸音板	磁器質タイル ○ コンクリート打放し(B)の上 塗膜防水(X-2) ・ 無筋コンクリート厚 仕上 防水モルタル塗り ・ コンクリート直均し仕上	金属成形板 ・ ケイカル板 AE ○ コンクリート打放し(C)	軒樋: 色塗化ビニル製W50(既製品) 縦樋: カラーVP φ75

内部仕上表

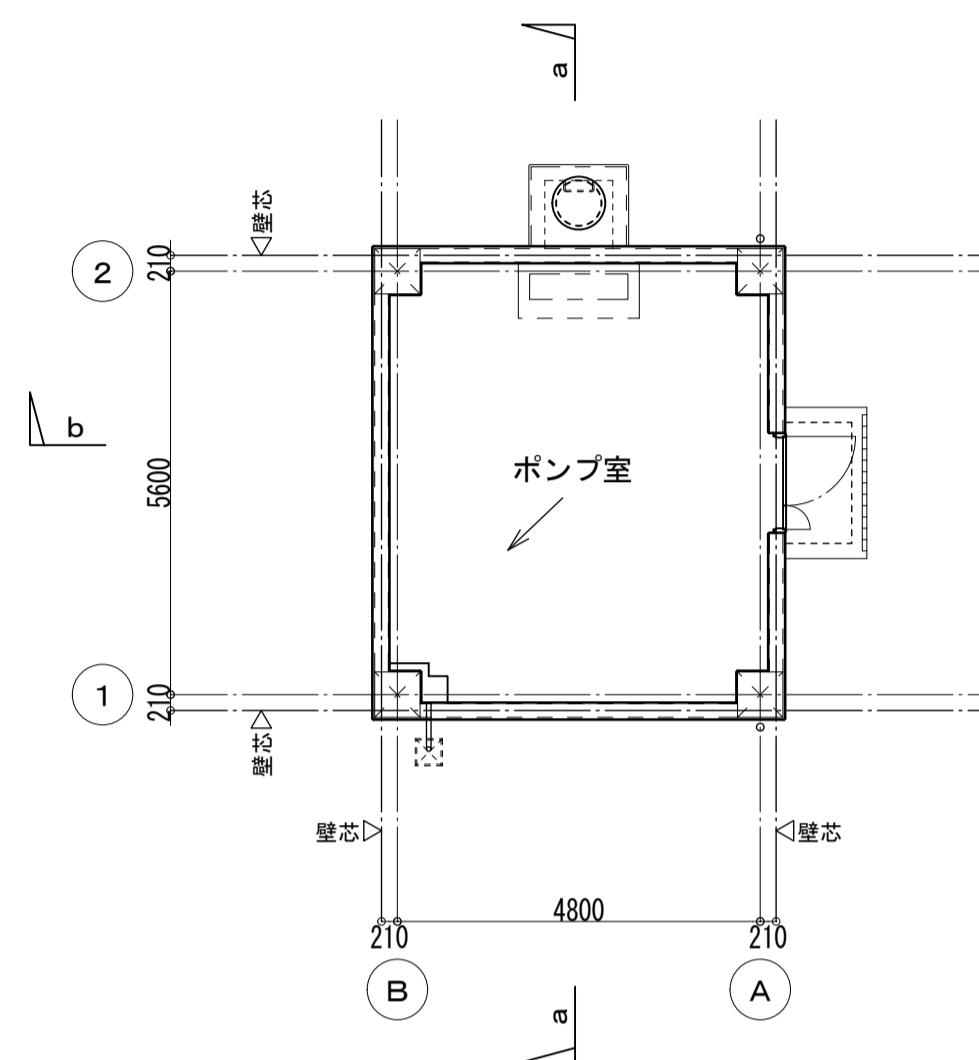
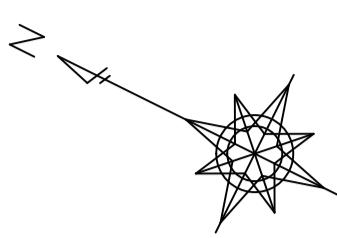
階	室名	床			幅木			腰壁			壁			天井			備考						
		下地	仕上	詳細番号	下地	仕上	高さ	詳細番号	下地	仕上	高さ	詳細番号	柱型仕上	詳細番号	下地	仕上	高さ	詳細番号	梁型仕上	詳細番号			
1	ポンプ室	<無筋コンクリート厚170~200>(PM)	<コンクリート直均し仕上>(PM)	I-01-3								C	コンクリート打放し(B)	2-02-11	コンクリート打放し(B)	2-02-11	C	GW-B t25	直天	3-01-12	コンクリート打放し(B)	2-02-7	<機械設備基礎> (PM) <電気設備基礎> (PE) <排水溝、排水溝> (PM)

特記なき限り

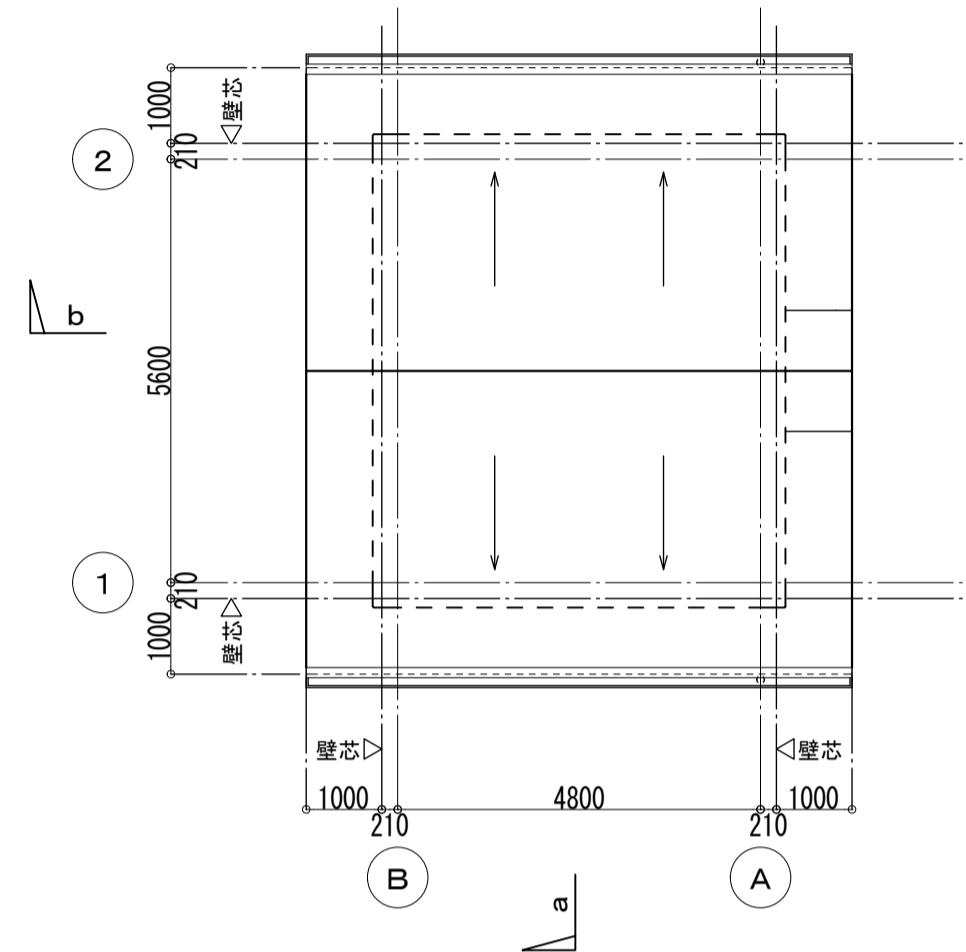
仕上材の厚さ	材料名	種別	壁(m/m)	天井(m/m)	備考	材料名	種別	壁(m/m)	天井(m/m)	備考	工事区分略号	特記事項						
	GB-R	仕上	1.2	5	1.2	5	NM-8619	1.2	1.0	NM-8578			<C>	土木工事				
		下地	1.2	5				2.5	2.5			<AM>	建築機械設備工事					
	GB-NC(N)	下地		9.5		NM-8613						<AE>	建築電気設備工事					
	GB-NC(NT)			9.5			GW-B		2.5	2.5	NM-8606	<PM>	プラント機械設備工事					
	DR			1.2		NM-8599						<PE>	プラント電気設備工事					

工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	平・立・断面図		
図面番号	A-6	縮尺	1:100
福山市上下水道局			

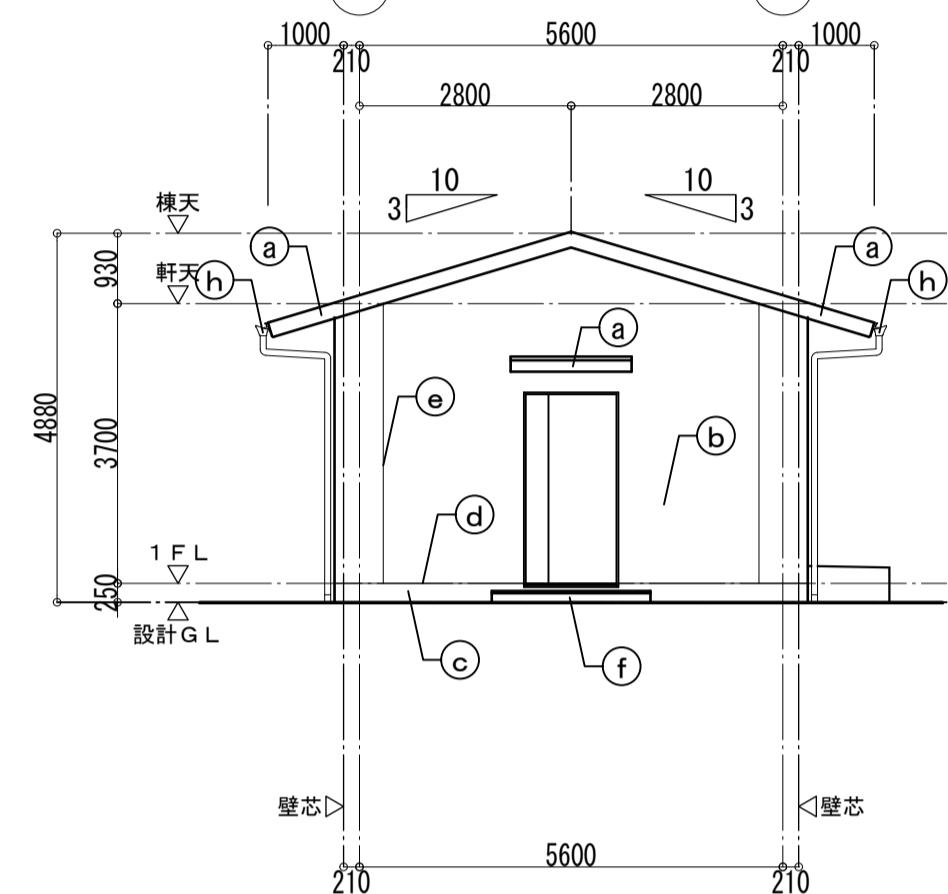
設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺



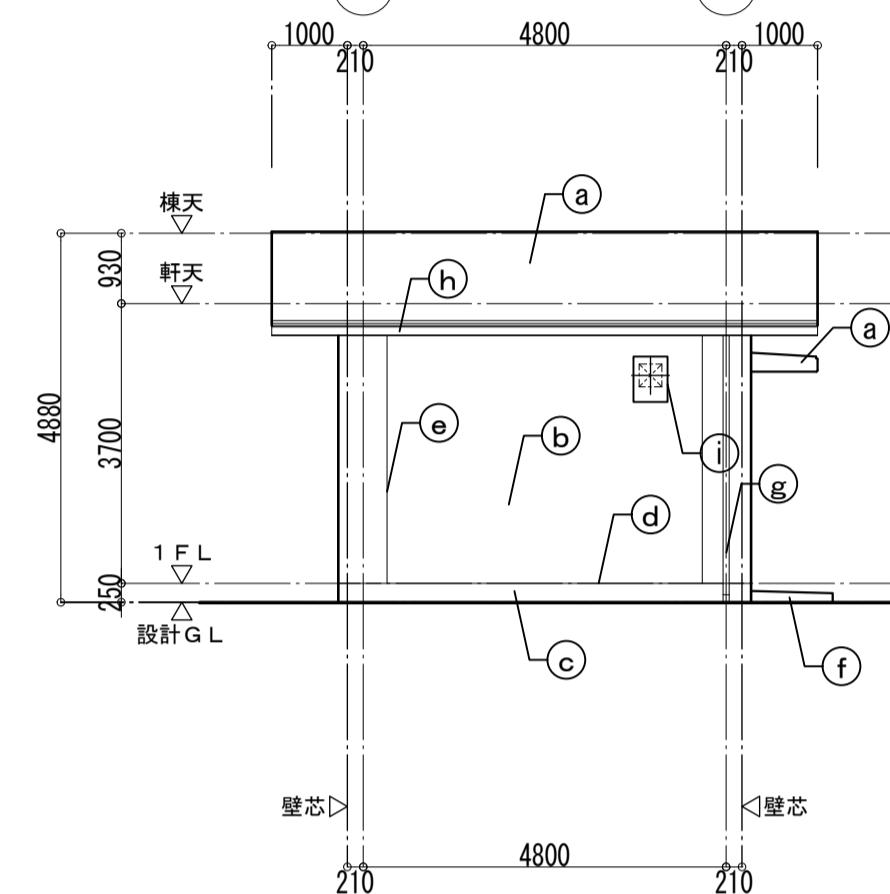
1階平面図 S = 1 / 100



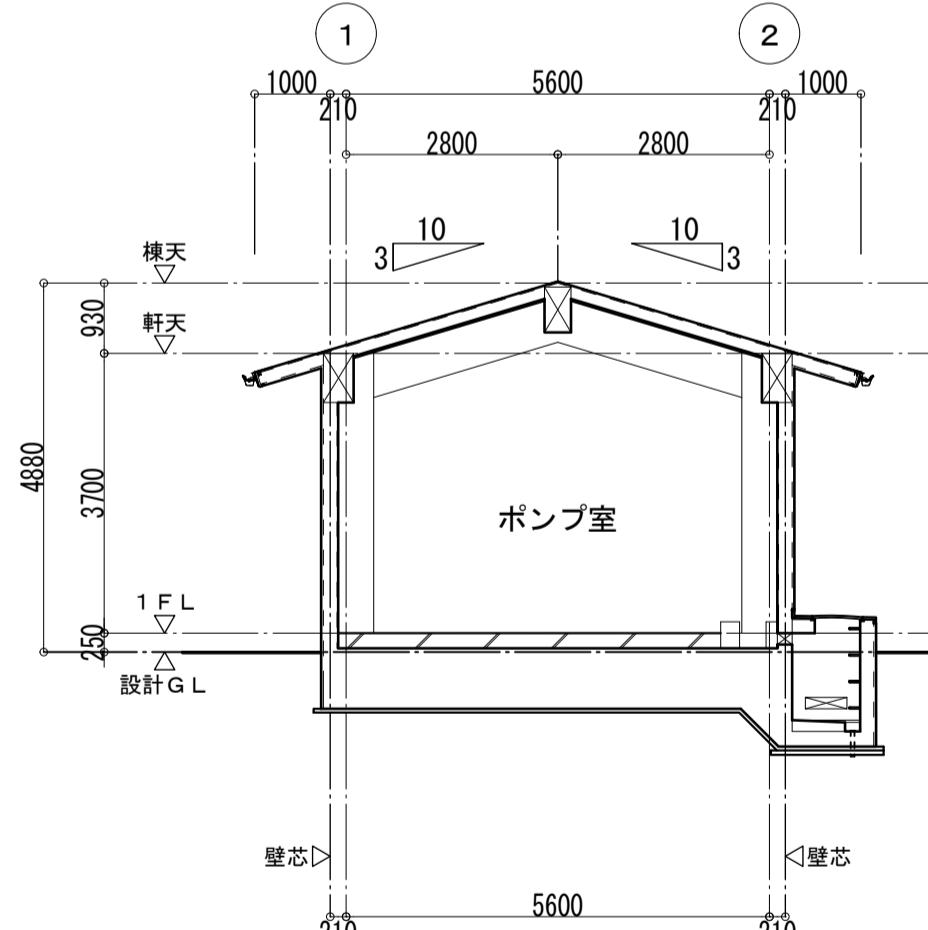
屋根伏図 S = 1 / 100



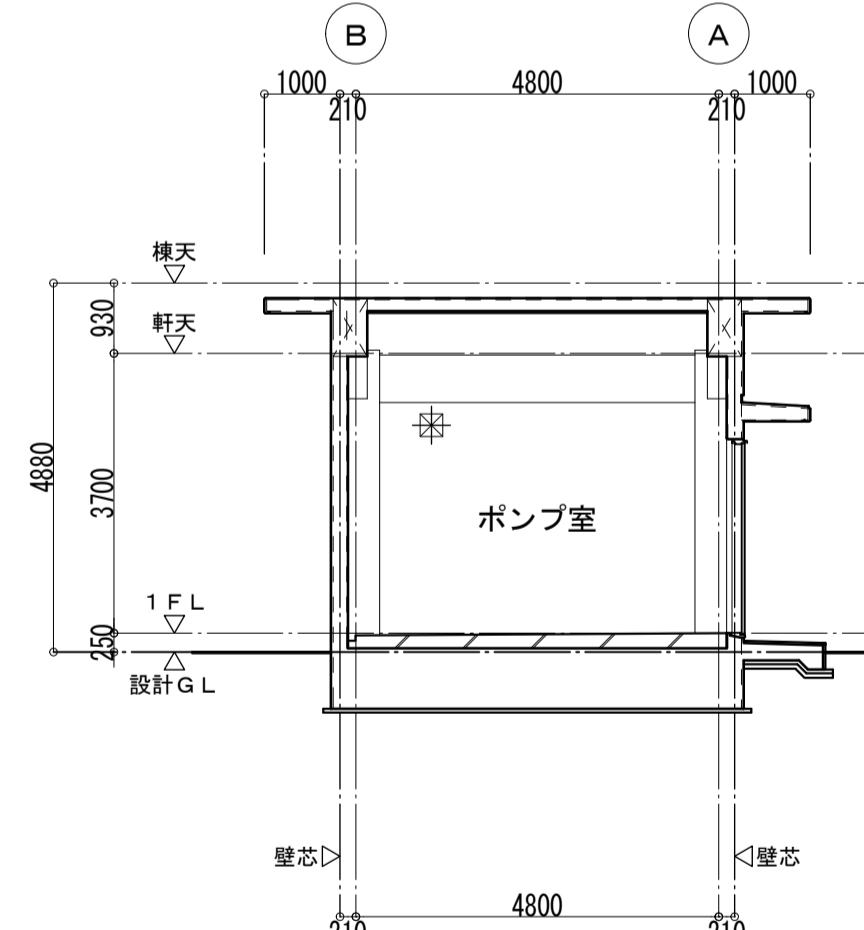
南立面図 S = 1 / 100



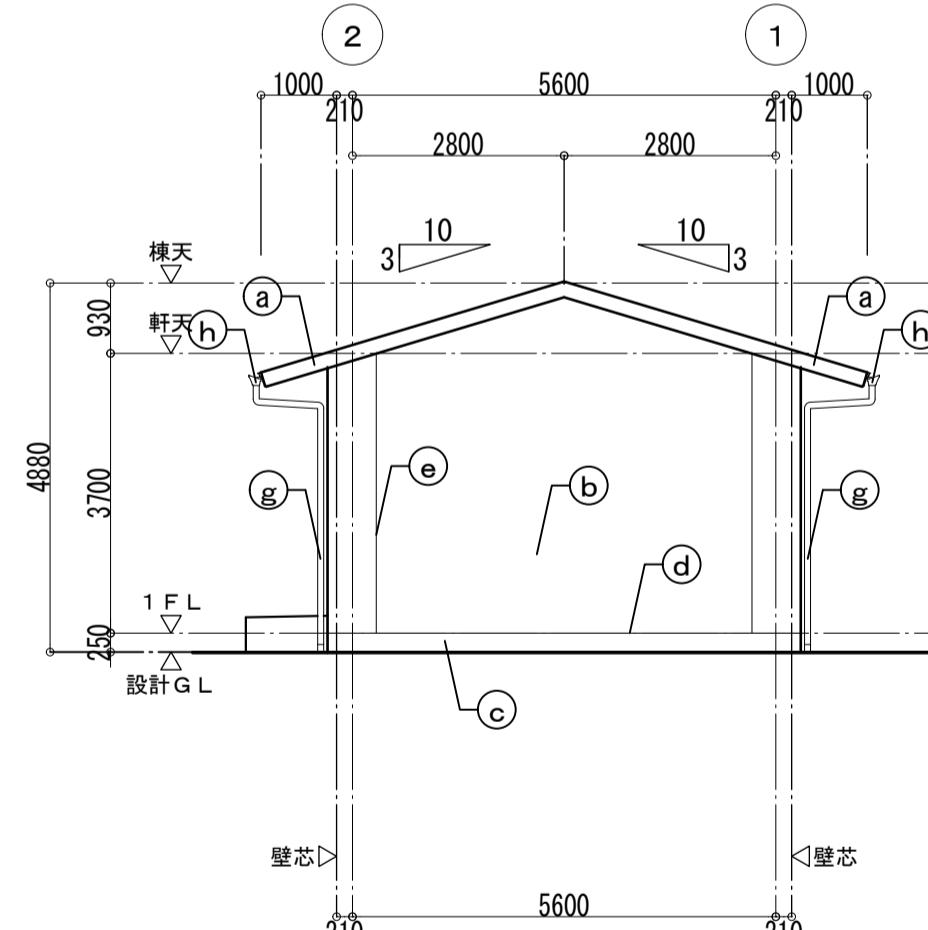
西立面図 S = 1 / 100



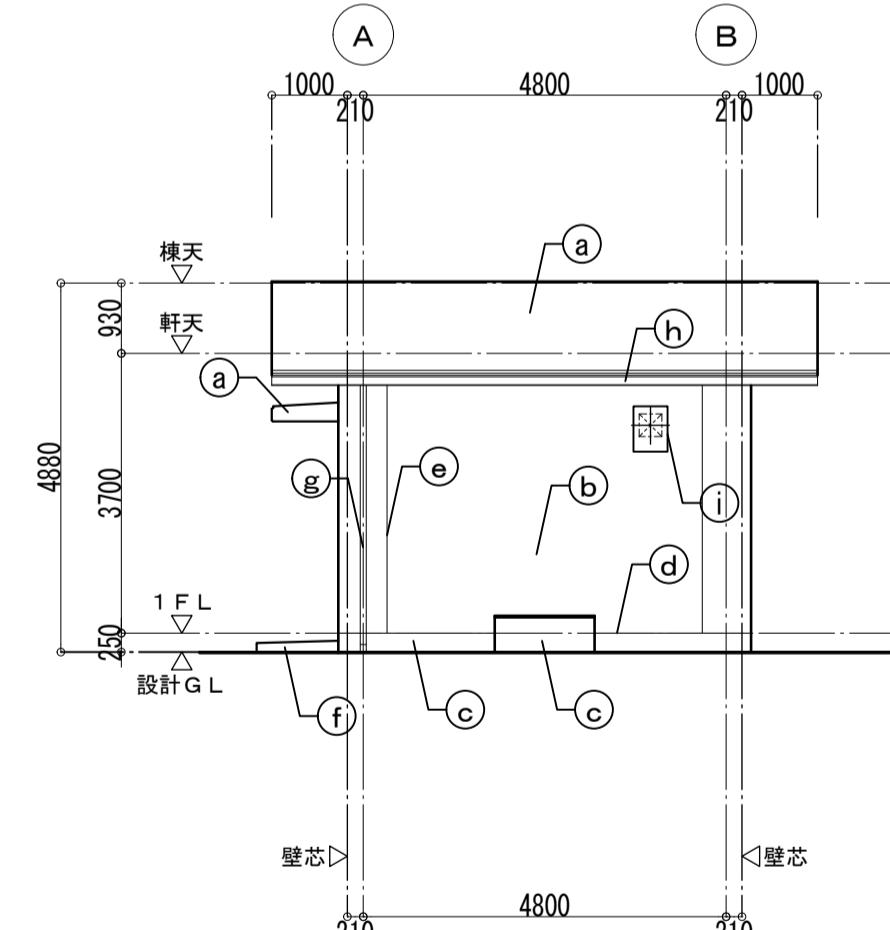
a-a 断面図 S = 1 / 100



b-b 断面図 S = 1 / 100



北立面図 S = 1 / 100

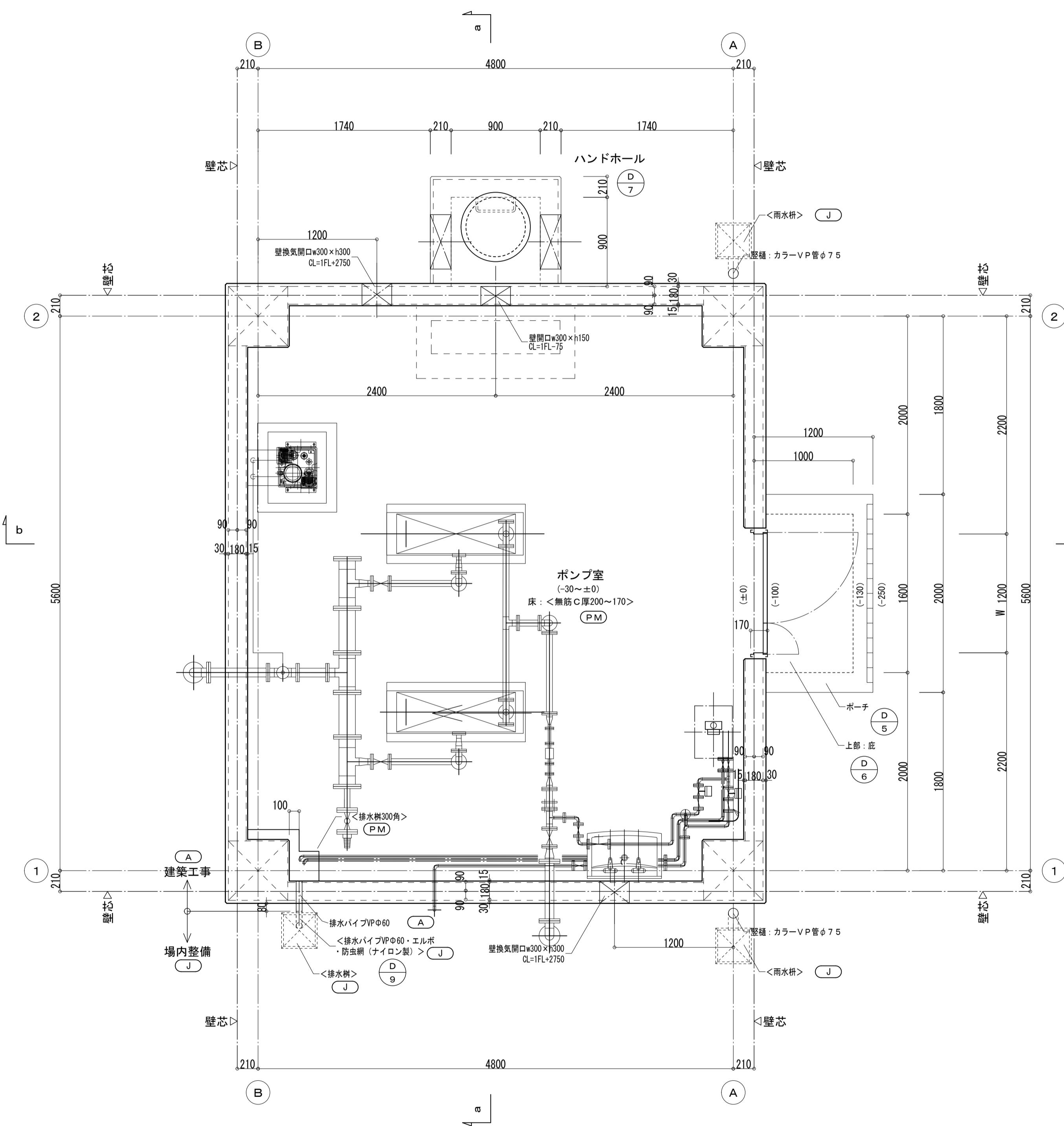
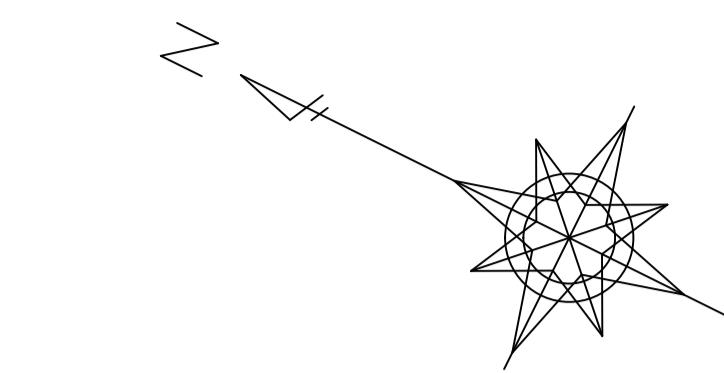


東立面図 S = 1 / 100

記号	凡例
(a)	屋根仕上 : 塗膜防水 (X-2)
(b)	コンクリート打放し (B) の上復層塗材 (RE)
(c)	コンクリート打放し (B)
(d)	打継目地
(e)	ひび割れ誘発目地
(f)	モルタル塗130
(g)	縦縫 : カラーヴィン管 Ø 75
(h)	軒樋 : 着色塩化ビニル製W150 (既製品)
(i)	ウェザーカバー (AM)

工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	平面詳細図		
図面番号	A-7	縮尺	1:30
福山市上下水道局			

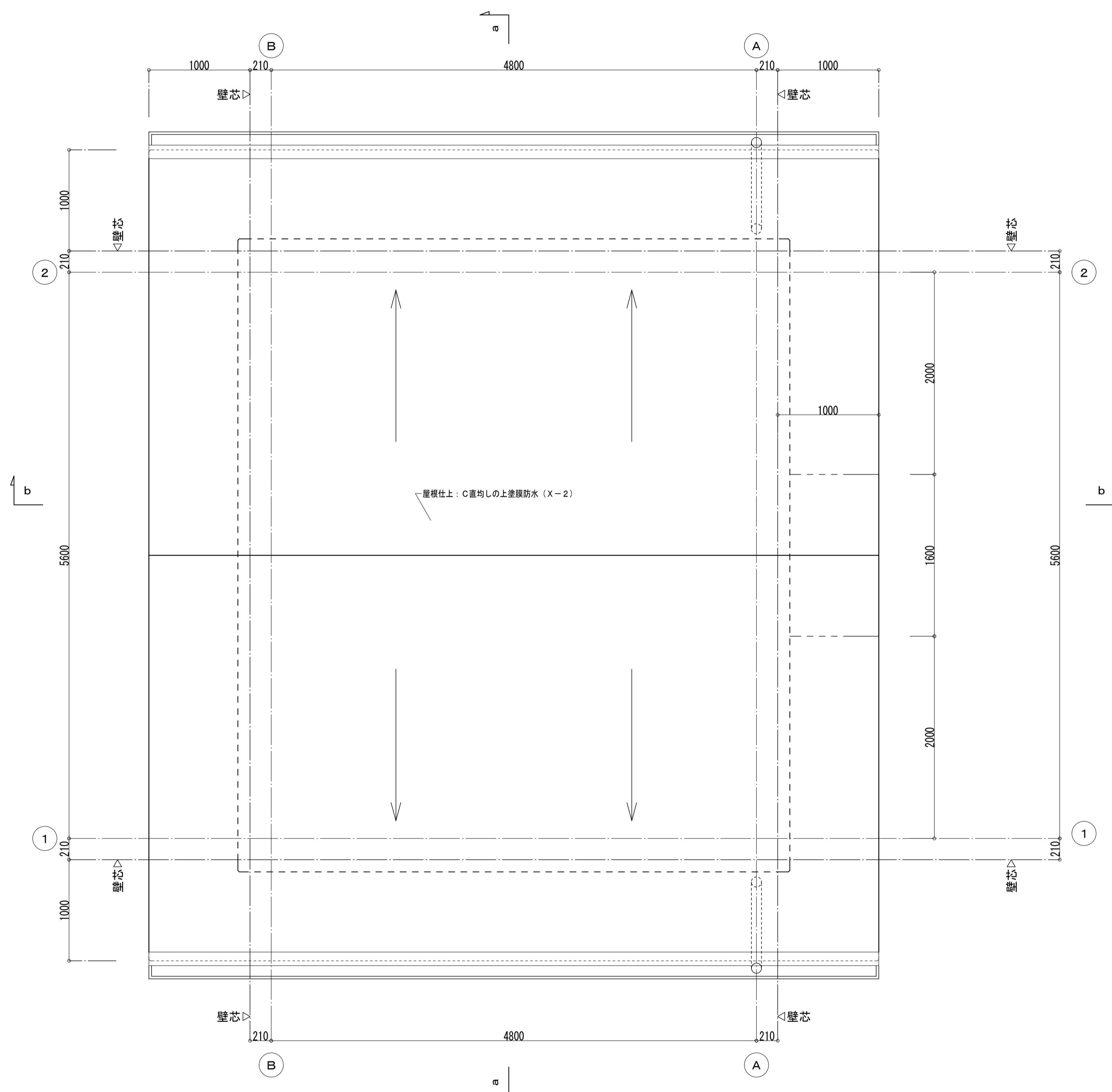
設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺



1階平面詳細図 S = 1 / 30

特記事項

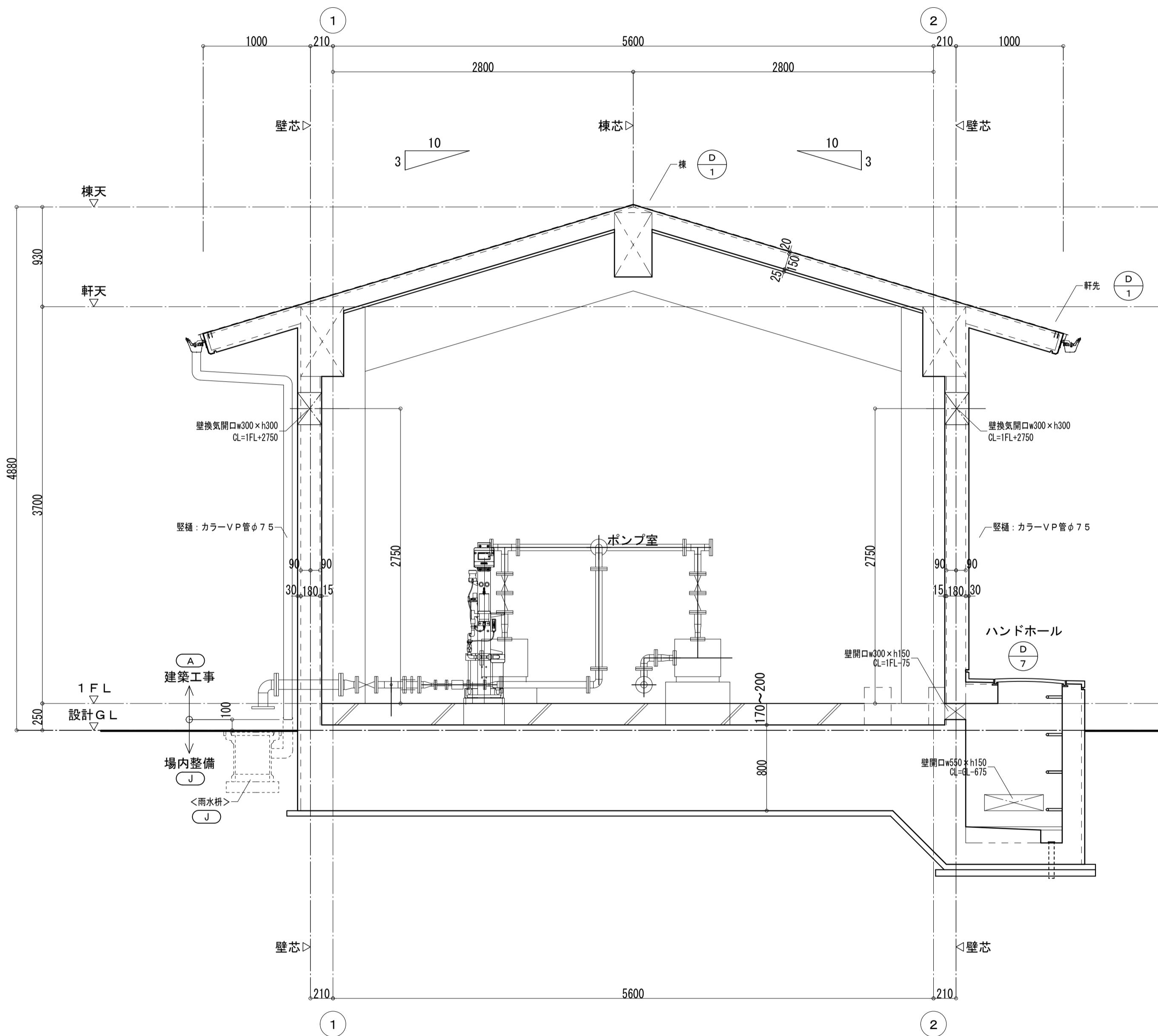
- 内外仕上は、別紙内外仕上表による。工事区分は図示及び工事区分一覧表による。
- (D) 内番号は詳細図番号を示す。
- <> 内番号は建築工事標準詳細図(令和4年度版)の番号を示す。
- () 内はFLからのレベルを示す。



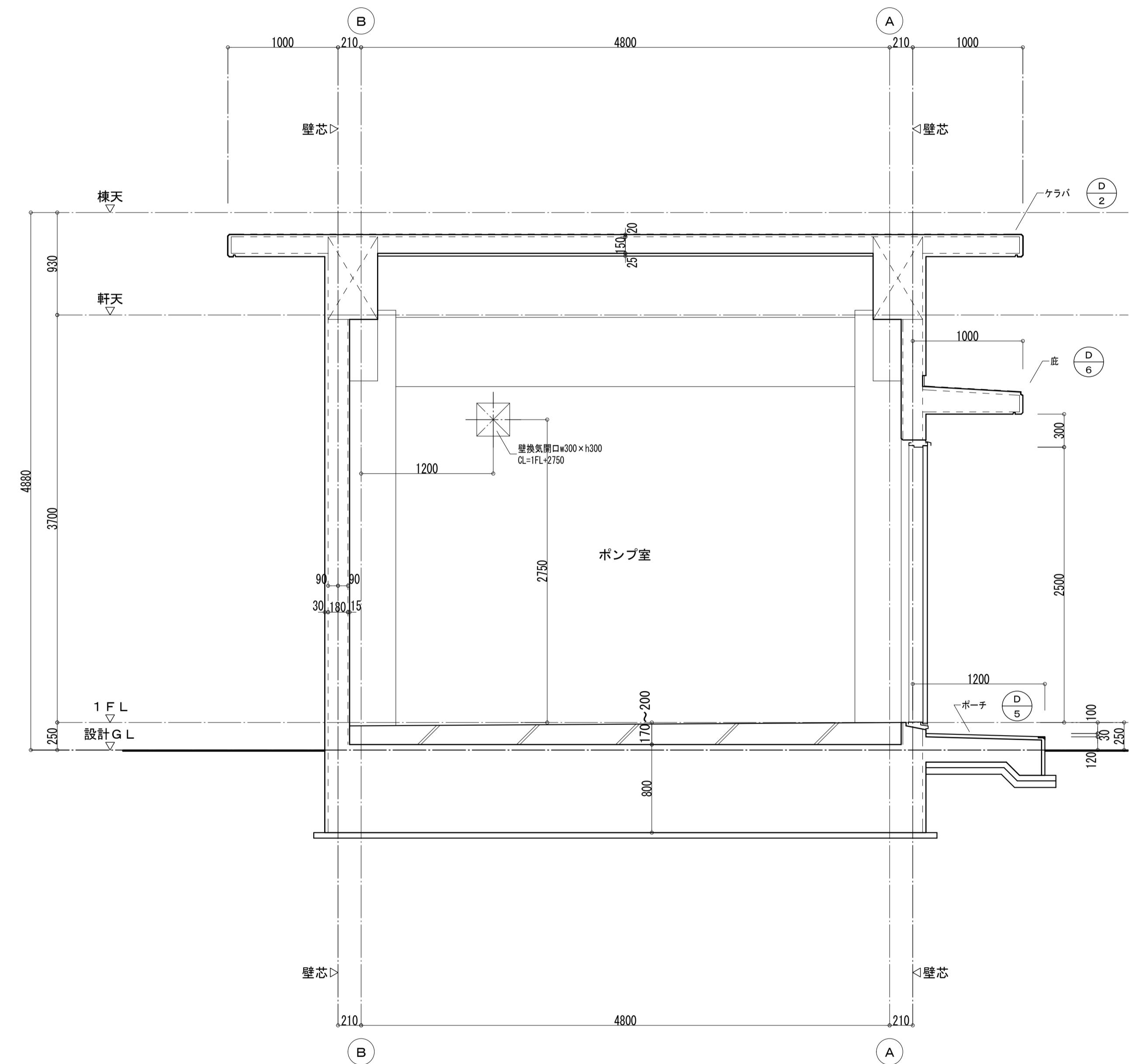
屋根伏図 S = 1 / 30

工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	断面詳細図		
図面番号	A-8	縮尺	1:30
福山市上下水道局			

設計年月 2026年1月
A3 50%縮小縮尺



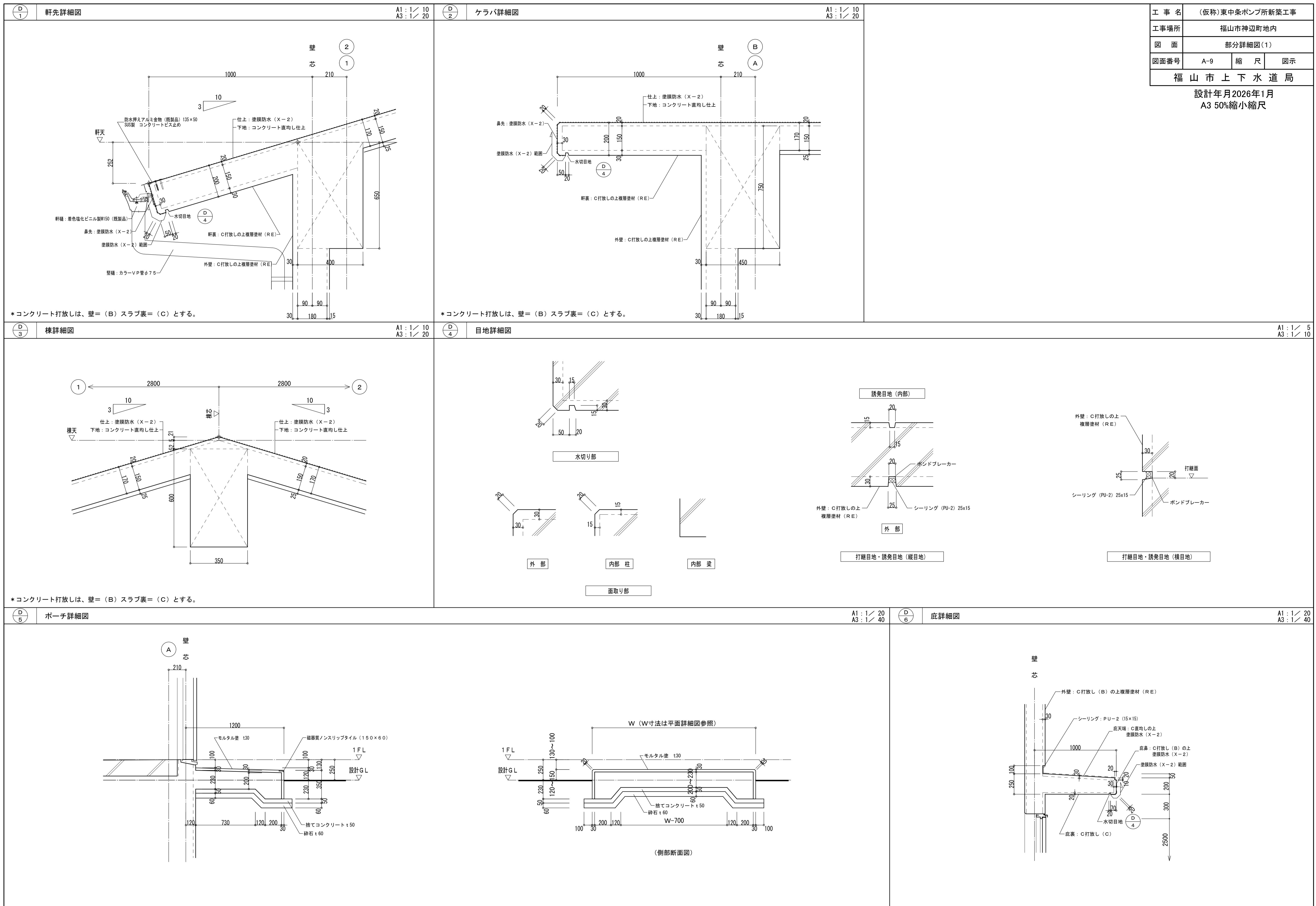
a-a 断面詳細図 S = 1 / 30

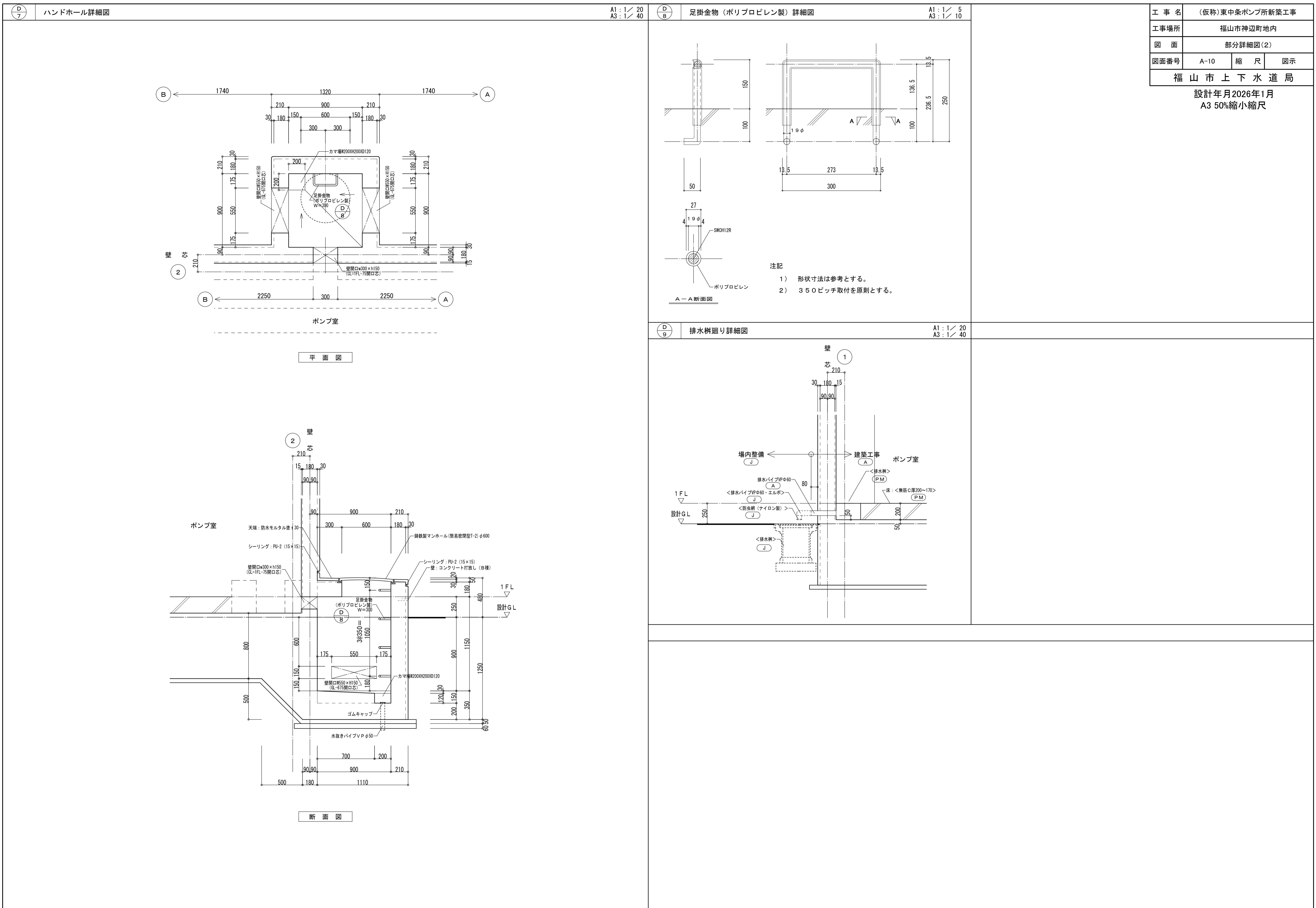


b-b 断面詳細図 S = 1 / 30

特記事項

- 内外仕上は、別紙内外仕上表による。工事区分は図示及び工事区分一覧表による。
- (D) 内番号は詳細図番号を示す。
- < >内番号は建築工事標準詳細図(令和4年度版)の番号を示す。





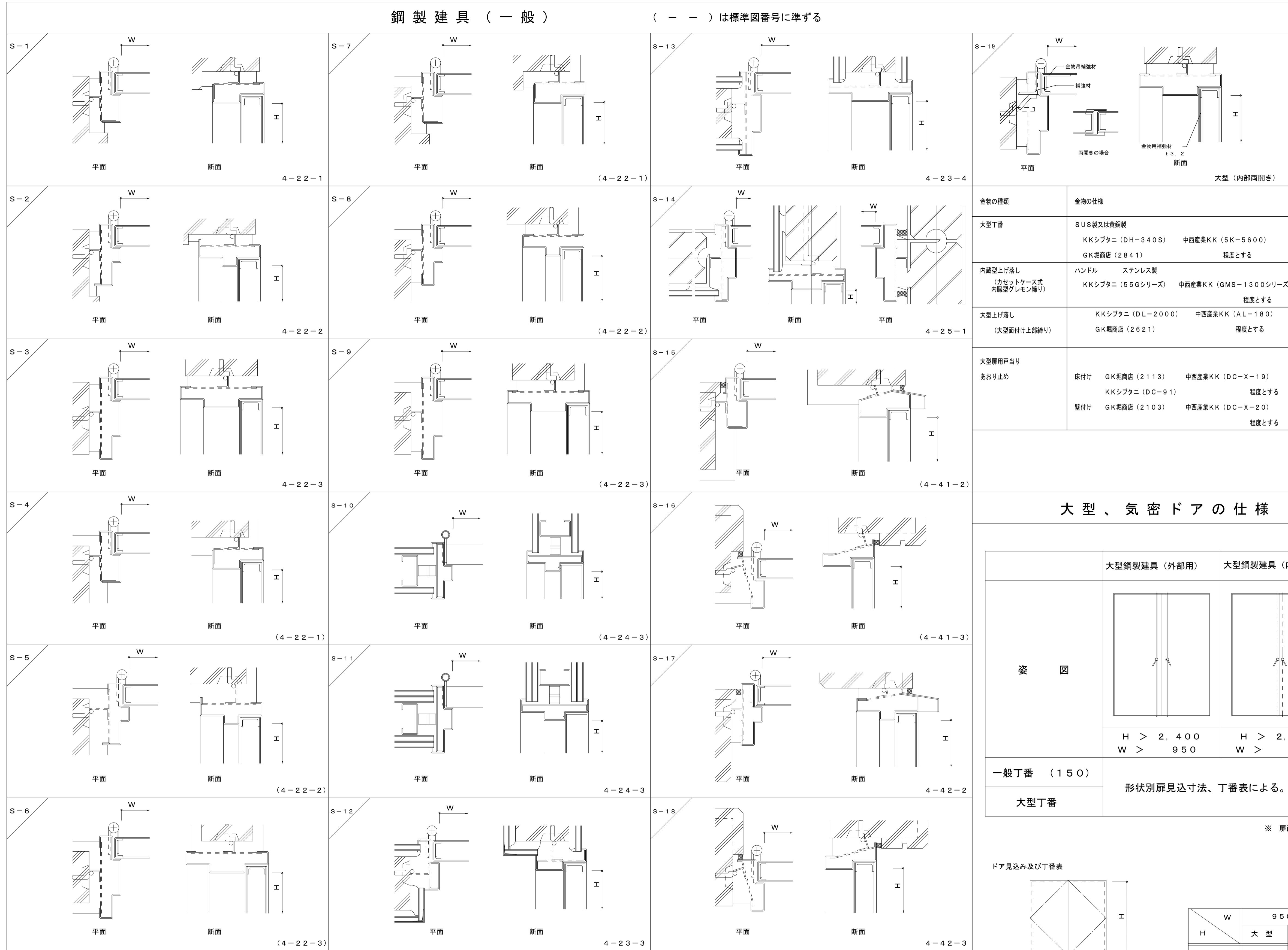
工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	建具枠回り詳細及び記号(鋼製)		
図面番号	A-11	縮尺	-
福山市上下水道局			

建具枠回り詳細及び記号

(鋼 製 建 具)

鋼 製 建 具 (一 般)

(- -) は標準図番号に準ずる



- 共通事項

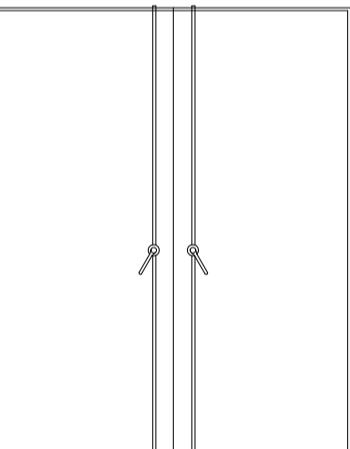
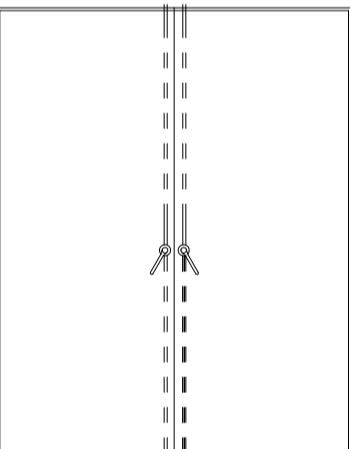
 1. 特記なき限り外部はシリンドラ箱錠（内部サムターン）とし内部は本締り付きモノロックとする。
但し、押板、押棒の場合は、シリンドラ本締り錠とする。
 2. パイプスペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンドラ本締り錠（特記なき限り同一キー）とする。（内部サムターン付）
 3. 便所等の施錠を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。
 4. A H、F Hを除きD Cの有無にかかわらず出入口には戸当り、あおり止め（防火戸は除く）をつける。
壁仕上げボード類等の場合は床付とする。（但し、通行に支障のあるものは除く。）
 5. 特記なき限り外部に面するガラリは防鳥網付きとする。
 6. アルミニウム製窓の締り金物、排煙口操作レバーの位置は床から1, 500以内とする。
 7. 大型、気密鋼製建具はシリンドラ本締り錠付きとする。

8. 特記なき限り内部建具ガラリはイ型とする
 9. 特記なき限り鋼製戸の見込みは 40mm とする
 10. 防火戸の位置は建具配置図による。
 11. 特記なき限り気密扉・簡易気密扉の吸音材充填は行なわないものとする。
 12. 階段室の施錠を必要としない箇所は空錠とする
 13. 特記なき限り両開きの防火戸は順位調整器する。
 14. 特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする
 15. 大型建具の補強材はアングル (L-50 × 50 × 6) の通し物とする。

建 具 略 号	種 別	戸	窓	ガラリ	オーバー ヘッドドア	紙障子	ふすま	シャッター	網戸
	アルミニウム製	A D	A W	A G	A O D			A S	a W
	鋼 製	S D	S W	S G	S O D			S S	
	鋼製軽量	L D						L S	
	ステンレス製	S S D	S S W	S S G				S S S	
	木 製	W D	W W	W G		P	H		
ガ ラ ス 略 号	F 型板ガラス				金 物 略 号	D C	ドアクローザー		
	P フロート板ガラス					A H	オートヒンジ		
	N 網入型板ガラス					F H	フロアヒンジ		
	N P 網入みがき板ガラス					P H	ピポットヒンジ		

金物の種類	金物の仕様	金物の種類	金物の仕様
大型丁番	SUS製又は黄銅製 KKシブタニ(DH-340S) 中西産業KK(5K-5600) GK堀商店(2841) 程度とする	両面締りハンドル (ローラー付きグレモンハンドル)	ハンドル ステンレス製 KKシブタニ(H72SX+JSDL55) 中西産業KK(SUS-X-191-R0) GK堀商店(2644W) 程度とする
内蔵型上げ落し (カセットケース式 内臓型グレモン締り)	ハンドル ステンレス製 KKシブタニ(55Gシリーズ) 中西産業KK(GMS-1300シリーズ) 程度とする	片面締りハンドル (ローラー付きグレモンハンドル、 ロック付き)	ハンドル ステンレス製 KKシブタニ(H170S) 中西産業KK(SUS-FX-1-SR) GK堀商店(2644F) 程度とする
大型上げ落し (大型面付け上部締り)	KKシブタニ(DL-2000) 中西産業KK(AL-180) GK堀商店(2621) 程度とする	面付3点両面締りハンドル	ハンドル 黄銅製 KKシブタニ(DL-4000T-3D) GK堀商店(2651-TG-3W) 中西産業KK(SF-3) 程度とする
大型扉用戸当り おり止め	床付け GK堀商店(2113) 中西産業KK(DC-X-19) KKシブタニ(DC-91) 程度とする 壁付け GK堀商店(2103) 中西産業KK(DC-X-20) 程度とする	面付2点片面締りハンドル (両開き扉用)	ハンドル 黄銅製 KKシブタニ(DL-4000T-2S) GK堀商店(2651-TG-2F) 中西産業KK(SF-2) 程度とする

大型、気密ドアの仕様

	大型鋼製建具（外部用）	大型鋼製建具（内部用）
姿 図		
	$H > 2,400$ $W > 950$	$H > 2,400$ $W > 950$
一般丁番 (150)	形状別扉見込寸法、丁番表による。	
大型丁番		

氣密型鋼製建具

A technical drawing of a double door set. It consists of two vertical rectangular panels. Each panel has a handle located on its left side. The doors are shown in an open position, revealing a gap between them.

A technical drawing of a single door. It features a single vertical rectangular panel with a handle positioned on its right side. The door is shown in an open position.

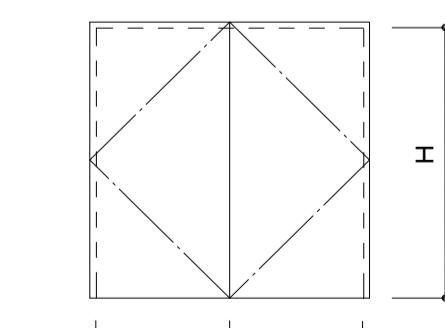
$H \geq 2,100$
 $W \geq 950$

$H \geq 2,100$
 $W \geq 950$

形状別扉見込寸法、丁番表による。

※ 扉面積 2.5 m² 以上の場合は大型戸当たり、あおり止めを設ける。

ドア見込み及び丁番表



- 1) [] 内数値は扉の見込寸法を示す。
 - 2) ※は「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」による。

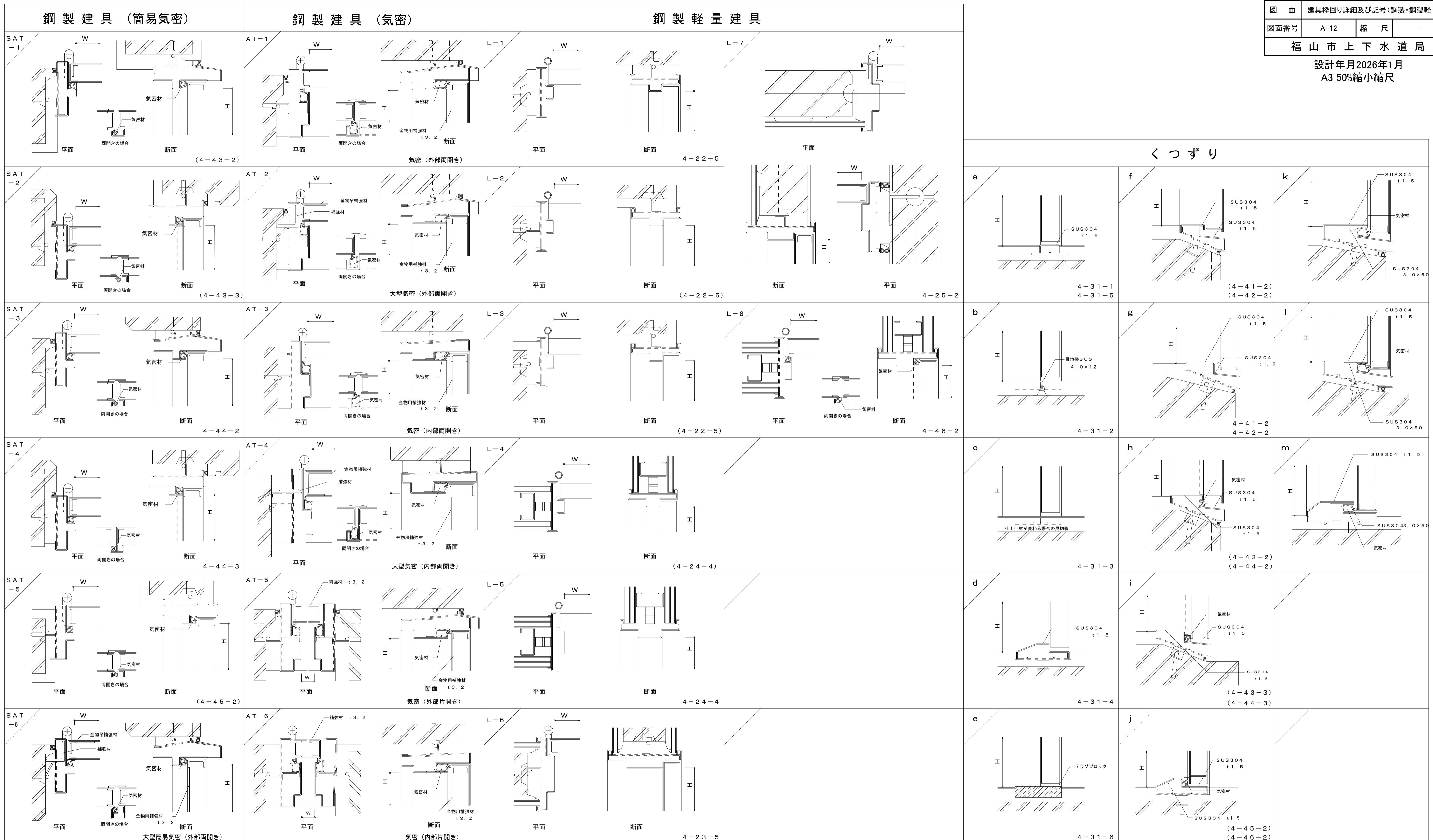
		大型							
H ↓	W ↓	950以下		1,250未満		1,500未満		1,750未満	
		大型	気密	大型	気密	大型	気密	大型	気密
2,000未満	※	[40] 一般(150) 3枚	[40] 一般(150) 3枚	[40] 一般(150) 3枚	[50] 大型 3枚	[50] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	
2,400以下	※	[50] 一般(150) 3枚	[40] 一般(150) 3枚	[50] 大型 3枚	[50] 大型 3枚	[50] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	
3,000未満	[50] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[80] 大型 3枚	
3,500未満			[60] 大型 3枚	[80] 大型 4枚	[60] 大型 3枚	[80] 大型 4枚	[60] 大型 3枚	[80] 大型 4枚	

建具枠回り詳細及び記号

(鋼製・鋼製軽量建具)

(- -)は標準図番号に準ずる

工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事
工事場所	福山市神辺町地内
図面	建具枠回り詳細及び記号(鋼製・鋼製軽量)
図面番号	A-12 縮尺 -
	福山市上下水道局

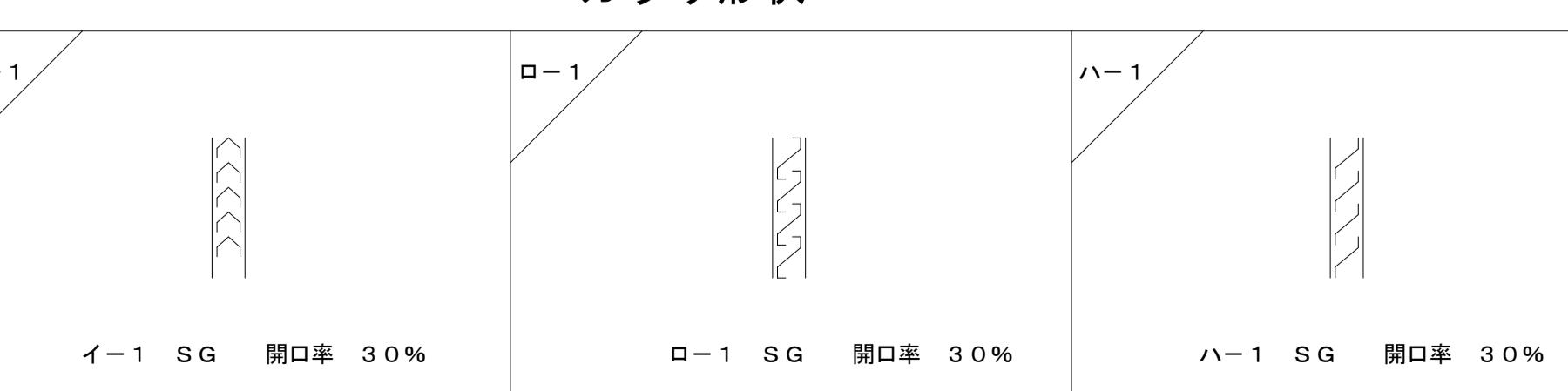
設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺

- 共通事項
- 特記なき限り外部はシリンダ箱鉄(内部サムターン)とし内部は本締りモノロックとする。但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締り錠とする。
 - バイスベース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本締り錠(特記なき限り同一キー)とする。(内部サムターン付)
 - 便所等の施錠を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。
 - A.H、F.Hを除きD.Oの有無にかかわらず出入口には戸当り、あり止め(防火戸は除く)をつける。壁仕上げボード類等の場合は床付とする。(但し、通行に支障のあるものは除く。)
 - 特記なき限り戸に面するガラリは防鳥網付きとする。
 - アルミニウム製窓の締り金物、排煙口操作レバーの位置は床から1,500以内とする。
 - 大型、気密鋼製建具はシリンダ本締り錠付きとする。

- 特記なき限り内部建具ガラリはイ型とする。
- 特記なき限り鋼製戸の見込みは40mmとする。
- 防火戸の位置は建具配置図による。
- 特記なき限り気密扉・簡易気密扉の吸音材の充填は行わないものとする。
- 階段室の施錠を必要としない箇所は空錠とする。
- 特記なき限り両開きの防火戸は順位調整器付とする。
- 特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。
- 大型建具の補強材はアングル(L-50×50×6)の通し物とする。

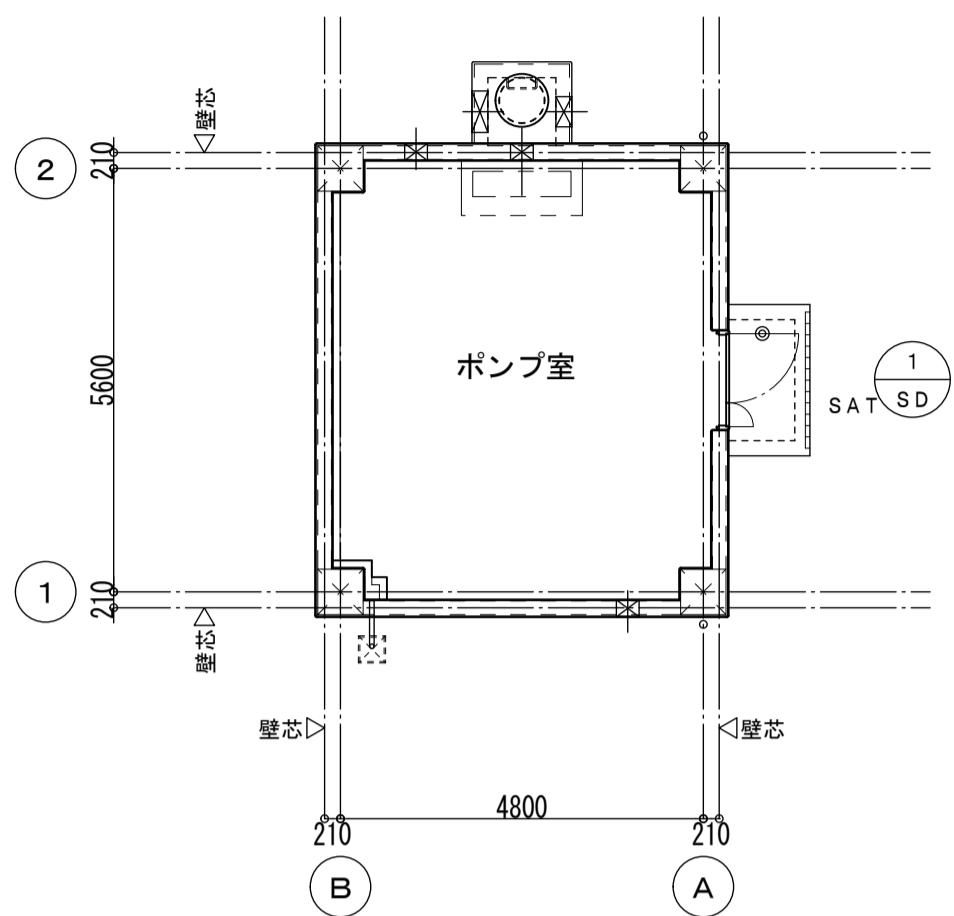
建具略号	種別	戸	窓	ガラリ	オーバーヘッドドア	紙障子	ふすま	シャッター	網戸
アルミニウム製	A D	A W	A G	A O D			A S	a W	
鋼 製	S D	S W	S G	S O D			S S		
鋼製軽量	L D						L S		
ステンレス製	S S D	S S W	S S G				S S S		
木 製	W D	W W	W G	P	H				
F	型板ガラス			金	D C ドアクローザー				
P	フロート板ガラス			物	A H オートヒンジ				
N	網入型板ガラス			略	F H フロアヒンジ				
N P	網入みがき板ガラス			号	P H ピボットヒンジ				

ガラリ形状



工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	建具配置図・建具リスト		
図面番号	A-13	縮尺	1:100
福山市上下水道局			

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺



1階建具配置図 S=1/100

	ドアチェック（ストップなし）
	ドアチェック（ストップ付）
特防	特定防火設備
法2	法第2条第九号の二口の規定する防火設備
A T	気密戸
S A T	簡易気密戸

建具リスト

- 共通事項

1. 特記なき限り外部はシリンダ箱錠（内部サムターン）とし内部は本締り付きモノロックとする。
但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締り錠とする。

2. パイプスペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本締り錠（特記なき限り同一キー）とする。
(内部はサムターン付)

3. 便所等の施錠を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。

4. A H、F Hを除きD Cの有無にかかわらず出入口には戸当り、あおり止め（防火戸を除く）をつける。
壁仕上げボード類等の場合は床付とする。（但し、通行に支障のあるものは除く。）

5. 特記なき限り外部に面するガラリは防鳥網付きとする。

6. アルミニウム製窓の締り金物、排煙口操作レバーの位置は床から1, 500以内とする。

7. 大型、気密鋼製建具はシリンダ本締り錠付きとする。

8. 特記なき限り内部建具ガラリはイ型とする。（枠延長による。）

9. 特記なき限り鋼製戸の見込みは40mmとする。

10. 防火戸の位置は建具配置図による。

11. 特記なき限り気密扉・簡易気密扉の吸音材の充填は行なわないものとする。

12. 階段室の施錠を必要としない箇所は空錠とする。

13. 特記なき限り両開きの防火戸は順位調整器付とする。

14. 特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。

15. A T-2、A T-4の補強材はアングル（L-50×50×6）の通し物とする。

建 具 略 号	種別	戸	窓	ガラリ	オーバー ^{ヘッド} ドア	紙障子	ふすま	シャッター	網戸
	アルミニウム製	A D	A W	A G	A O D			A S	a W
	鋼 製	S D	S W	S G	S O D			S S	
	鋼 製 軽 量	L D						L S	
	ス テンレス 製	S S D	S S W	S S G				S S S	
ガ ラ ス 略 号	木 製	W D	W W	W G		P	H		
ガ ラ ス 略 号	F 型板ガラス	金 物 略 号	D C	ドアクローザー					
	P フロート板ガラス		A H	オートヒンジ					
	N 網入型板ガラス		F H	フロアヒンジ					
	N P 網入りがき板ガラス		P H	ピポットヒンジ					

工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事
工事場所	福山市神辺町地内
図面	貫通孔・埋設管及び基礎仕様書
図面番号	A-14 縮尺 -

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺

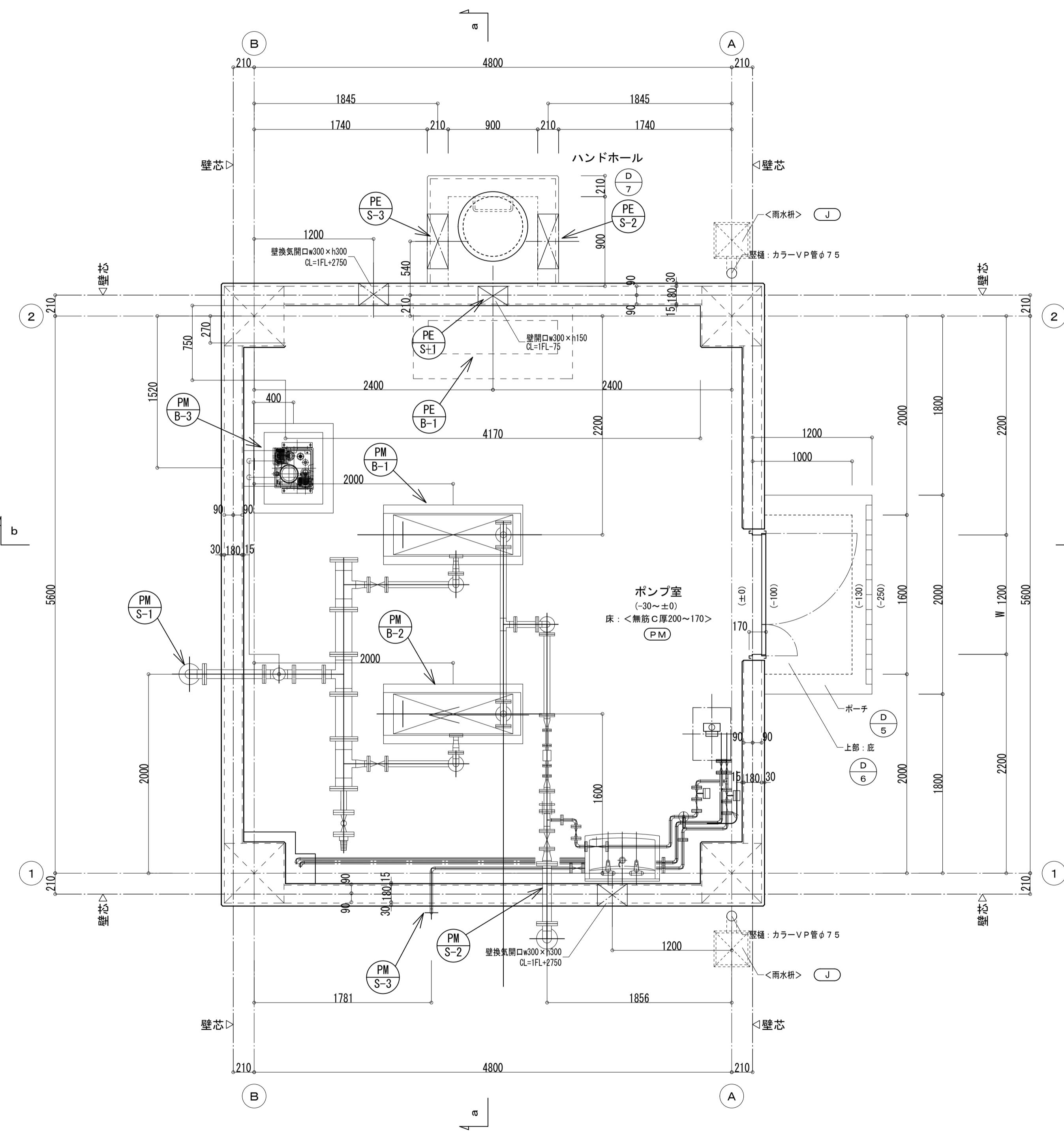
貫通孔、埋込管 及び 機器基礎仕様書

節	項目	特記事項	節	項目	特記事項	節	項目	特記事項	節	項目	特記事項															
一般事項	1. 適用基準	国土交通省大臣官房官庁監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下、「標準仕様書」という)	3. 埋込管	2. 施工図等	配管・配線系統を打ち合せ、位置・寸法及び方向を検討し、施工図を速やかに監督員に提出し、承諾を受ける。	a) 鋳鉄管のパドル付規格管を使用する場合		4. 機器基礎	[B4]	D13@200 (SD295) L=700	5. その他															
	3. 発生材の処理	工事特記仕様書による。		b) 規格外のパドル付短管を使用する場合		1. リスト記入方法	a) 符号は1.一般事項4.符号による。	f) 用途には配管系統(污水管、脱臭ダクト等)等を記入する。																		
	4. 符号	各設備に用いる符号は下記とする。 (例) AM-S-1 → 通し番号 S...貫通孔 P...埋込管 B...基礎 → 各設備の符号 AM...建築機械設備 AE...建築電気設備 PM...プラント機械設備 PE...プラント電気設備		c) フランジ穴の取付け位置		b) 形状寸法	1) 貫通孔については、形状寸法を記入する。 (例) 400φ 300L×500W	g) 備考には、施工部位、工事区分、その他特記すべき事項を記入する。																		
	5. 開口補強	a) 開口補強方法については、標準仕様書別図各部配筋による。 1) 壁開口補強は、4.2fによる。 A形 ※B形 但し、耐震壁は図示による。 2) 床版開口部補強は、5.3による。 3) 梁貫通孔の補強は特記による。特記がなければ、7.1により。 配筋種別は特記による。		d) フランジ穴取付け位置		c) 基礎については、形状寸法及び仕上り面よりの立ち上り高さを記入する。又、B4無筋コンクリートを抜く場合は、形状寸法及び無筋コンクリート厚さを記入する。 (例) 500×400×100H	h) その他																			
	6. 工法	a) 貫通孔、埋込管は、寸法・位置に充分注意して堅固に取り付ける b) 埋込管を水槽・外壁に取付ける場合は、漏水のないように、充分考慮し施工する。		e) 床・壁の区分		c) 材料一形式は一印の前に材料を、後に形式を記入する。 (例) S1-P1-F1-B1	1) 壁部分は壁に○印を、床部分は床に○印を記入する。	1) 壁部分にフランジ蓋を設ける場合は、備考欄に特記する。																		
	7. 特記事項	a) ○印のついたものを適用する。○印のない場合は※印のあるものを適用する。又、○印と※印のある場合は共に適用する。		f) 位置の表示は、下記による。		d) 床部分の位置表示は、最寄り通り芯よりの寸法を記入する。 (例) ②→① 800 O→O +8500	2) 床部分の位置表示は、最寄り通り芯よりの寸法を記入する。 (例) ④→③ 2400 ③→② 800	2) 基礎については、平面面(※ TP・YP・AP)より高さ表示とする。 (例) ②→① 800 O→O +8500																		
	2. 貫通孔	a) 貫通孔に用いる材料は下記による。 <table border="1"><tr><td>記号</td><td>S1</td><td>S2</td><td>S3</td><td>S4</td><td>S5</td><td>S6</td></tr><tr><td>材料</td><td>鋼管</td><td>硬質塩ビ管</td><td>溶融亜鉛めっき鋼板</td><td>つけ付鋼板</td><td>紙チューブ</td><td>木枠</td></tr></table>		記号	S1	S2	S3	S4	S5	S6	材料	鋼管	硬質塩ビ管	溶融亜鉛めっき鋼板	つけ付鋼板	紙チューブ	木枠	g) 位置の表示は、それぞれの施工芯表示とする。		3) 位置の表示は、それぞれの施工芯表示とする。	3) 位置の表示は、それぞれの施工芯表示とする。	4) 将来使用する開口については、仮壁、仮蓋等を施すものとし、備考欄に特記する。				
記号	S1	S2	S3	S4	S5	S6																				
材料	鋼管	硬質塩ビ管	溶融亜鉛めっき鋼板	つけ付鋼板	紙チューブ	木枠																				
貫通孔	2. 次期工事の貫通孔処理	a) 次期発注の外壁・床版貫通孔及び仮補強筋は、下記による。 	4. 機器基礎	1. 分類	a) 基礎の分類は下記による 基礎の分類 <table border="1"><tr><td>記号</td><td>形状</td></tr><tr><td>B1</td><td>鉄筋コンクリート立ち上り基礎</td></tr><tr><td>B2</td><td>無筋コンクリート部分等の基礎</td></tr><tr><td>B3</td><td>防水層部分の立ち上り基礎</td></tr><tr><td>B4</td><td>土木・建築で差し筋のみを施す場合</td></tr></table>	記号	形状	B1	鉄筋コンクリート立ち上り基礎	B2	無筋コンクリート部分等の基礎	B3	防水層部分の立ち上り基礎	B4	土木・建築で差し筋のみを施す場合		符号	形状寸法	壁	床	用途	材料一形式	位置	備考		
記号	形状																									
B1	鉄筋コンクリート立ち上り基礎																									
B2	無筋コンクリート部分等の基礎																									
B3	防水層部分の立ち上り基礎																									
B4	土木・建築で差し筋のみを施す場合																									
		PM-S-1	φ250×225	○	流入管80A	S5	—	①→② 2000	⑤→○	1FL+160(GL+410)																
		PM-S-2	φ250×225	○	流出管80A	S5	—	①→○	④→⑤	1FL+175(GL+425)																
		PM-S-3	φ100×225	○	受水サンブル配管20A	S5	—	①→○	⑤→④	1FL+150(GL+400)																
		PM-B-1	1400×600×H400	○	送水ポンプ基礎	該当なし	②→① 2200	⑤→④	2000	1FL-200(GL+50)																
		PM-B-2	1400×600×H400	○	送水ポンプ基礎	該当なし	①→② 1600	⑤→④	2000	1FL-200(GL+50)																
		PM-B-3	800×900×H300	○	次亜貯留槽基礎	該当なし	②→① 1520	⑤→④	400	1FL-200(GL+50)																
埋込管	1. 材料、材質	a) 埋込管に用いる材料は、下記のものとする。 埋込管の材料 <table border="1"><tr><td>記号</td><td>P1</td><td>P2</td><td>P3</td><td>P4</td><td>P5</td></tr><tr><td>材料</td><td>ステンレス管</td><td>鋼管</td><td>鋳鉄管</td><td>塩ビ管</td><td>亜鉛鉄管</td></tr></table>	記号	P1	P2	P3	P4	P5	材料	ステンレス管	鋼管	鋳鉄管	塩ビ管	亜鉛鉄管	2. 施工図等			PE-S-1	300×150	○	HH連絡開口	S6	—	②→○ 210	④→⑤ 2400	1FL-75(GL+175)
記号	P1	P2	P3	P4	P5																					
材料	ステンレス管	鋼管	鋳鉄管	塩ビ管	亜鉛鉄管																					
		PE-S-2	550×150	○	HH埋設配管開口	S6	—	②→○ 750	④→⑤ 1845	GL-675																
		PE-S-3	550×150	○	HH埋設配管開口	S6	—	②→○ 750	④→⑤ 1845	GL-675																
		PE-B-1	1600×750×H350	○	電気盤基礎	該当なし	②→① 270	④→⑤ 2400	2000	1FL-200(GL+50)																
	c) 埋込管の塗装は、「機械設備工事一般仕様書」の定めに準拠する。																									

※ 機器基礎(PM-B、PE-B)は、PM・PE工事にて後施工アンカーによる。

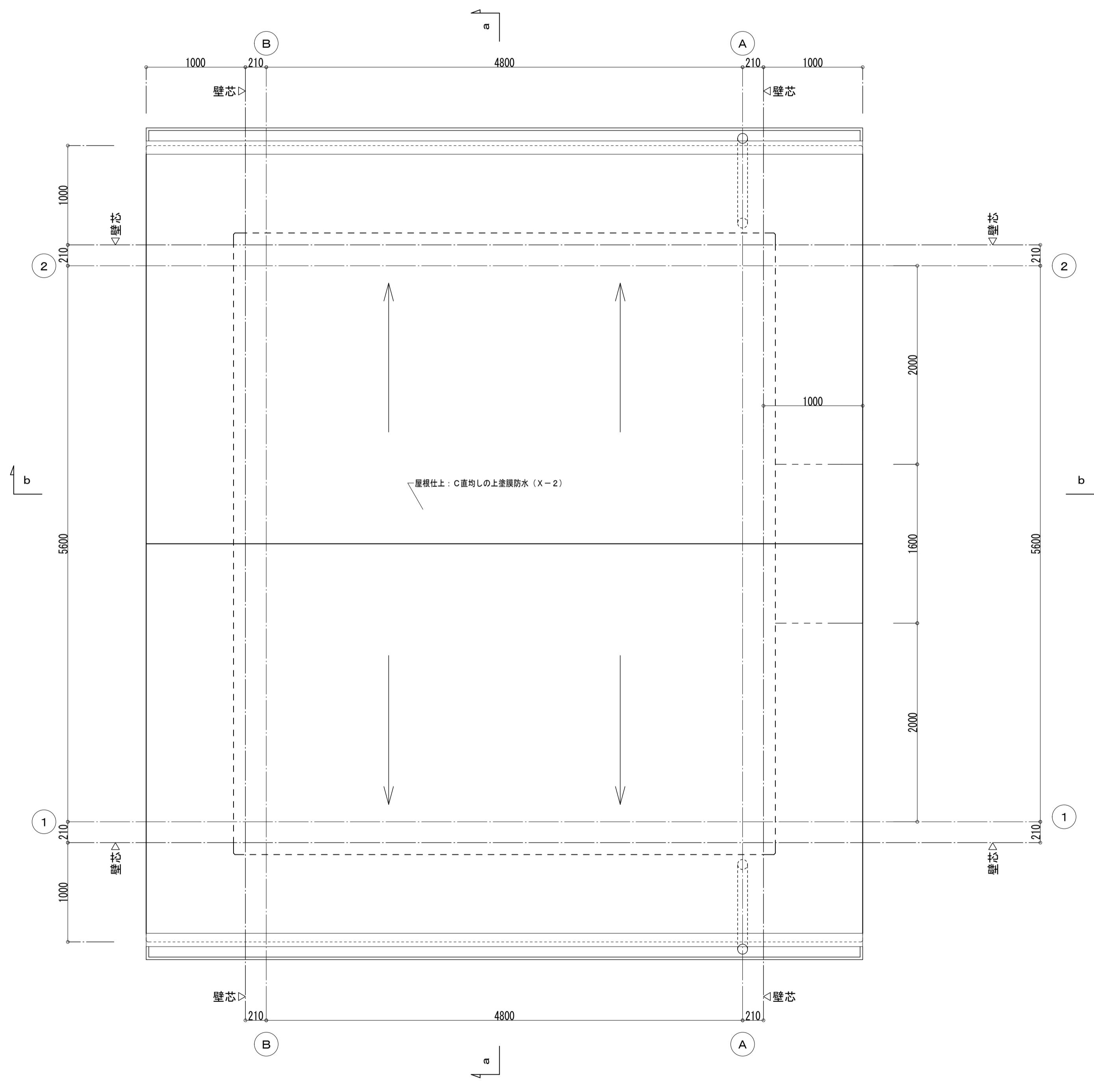
工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	貫通孔・埋込管及び基礎図(1)		
図面番号	A-15	縮尺	1:30

設計年月 2026年1月
A3 50%縮小縮尺



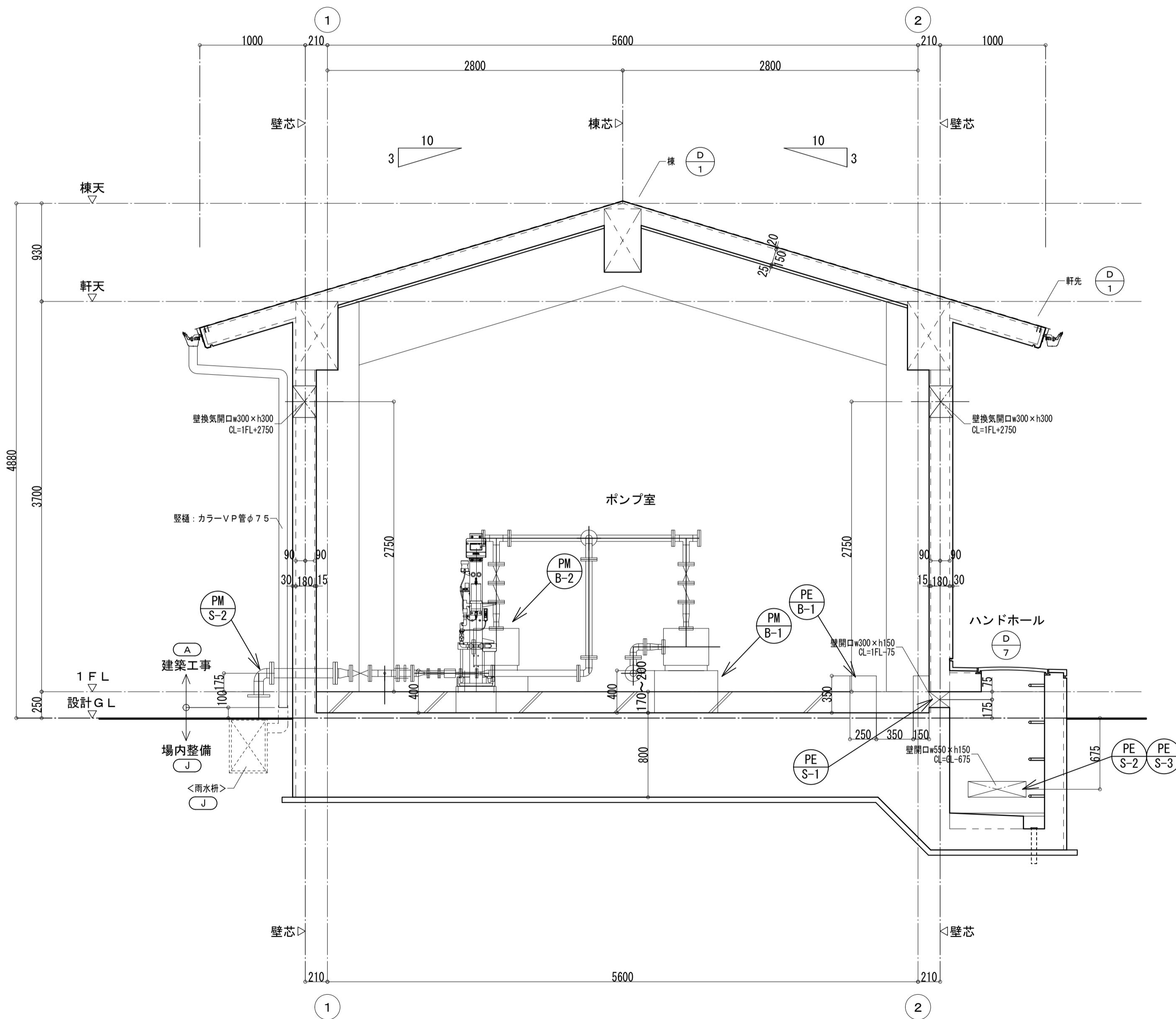
特記事項

- 内外仕上は、別紙内外仕上表による。工事区分は図示及び工事区分一覧表による。
- (○) 内番号は詳細図番号を示す。
- < > 内番号は建築工事標準詳細図（令和4年度版）の番号を示す。
- () 内はFLからのレベルを示す。

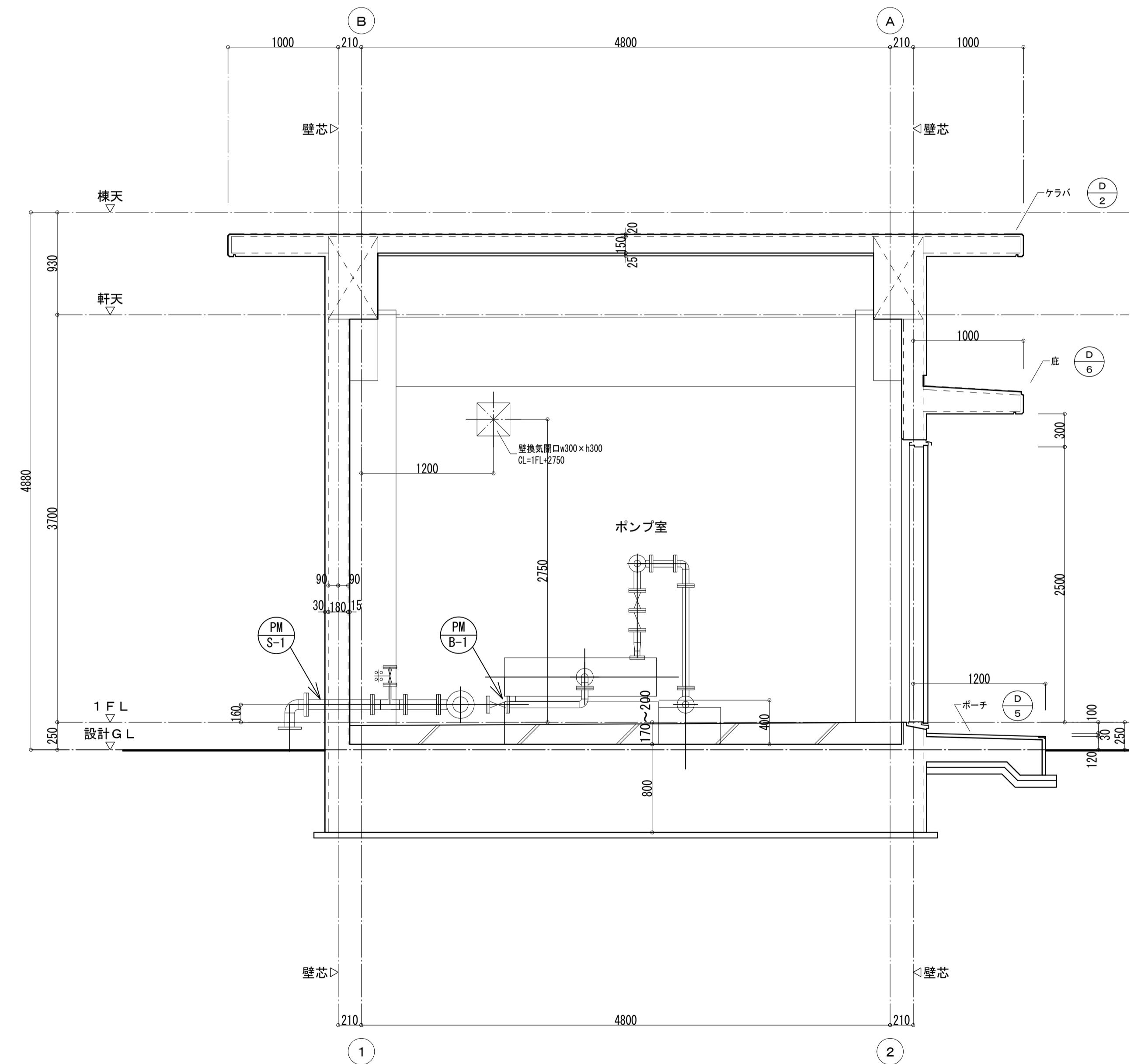


工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	貫通孔・埋設管及び基礎図(2)		
図面番号	A-16	縮尺	1:30
福山市上下水道局			

設計年月 2026年1月
A3 50%縮小縮尺



a-a 断面詳細図 S = 1 / 30



b-b 断面詳細図 S = 1 / 30

特記事項

- 内外仕上は、別紙内外仕上表による。工事区分は図示及び工事区分一覧表による。
- (D) 内番号は詳細図番号を示す。
- < >内番号は建築工事標準詳細図（令和4年度版）の番号を示す。

鉄筋工事仕様書 No.1

この仕様書は、国土交通省大臣官房官公室総務部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）5章鉄筋工事により作成する。この仕様書及び図面に明示なき場合は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）5章鉄筋工事による。

鉄筋の折曲げ基準

折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径 (D)		
		SD295, SD345	SD390	D16以下 D19~D38
180°				
135°		3d以上	4d以上	5d以上
90°				
135° 及び 90°				
		折曲げ内法直径 (D)	SD295, SD345, SD390	D16以下 D19~D25 D25~D38
90°未満		4d以上	6d以上	8d以上

(注) 1. 片持スラブの場合、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。

異形鉄筋のフック

次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にフックを付ける。

7) 柱の四隅にある主筋の重ね接手（下図（a）の●印で示す鉄筋）

8) 最上階の柱の四隅にある柱頭の定着（下図（a）の●印で示す鉄筋）

9) 梁の出隅及び下端の両隅にある梁主筋の重ね接手（基礎梁を除く。）

（下図（b）の●印で示す鉄筋）

10) 運突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む。）

11) 基礎のベース筋

12) 帯筋、あら筋及び幅止め筋



鉄筋の継手及び定着

1. 鉄筋の継手

鉄筋の重ね継手は、次による。

原則として、D35以上の異形鉄筋については、重ね継手を用いない。

なお、径が異なる異形鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。

7) 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、40d（軽量コンクリートの場合は50D）又は下表の重ね接手の長さのうちいずれか大きい値とする。

8) 7)以外の鉄筋の重ね継手の長さは、下表による。

鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm²)	L_1 (フックなし)	L_{in} (フックなし)
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24, 27	35d	25d
	30, 33, 36	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24, 27	40d	30d
	30, 33, 36	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24, 27	45d	35d
	30, 33, 36	40d	30d

(注) 1. L_1 , L_{in} : 重ね手の長さ及びフックありの重ね手の長さ
2. L_{in} は、下図に示すようにフック部分にを含まない。
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

2. 鉄筋の定着

7) 鉄筋の定着の長さは、特記なければ、下表による。

鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm²)	直線定着の長さ		フックあり定着の長さ	
		L_1	L_2	L_3	L_{in}
SD295	18	45d	40d	35d	30d
	21	40d	35d	30d	25d
	24, 27	35d	30d	20d	10d
	30, 33, 36	35d	30d	20d	10d
SD345	18	50d	40d	35d	30d
	21	45d	40d	35d	30d
	24, 27	40d	35d	30d	25d
	30, 33, 36	35d	30d	20d	10d
SD390	21	50d	40d	35d	30d
	24, 27	45d	40d	35d	30d
	30, 33, 36	40d	35d	30d	25d

(注) 1. L_1 , L_{in} : 2, 3, 4まで外の直線定着の長さ及びフックありの定着の長さ

2. L_2 , L_3 : 斜め接線のない箇所への直線定着の長さ及びフックありの定着の長さ

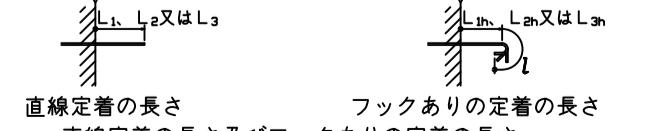
3. L_1 : 小梁の鉄筋の下端筋の直線定着の長さ、ただし、基礎筋はスラブ及びこれを受け

4. L_2 : 小梁の鉄筋のフックありの定着の長さ。

5. フックありの定着の場合、下図に示すようにフック部分を含まない。

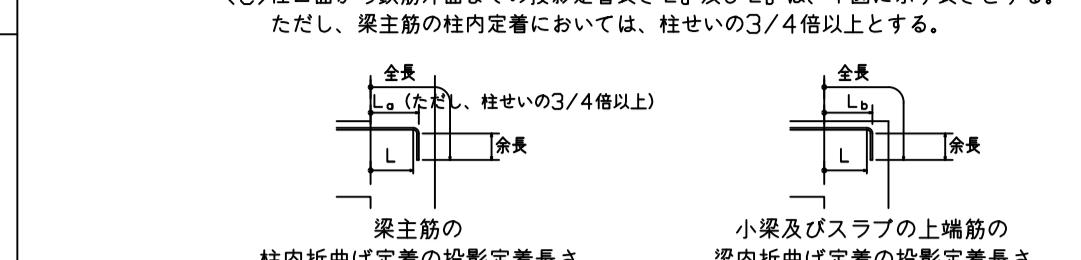
6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

定着点定



1) 定着の方法
仕口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さしが、フックありの定着の長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法は、特記による。特記がなければ、下図に示す条件を全て満足するものとする。

- (a) 全長は、 L の直線定着の長さ以上とする。
- (b) 余長は、 D 以上とする。
- (c) 仕口から鉄筋外端までの投影定着長さ L 及び L_{in} は、下図に示す長さとする。ただし、梁主筋の内定着においては、柱せいの3/4倍以上とする。



2. 鉄筋の投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm²)	投影定着長さ	
		L_{in}	L_{in}
SD295	18	1.5d	1.5d
	21	1.5d	1.5d
	24, 27	1.5d	1.5d
	30, 33, 36	1.5d	1.5d
SD345	18	2.0d	2.0d
	21	2.0d	2.0d
	24, 27	2.0d	2.0d
	30, 33, 36	2.0d	2.0d
SD390	18	2.0d	2.0d
	21	2.0d	2.0d
	24, 27	2.0d	2.0d
	30, 33, 36	2.0d	2.0d

(注) L_{in} を確保できない場合は、鉄筋の端部及び余長

3. 鉄筋の投影定着長さ

4. 隣り合う継手の位置

隣り合う継手の位置は、下図による。ただし、スラブ筋でD16以下の場合

及び壁筋の場合は除く。なお、先組み工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同一箇所に設ける場合は、特記による。

5. 溶接金網の継手及び定着

L_1 は1. 4), L_2 及び L_3 は2. 7)による。

6. スパイラル筋の継手及び定着

7. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

8. 鉄筋の継手及び定着

9. 基礎の配筋

10. 帯筋組立の形及び割付け

11. S P形（スパイラル筋）

12. 丸形

13. ハンチのある場合の定着及び余長

14. あら筋組立の形及びフックの位置

15. 基礎梁の配筋

16. 基礎接合部の補強配筋

17. 基礎梁の配筋

18. 基礎梁の配筋

19. 基礎梁の配筋

20. 基礎梁の配筋

21. 基礎梁の配筋

22. 基礎梁の配筋

23. 基礎梁の配筋

24. 基礎梁の配筋

25. 基礎梁の配筋

26. 基礎梁の配筋

27. 基礎梁の配筋

28. 基礎梁の配筋

29. 基礎梁の配筋

30. 基礎梁の配筋

31. 基礎梁の配筋

32. 基礎梁の配筋

33. 基礎梁の配筋

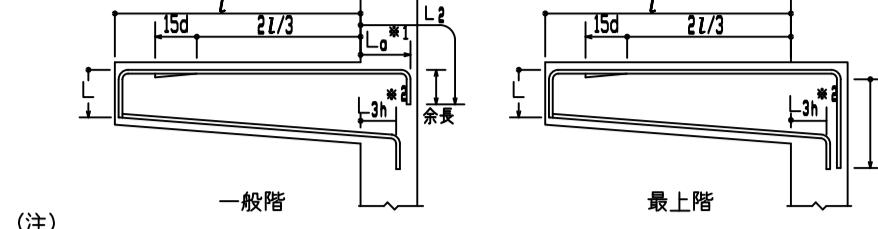
34. 基礎梁の配筋

</

鉄筋工事仕様書 No.2

2. 片持梁主筋の定着及び余長

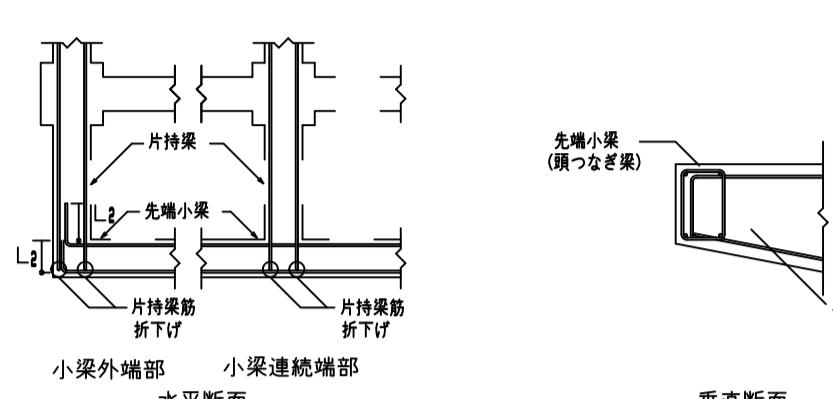
1) 先端に小梁のない場合



(注)
1. □印は、余長位置を示す。
2. 先端の折曲げ長さしは、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。
3. 図示のない事項は、大綱の項目による。

*1. L₁の数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。
*2. L₃を確保できない場合は、鉄筋の継手及び定着の項によることができる。

2) 先端に小梁がある場合



(注)
1. 図示のない場合は、先端に小梁のない場合の項による。
2. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
3. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

壁及びその他の配筋

1. 壁の基礎配筋

1) 壁の基礎配筋は下図による。

壁の基礎配筋			
種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	階段の配筋
W12	D10-200@シングル	120	
W15A	D10-150@シングル	150	
W15B	D10-100@シングル	150	
W18A	D10-200@ダブル	180	
W18B	D10-150@ダブル	180	
W20A	D10-200@ダブル	200	
W20B	D10-150@ダブル	200	

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

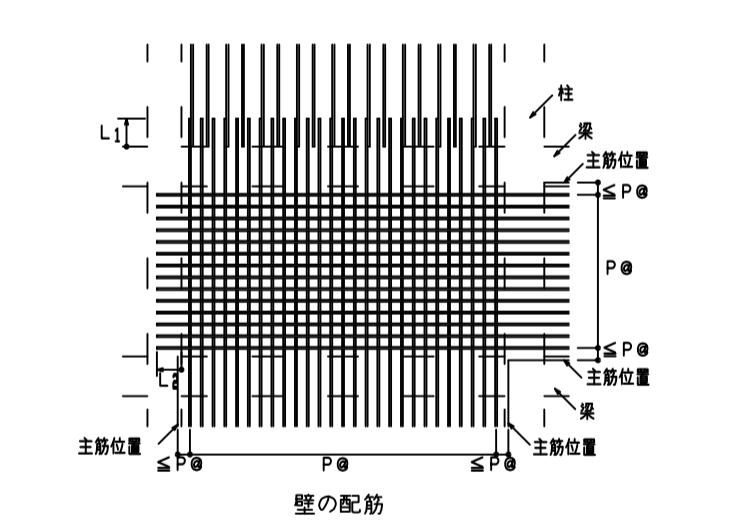
2) 片持ちスラブ形階段を受ける壁の基礎配筋は下図による。

片持ちスラブ形階段を受ける壁の基礎配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	階段の配筋
KW1	縦筋 D10-200@ダブル 横筋 D10-200@ダブル	180	KA1 KA3
KW2	縦筋 D10-150@ダブル 横筋 D10-200@ダブル	200	KA2 KA4

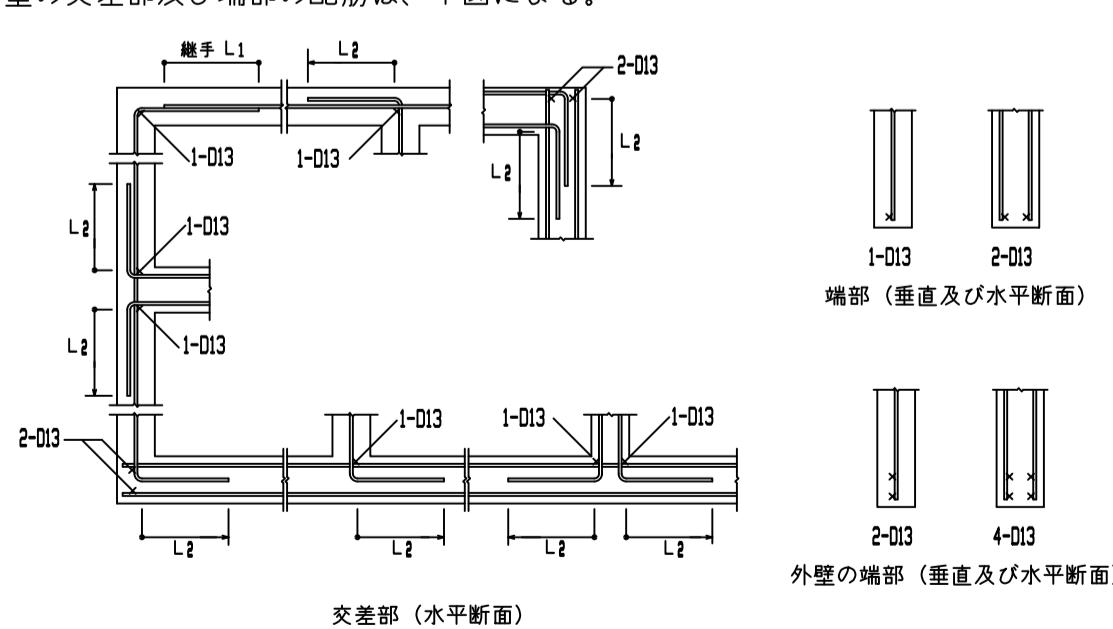
(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

2. 壁の継手及び定着



(注)
1. 図中のP0は、特記された壁筋の間隔を示す。
2. 壁筋の重ね継手はL₁、定着長さはL₂とする。
3. 梯級止め筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。
4. 原則として、柱及び梁内に、壁筋の継手を設けてはいけない。

3. 壁の交差部及び端部の配筋は、下図による。

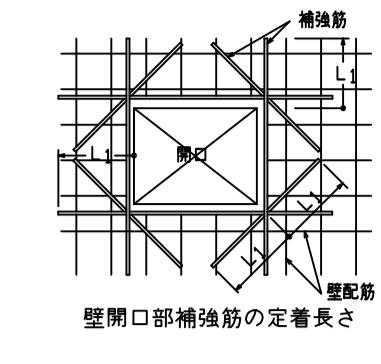


4. 壁開口部の補強

1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形又はB形とする。

壁開口部補強筋 (A形)		壁開口部補強筋 (B形)	
壁の種別	縦 横	斜め	補 強 筋
W12, W15	1-D13	1-D13	
W18, W20	2-D13	2-D13	

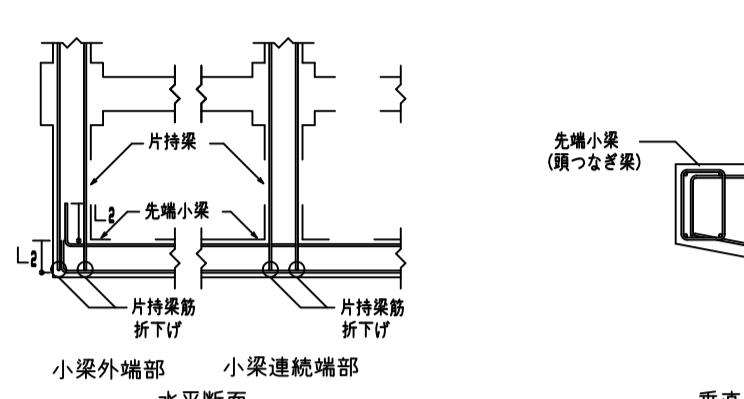
2) 壁開口部補強筋の定着長さは、下図による。



(注)
1. □印は、余長位置を示す。
2. 先端の折曲げ長さしは、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。
3. 図示のない事項は、大綱の項目による。

*1. L₁の数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。
*2. L₃を確保できない場合は、鉄筋の継手及び定着の項によることができる。

2) 先端に小梁のある場合

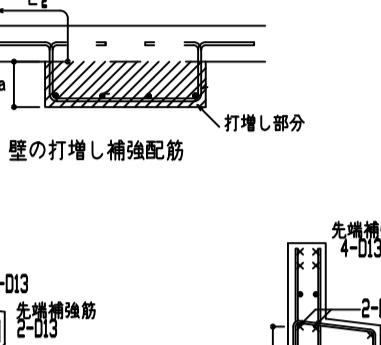


(注)
1. 図示のない場合は、先端に小梁のない場合の項による。
2. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
3. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

3) 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げることにより開口部を遮けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

5) 壁の打増し補強配筋

壁の打増し厚さ (t) が50mm以上の場合の補強を示す



(注)
1. 図示のない場合は、先端に小梁のない場合の項による。
2. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
3. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

6) パラベットの配筋

パラベットの配筋

(注)
1. 図示のない場合は、先端に小梁のない場合の項による。
2. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
3. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

スラブの配筋

1) スラブの基礎配筋

1) スラブの基礎配筋

スラブの基礎配筋

1) 屋根スラブの出隅部及び入隅部

1) 屋根スラブの出隅部及び入隅部

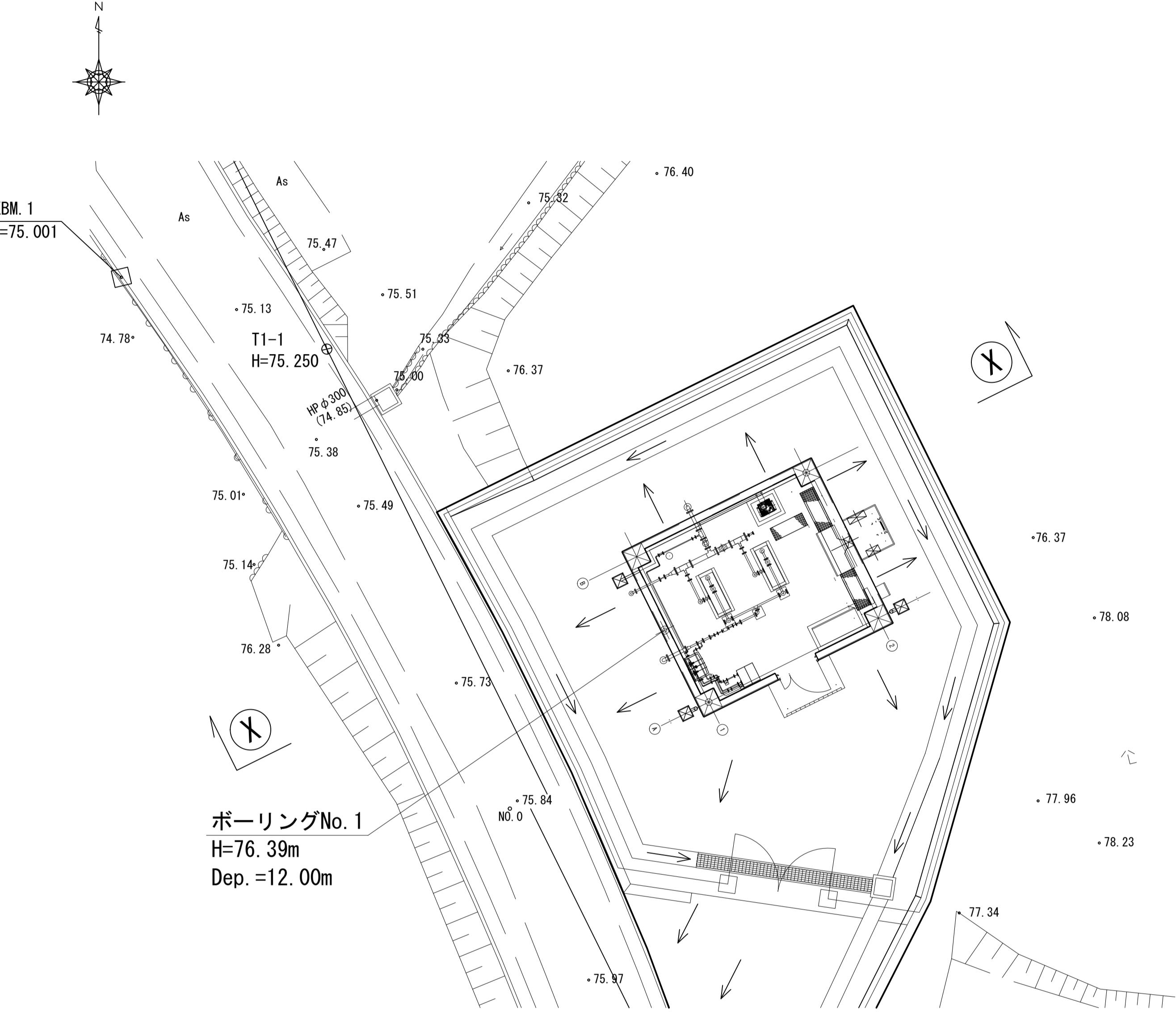
2) 二辺固定スラブ形段階配筋

2) 二辆固定スラブ形段階配筋

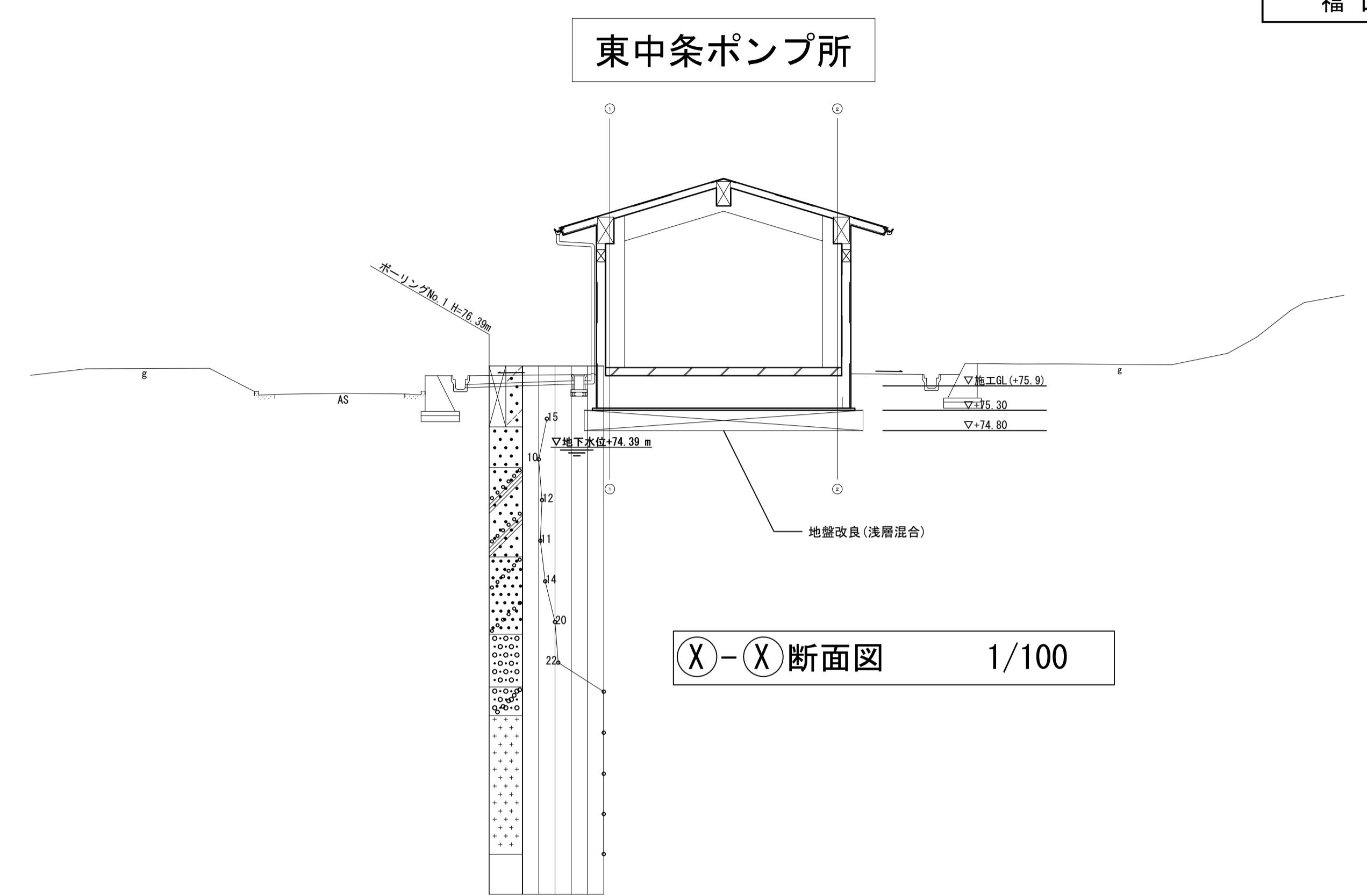
工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	土質柱状図		
図面番号	S-4	縮尺	1:100

設計年月 2026年1月
A3 50%縮小縮尺

東中条ポンプ所



調査位置図 1/100



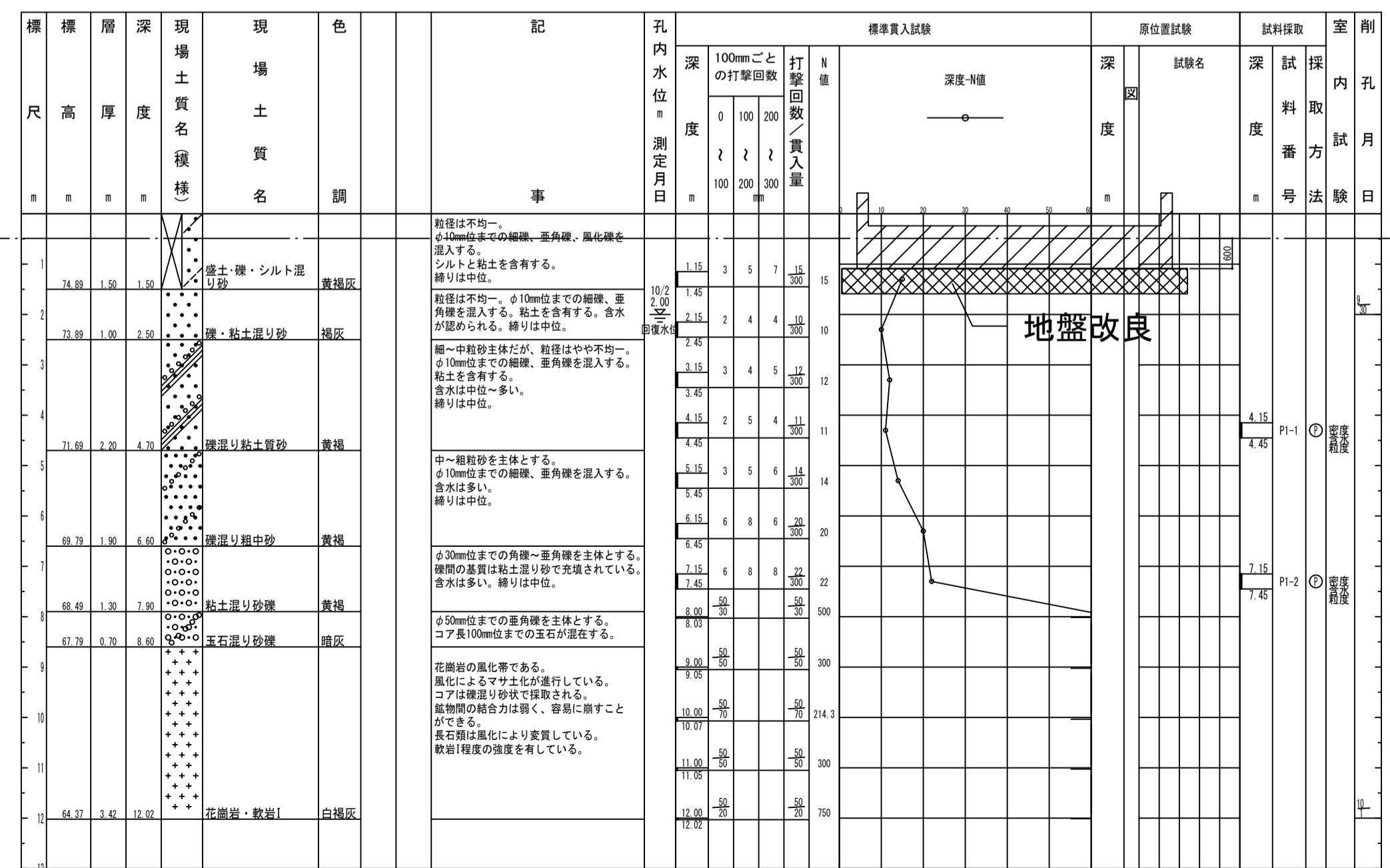
土質ボーリング柱状図(標準貫入試験)

調査名 (仮称)東中条加圧施設新設詳細設計業務委託

事業名または工事名

調査目的及び対象 上水道施設 基礎調査

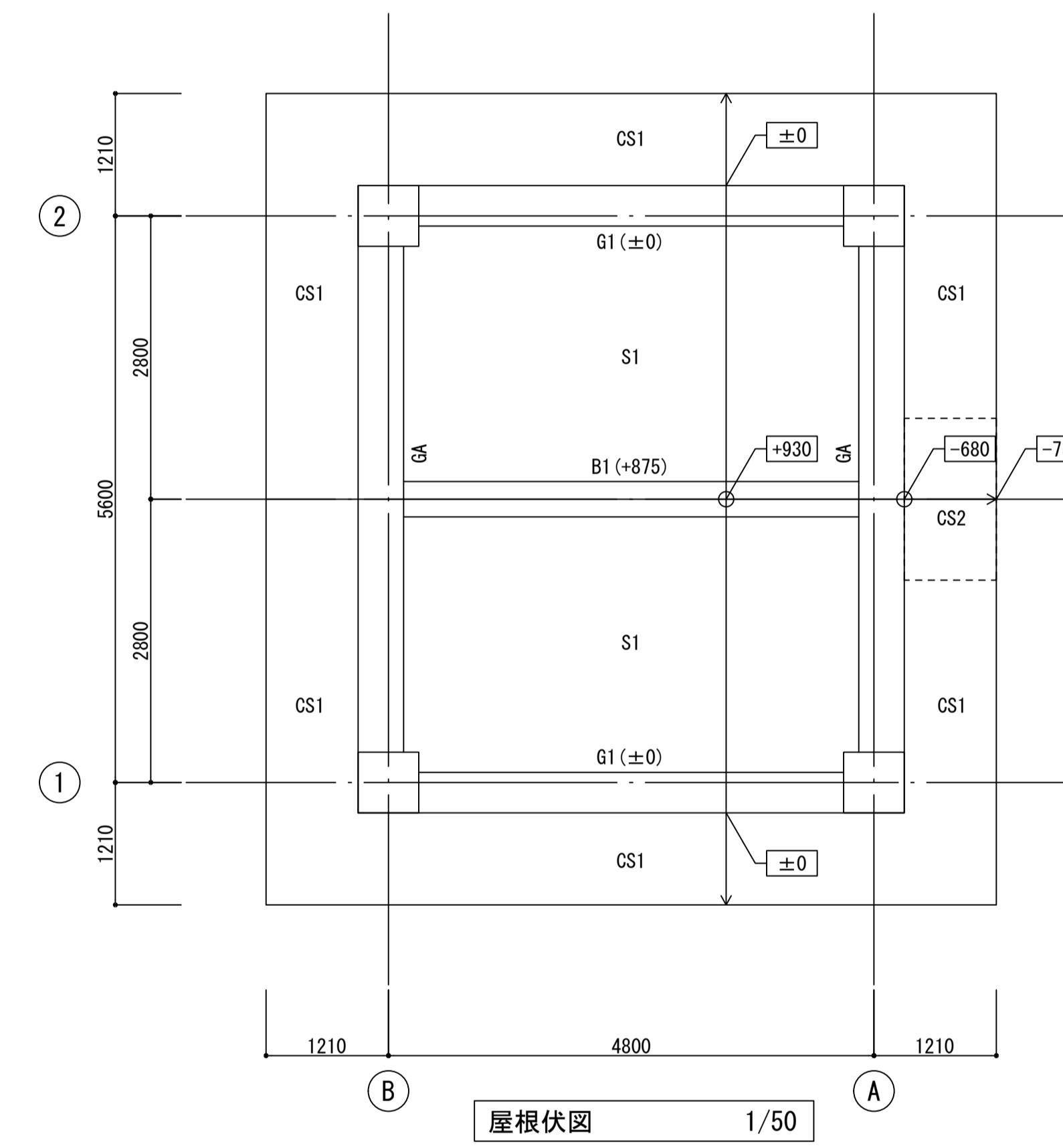
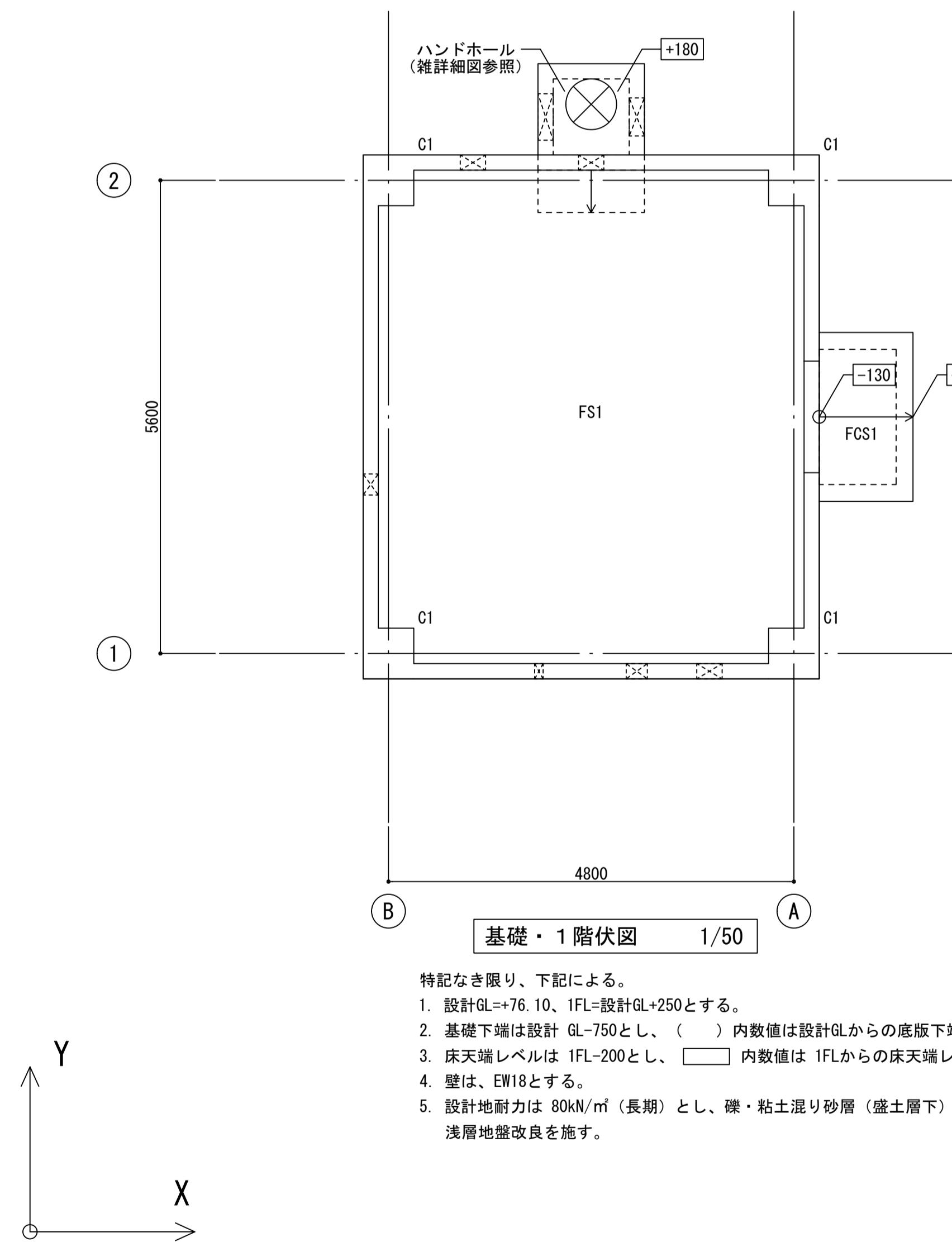
ボーリング名	No.1	調査位置	福山市神辺町 地内	北緯	34°35'11.6"
発注機関	福山市上下水道局	調査期間	2024年9月30日～2024年10月2日	東経	133°22'54.5"
調査業者名	株式会社日建技術コンサルタント	主任技術者	杉本朋哉	現代理人	奥野花菜
	06-6766-3905	担当者	岡村宏信	担当者	ボーリング 実験担当者 加藤倫明
孔口標高	H=76.39m	方位	北	測量員	井上義士 23388
総削孔長	12.00m	地盤	東邦D-1	試験機	東邦BG-3
		水深	ヤンマーNFD10-ME	エンジン	ポンプ 東邦BG-3



地盤改良

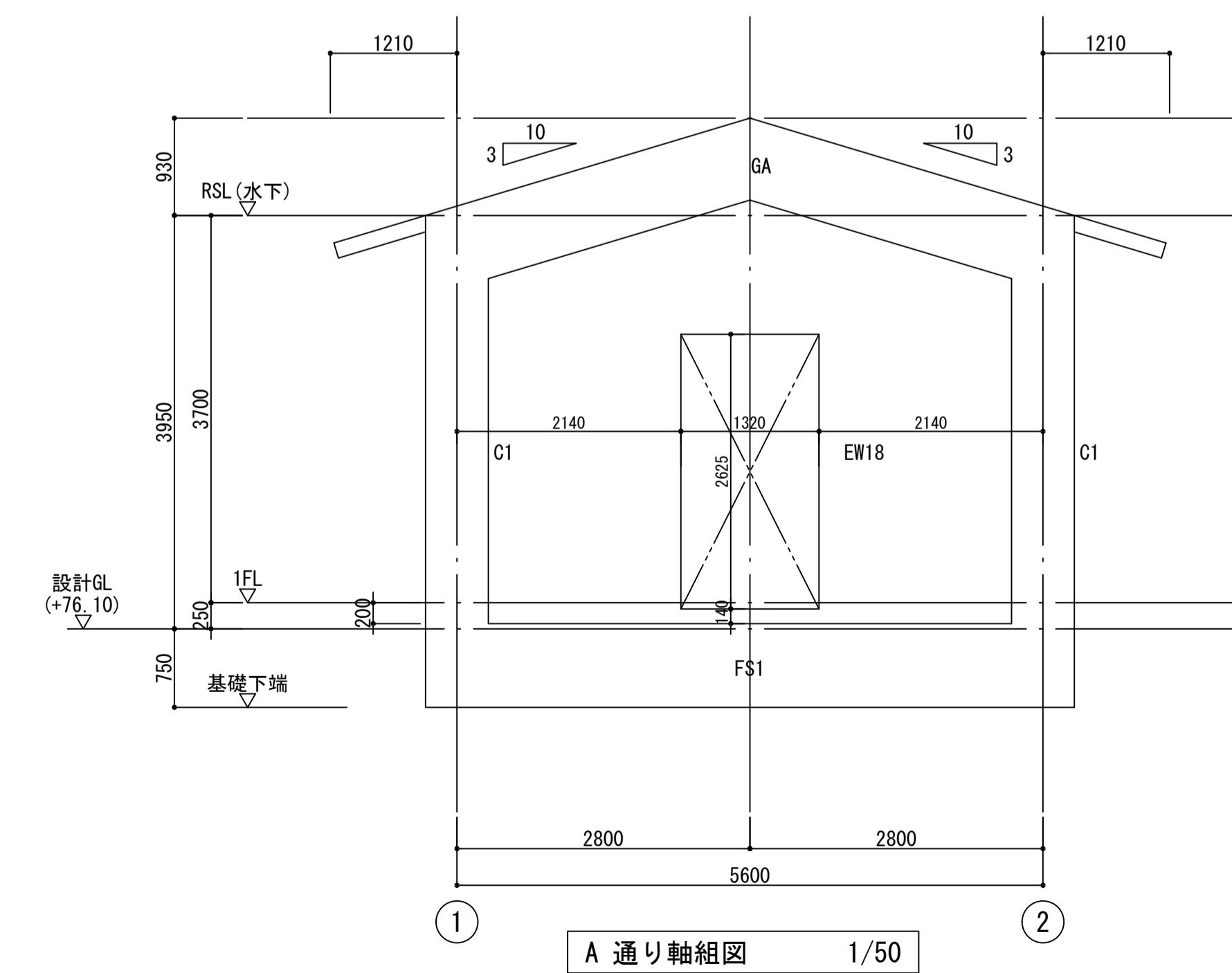
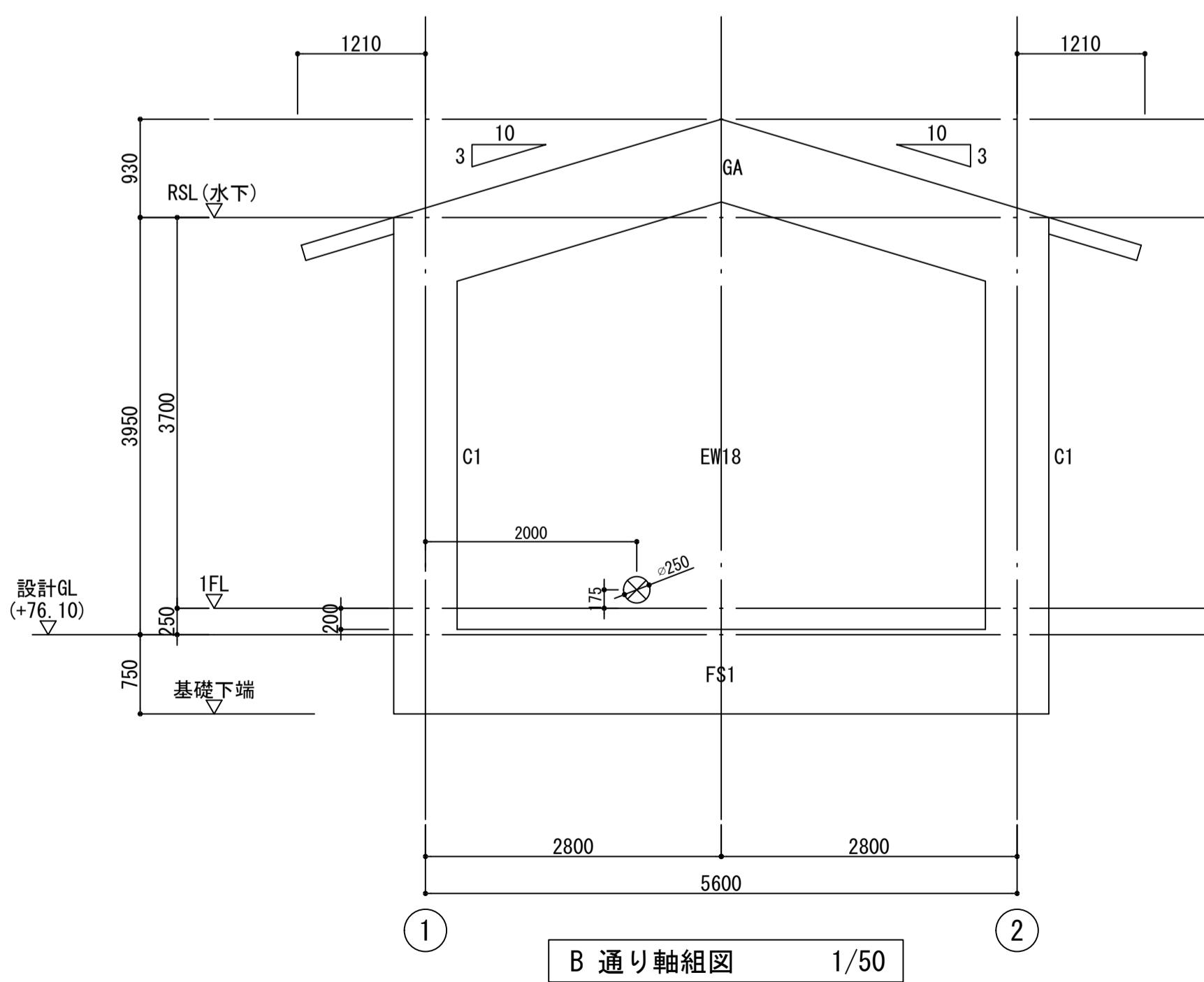
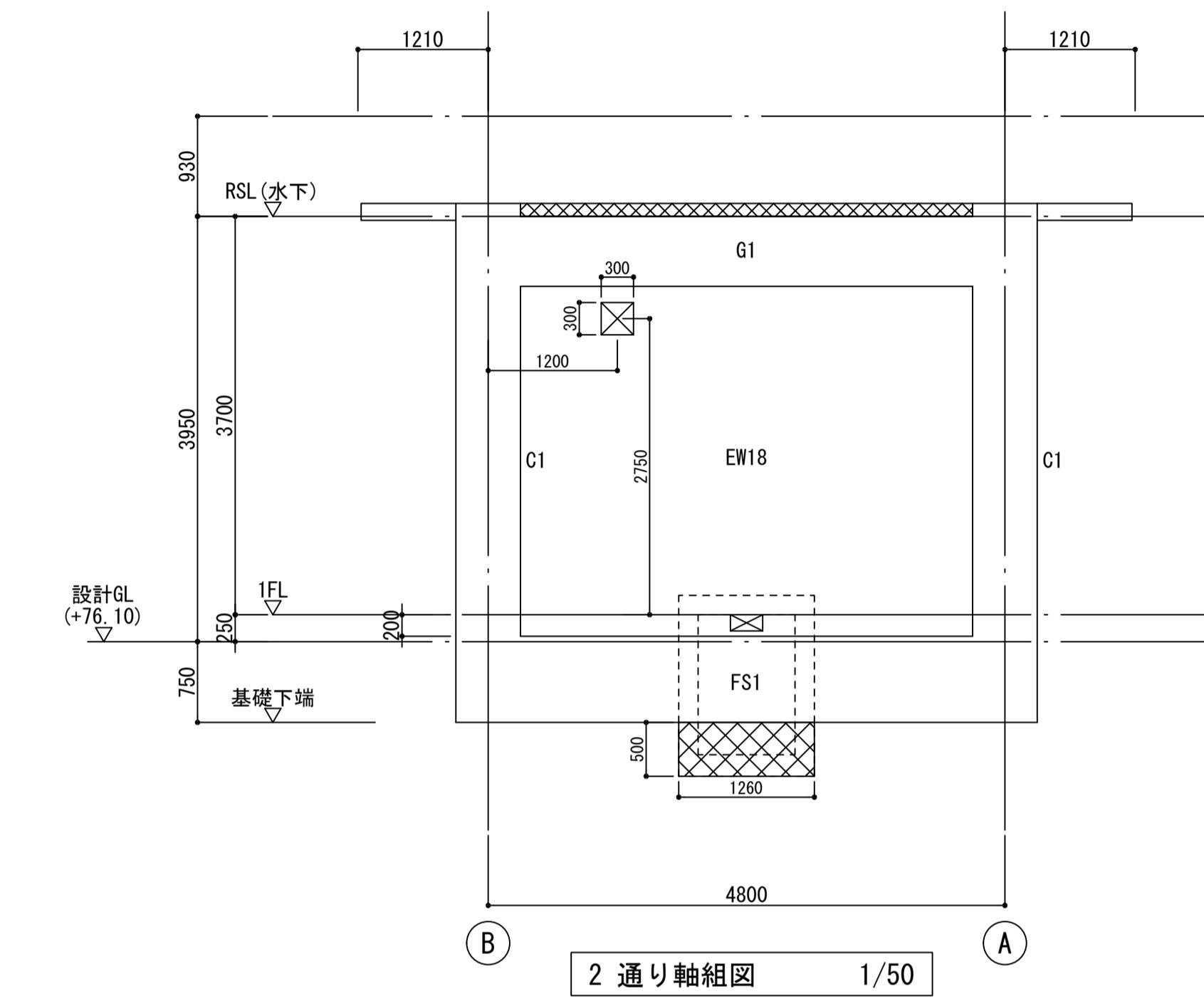
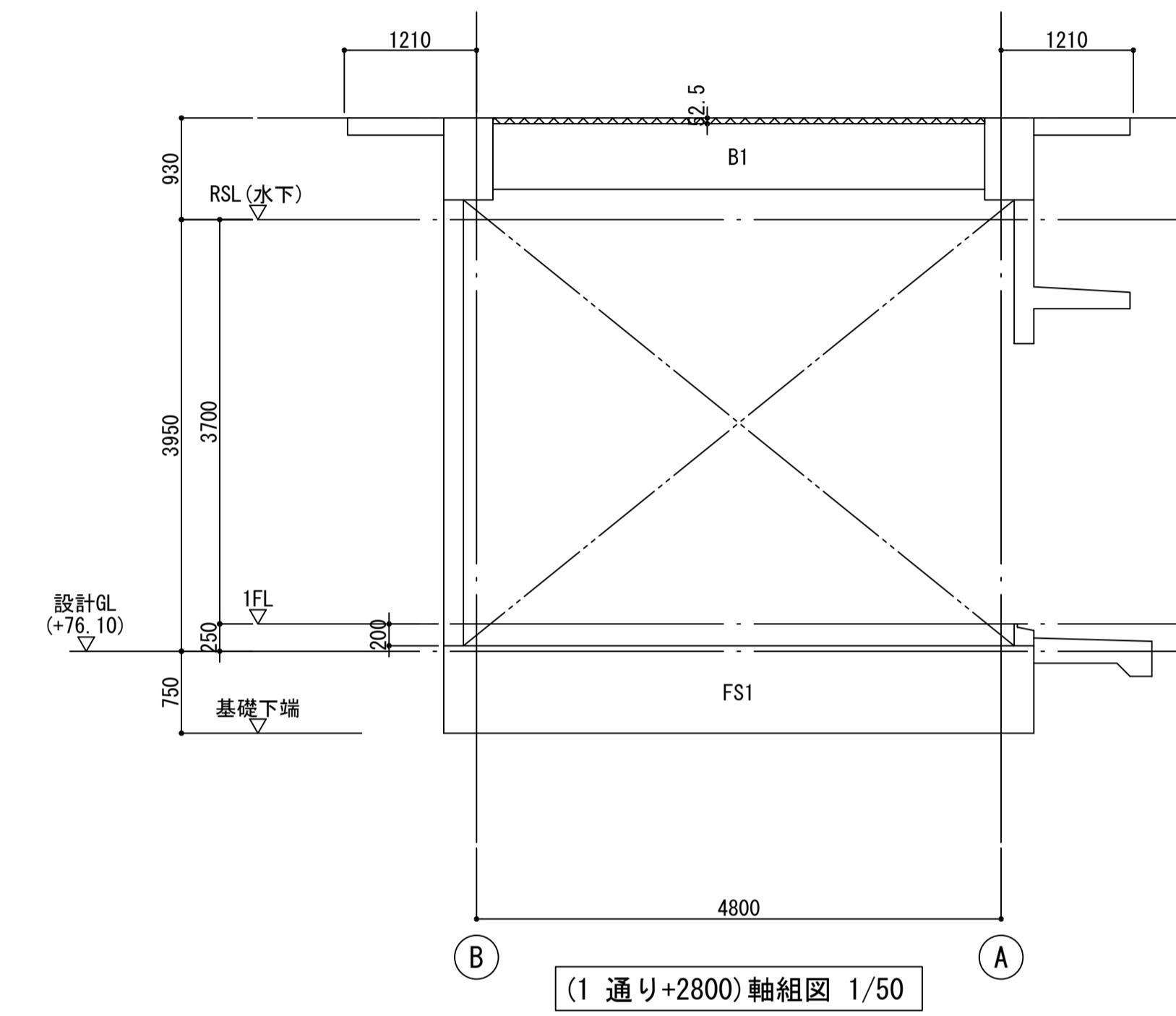
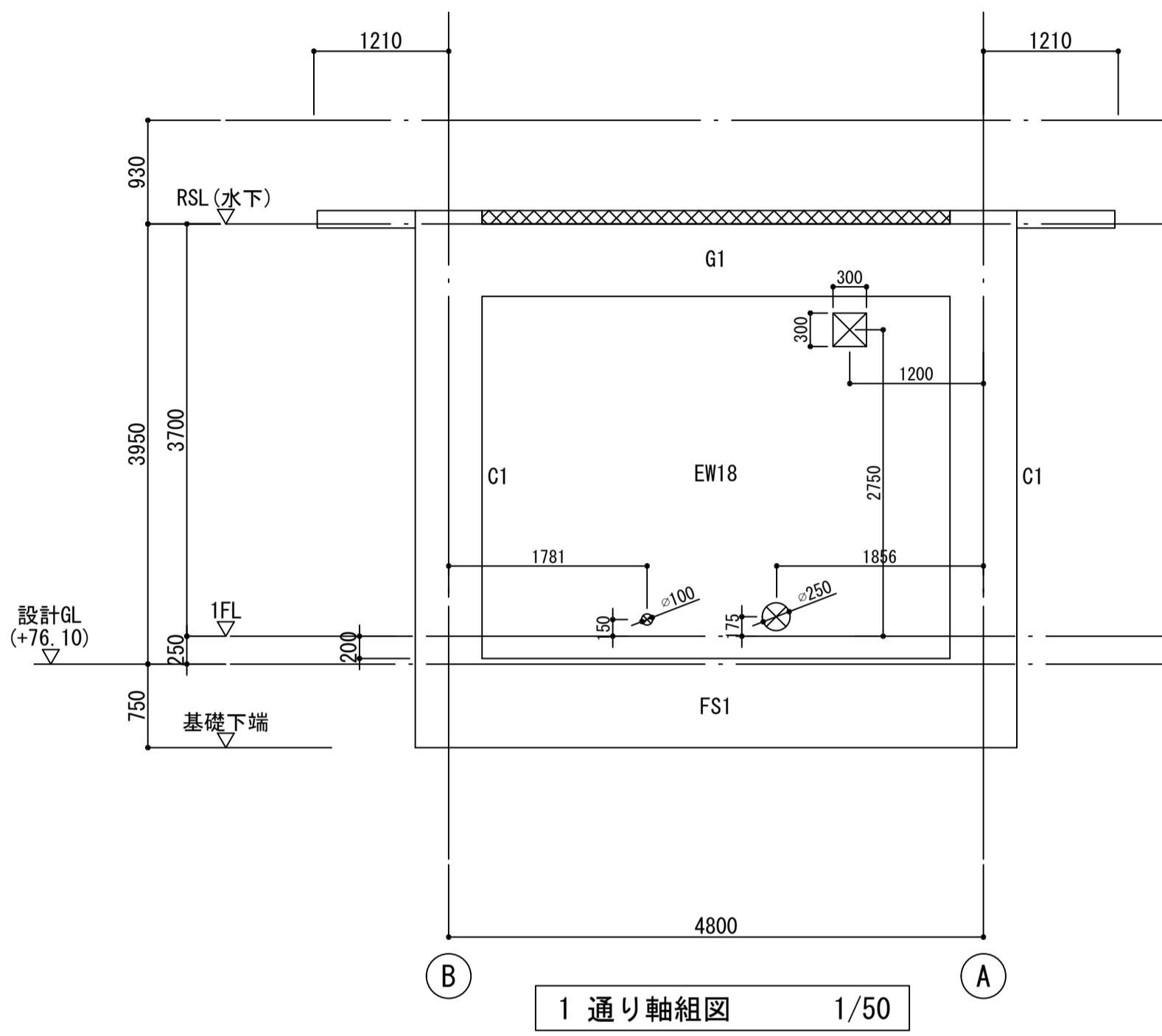
工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	伏図		
図面番号	S-5	縮尺	1:50
福山市上下水道局			

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺



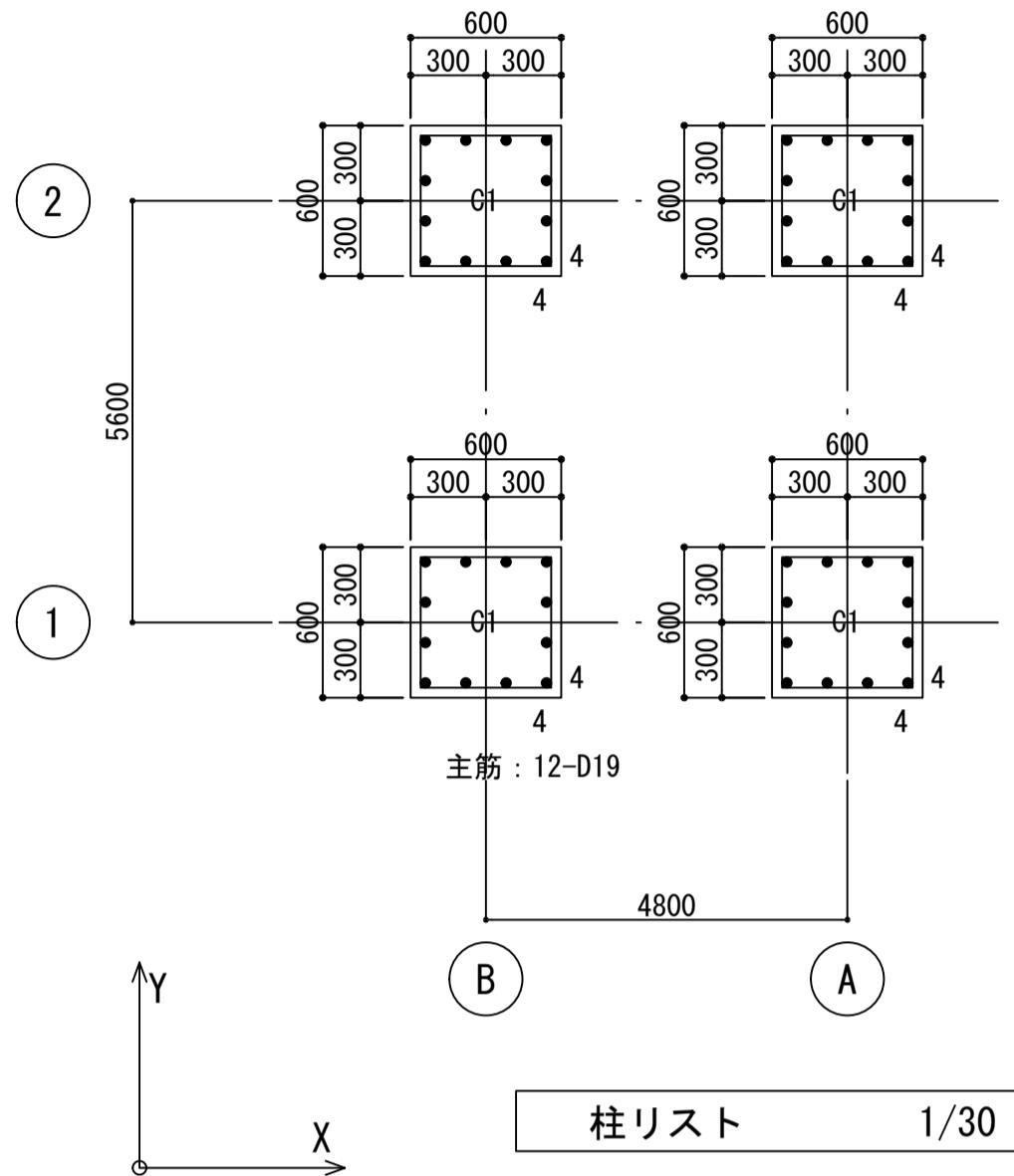
工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	軸組図		
図面番号	S-6	縮尺	1:50

設計年月 2026年1月
A3 50%縮小縮尺



工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	断面リスト、部分詳細図		
図面番号	S-7	縮尺	1:30

設計年月 2026年1月
A3 50%縮小縮尺



柱リスト 1/30

特記なき限り、下記による。
1. HOOPは、□-D13@100とする。

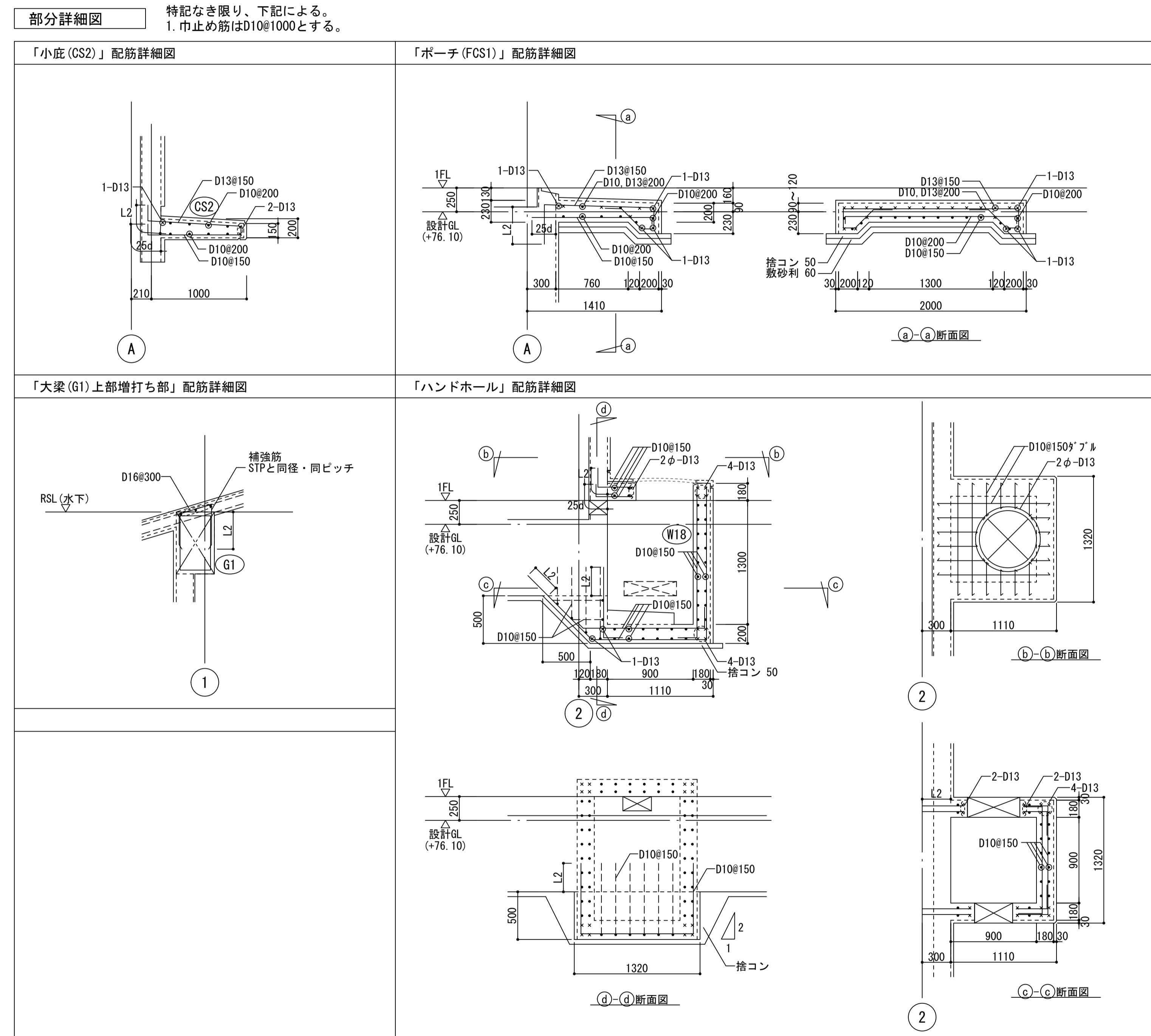
大梁・小梁リスト

階	符 号	G1	GA	B1
	位置	全断面	全断面	全断面
	B x D	400 x 650	450 x 750	350 x 600
	上端筋	3-D22	4-D22	3-D19
R	断 面			
	下端筋	3-D22	4-D22	3-D19
	S T P	2-D13@200	2-D13@200	2-D10@200
	腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10
	備 考			

特記なき限り、下記による。
1. 巾止め筋はD10@1000以下とする。
2. 地業は、(A:捨コン 50のみ、B:捨コン 50+敷砂利 60)とする。

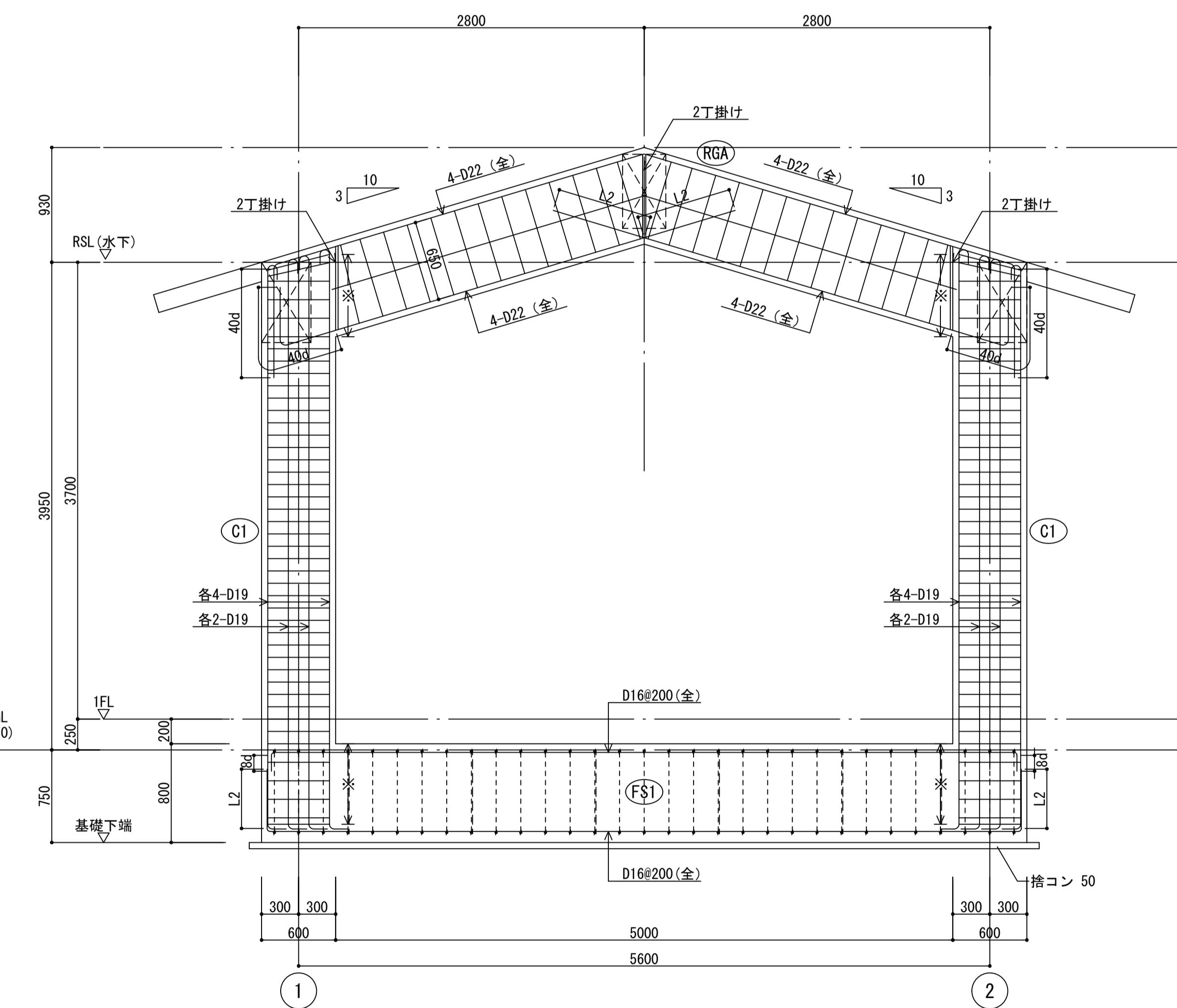
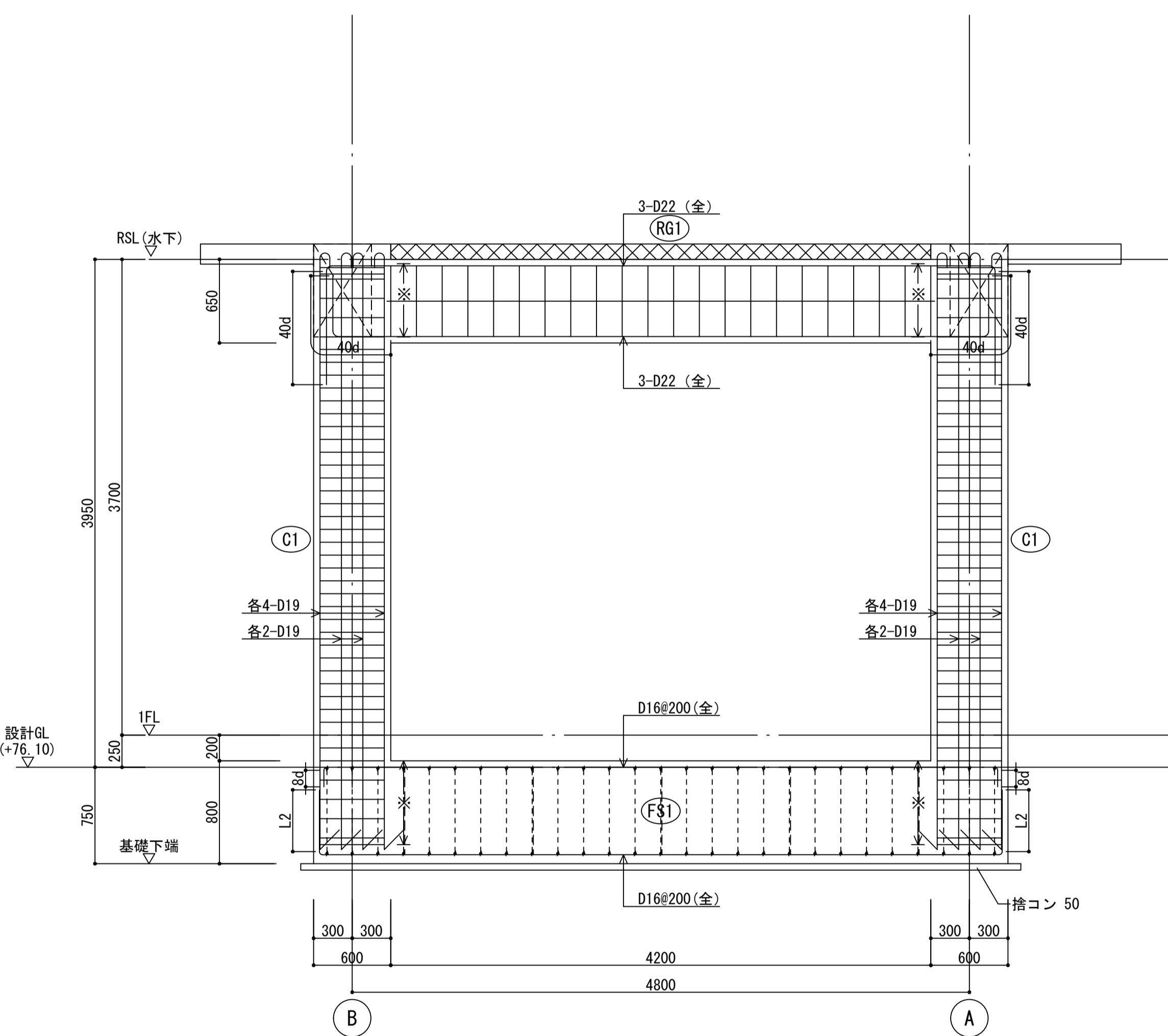
床版リスト

符 号	版 厚	位 置	主筋(短辺)方向		配筋(長辺)方向		備 考
			端 部	中 央	端 部	中 央	
S1	150	上端筋	D10, D13@200		D10, D13@200		
		下端筋	D10@200		D10@200		
CS1	150	上端筋	D10, D13@200		D10, D13@200		片持ちスラブ(底) 支持条件に関わらずY方向を主筋とする。
		下端筋	D10@200		D10@200		
CS2	200~150	上端筋	D13@150		D10@200		片持ちスラブ(小庇)
		下端筋	D10@150		D10@200		
FS1	800	上端筋	D16@200		D16@200		底版スラブ、地業Aを施す。 巾止め筋は、D13@100とする。
		下端筋	D16@200		D16@200		
FCS1	230~200	上端筋	D13@150		D10, D13@200		ボーチ片持ちスラブ、地業Bを施す。 形状及び配筋詳細は、雑詳細図による。
		下端筋	D10@150		D10@200		



工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	架構配筋詳細図		
図面番号	S-8	縮尺	1:30
福山市上下水道局			

設計年月 2026年1月
A3 50%縮小縮尺

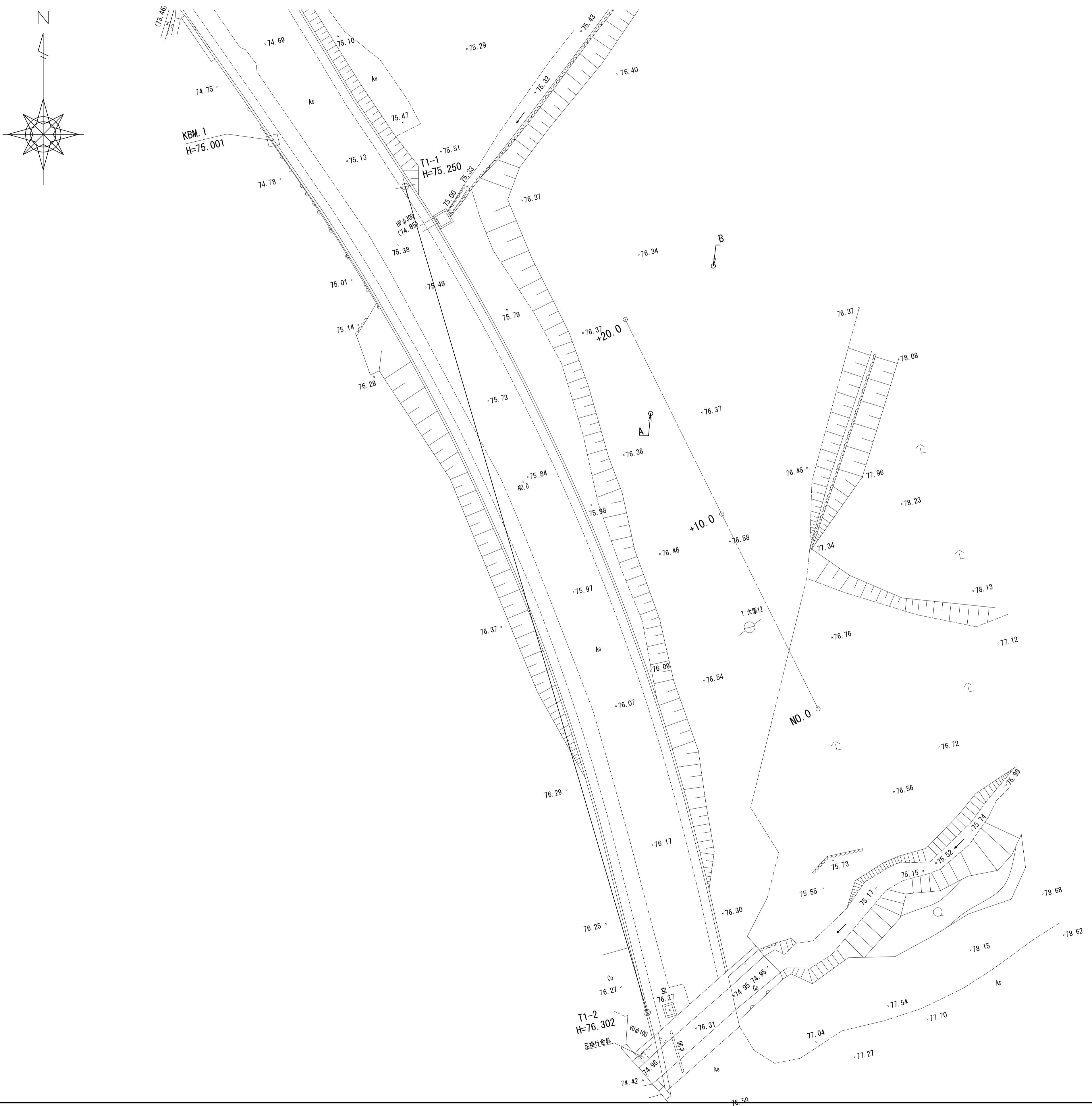


特記なき限り、下記による（各図共通）。
 1. STPは 2-D13@200、腹筋は 2-D10とする。
 2. HOOPは □-D13@100とする。
 3. 仕口内（※印部）HOOPは、□-D13@150とする。
 4. 柱頭部仕口内柱主筋の定着は、全数フック付きとする。

工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	現況平面図		
図面番号	C-1	縮尺	1:100
福山市上下水道局			

現況平面図 S=1:100

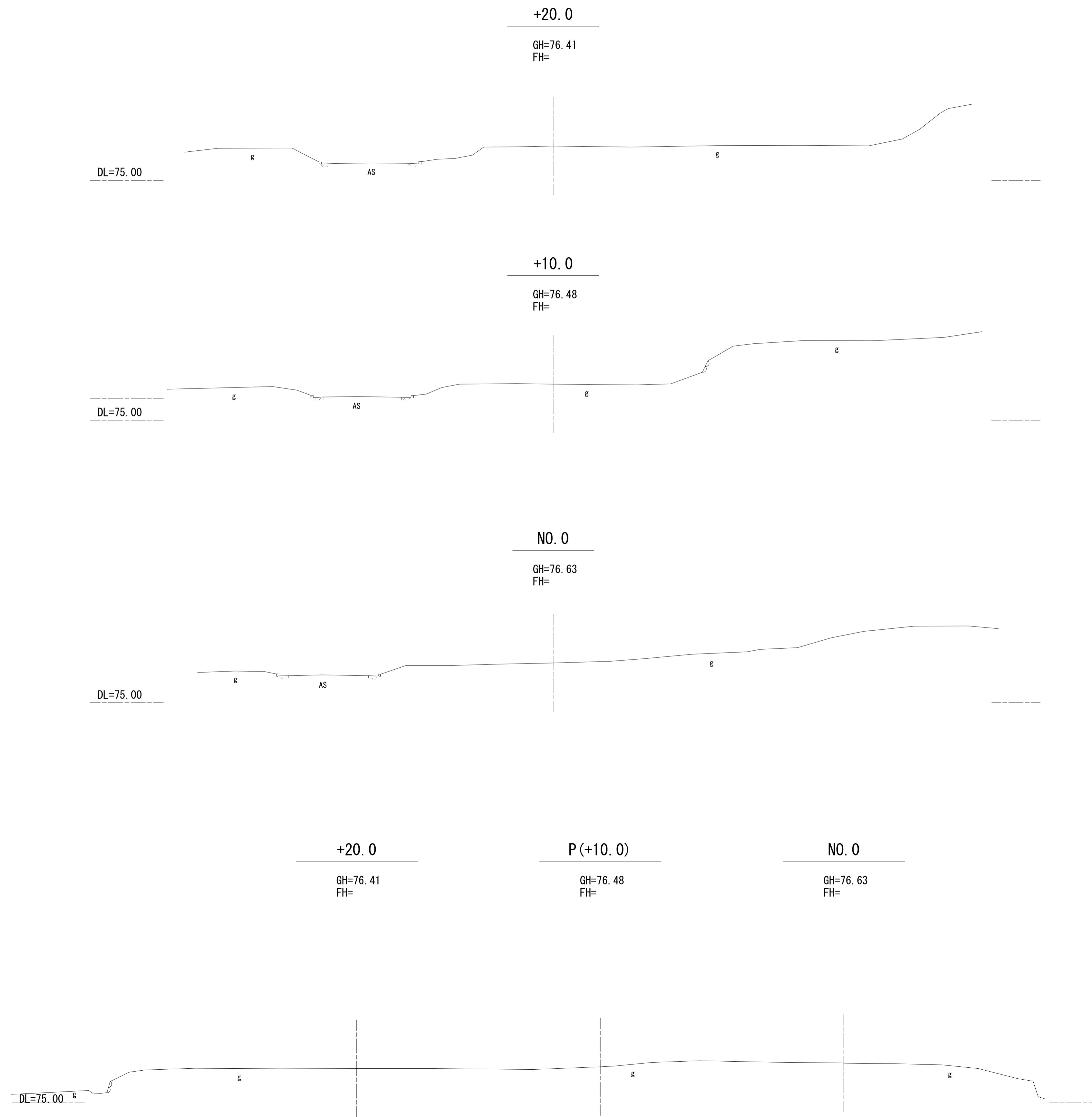
設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺



現況横断・縦断図 S=1:100

工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	現況横断・縦断図		
図面番号	O-2	縮尺	1:100
福山市上下水道局			

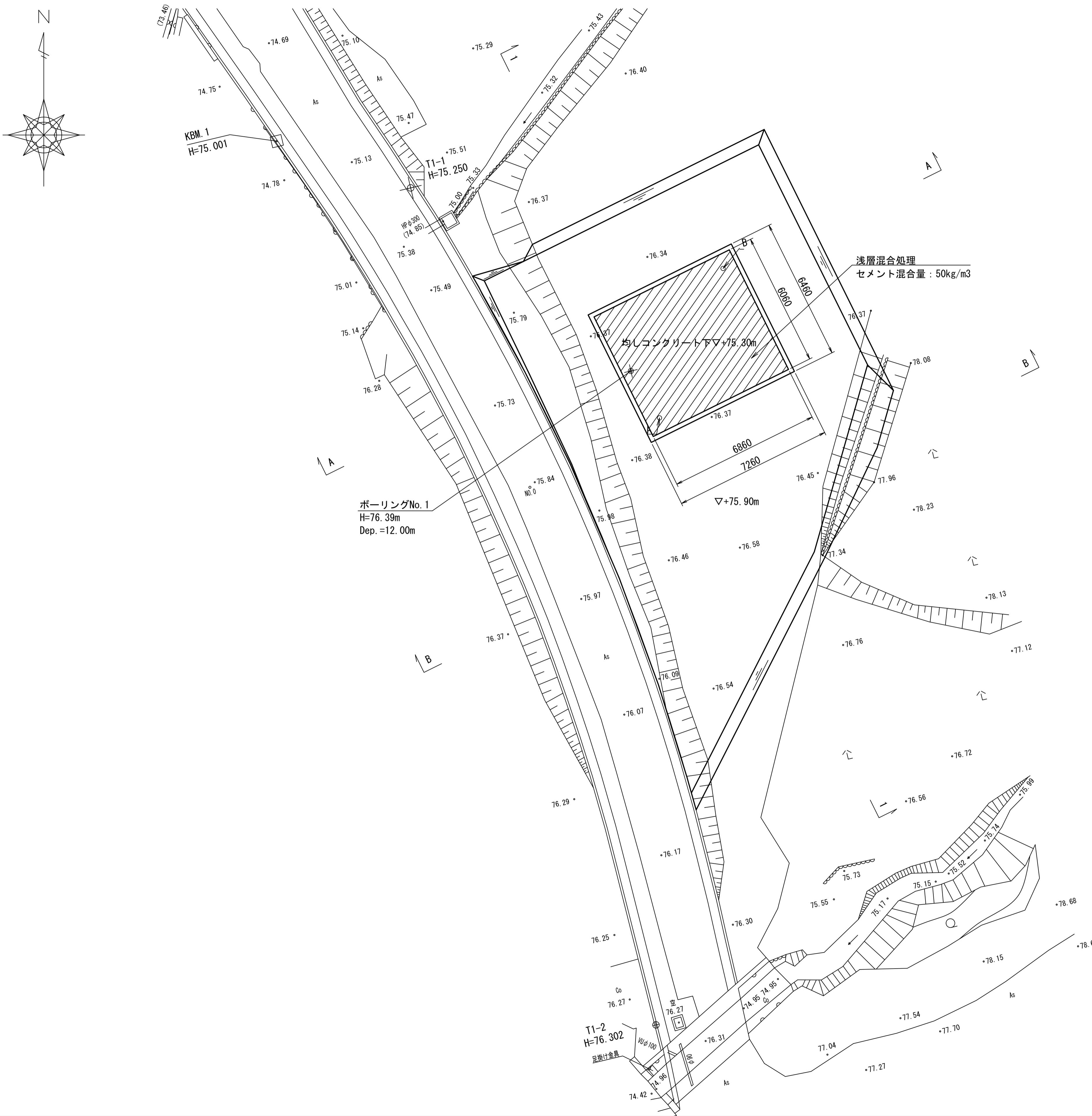
設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺



土工平面図 S=1:100

工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	土工平面図		
図面番号	C-3	縮尺	1:100
福山市上下水道局			

設計年月 2026年1月
A3 50%縮小縮尺

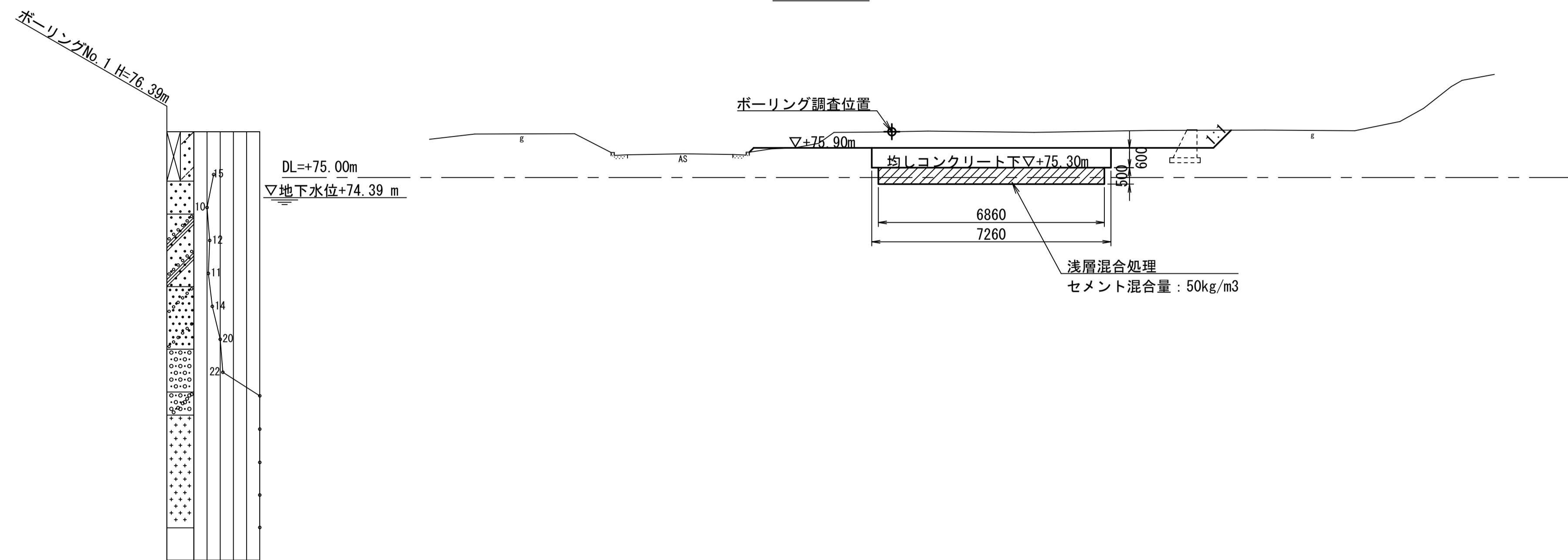


工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	土工断面図		
図面番号	C-4	縮尺	1:100
福山市上下水道局			

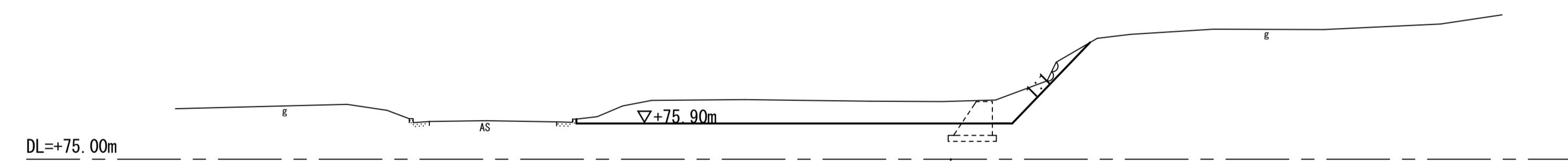
設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺

土工断面図 S=1:100

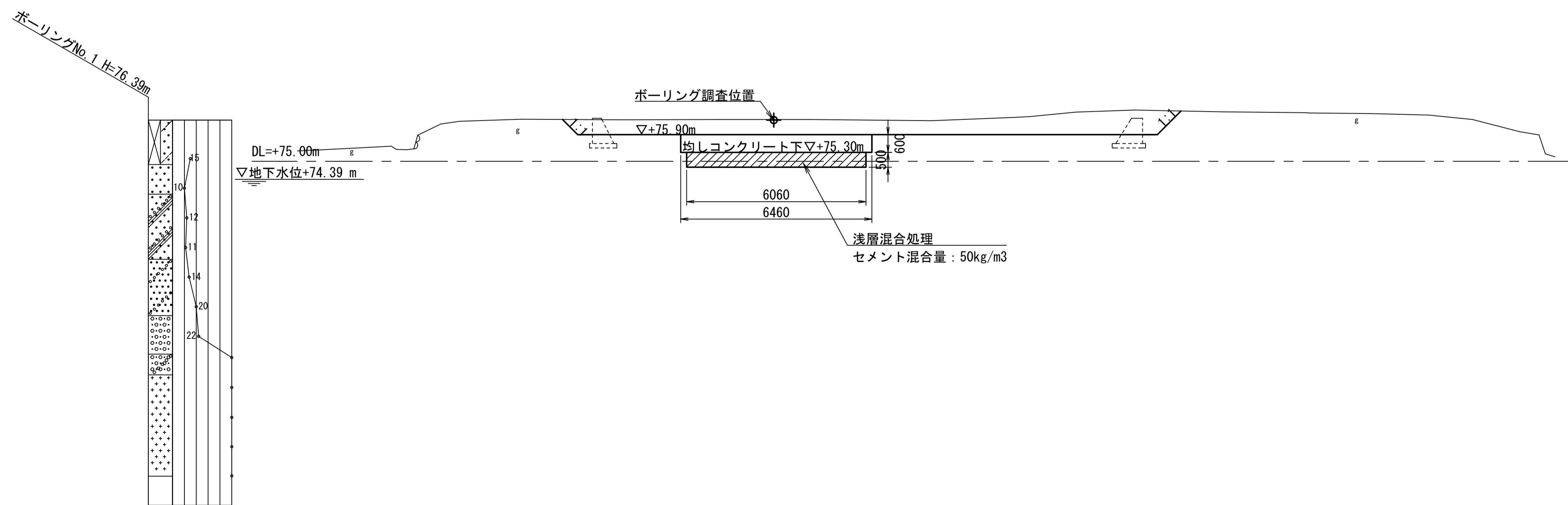
A-A断面図



B-B断面図



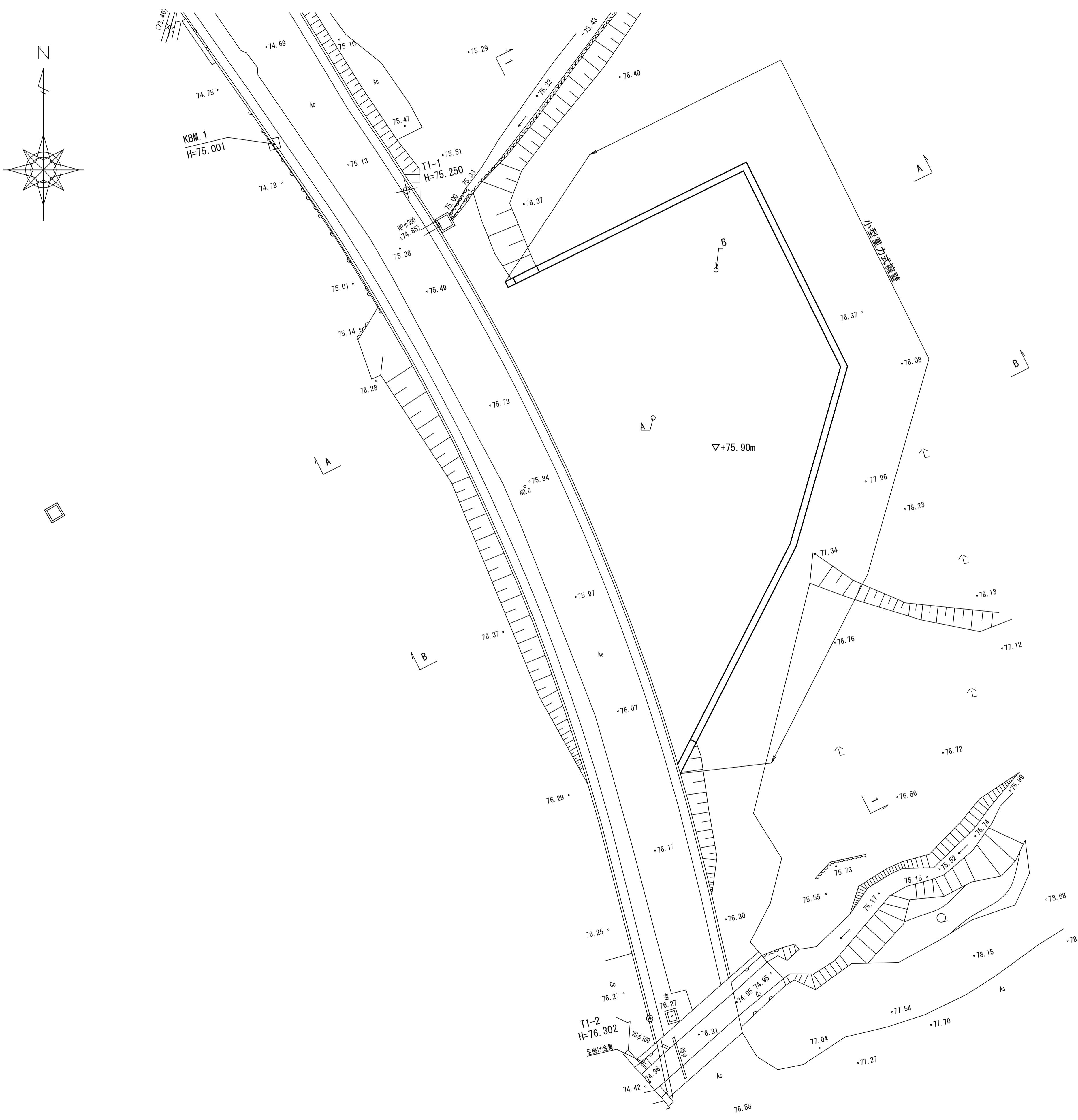
1-1断面図



造成平面图 S=1:100

工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	造成平面図		
図面番号	C-5	縮尺	1:100
福山市上下水道局			

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺

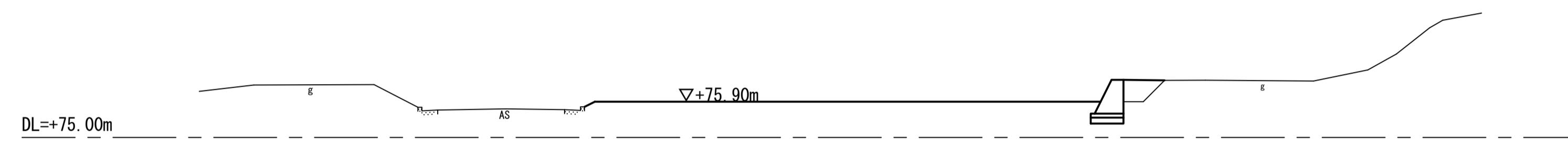


工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	造成断面図		
図面番号	C-6	縮尺	1:100
福山市上下水道局			

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺

造成断面図 S=1:100

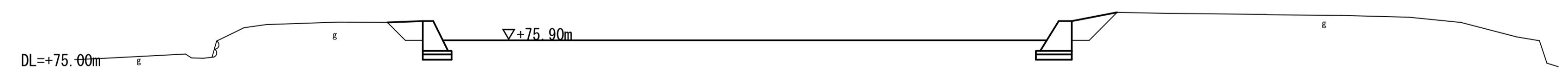
A-A断面図



B-B断面図



1-1断面図

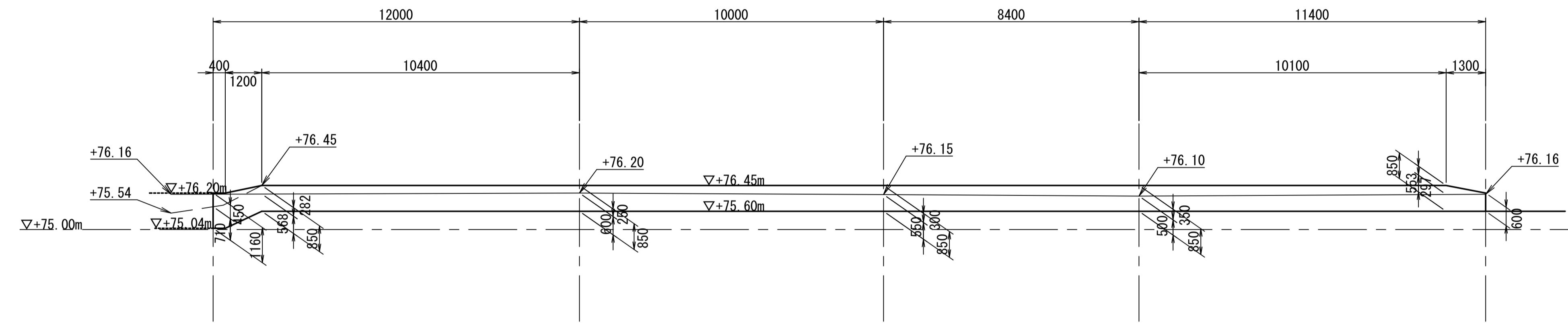


工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	小型重力式擁壁展開図・標準図		
図面番号	C-7	縮尺	1:100 1:25
福山市上下水道局			

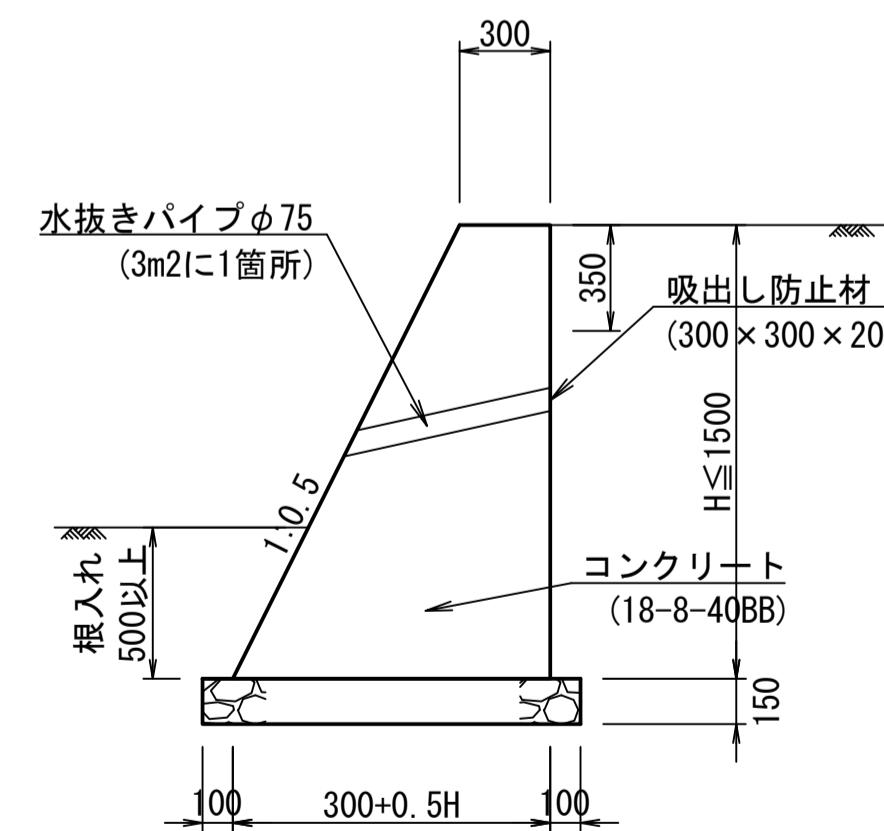
小型重力式擁壁展開図・標準図 S=1:100

設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺

展開図



標準図
S=1:25



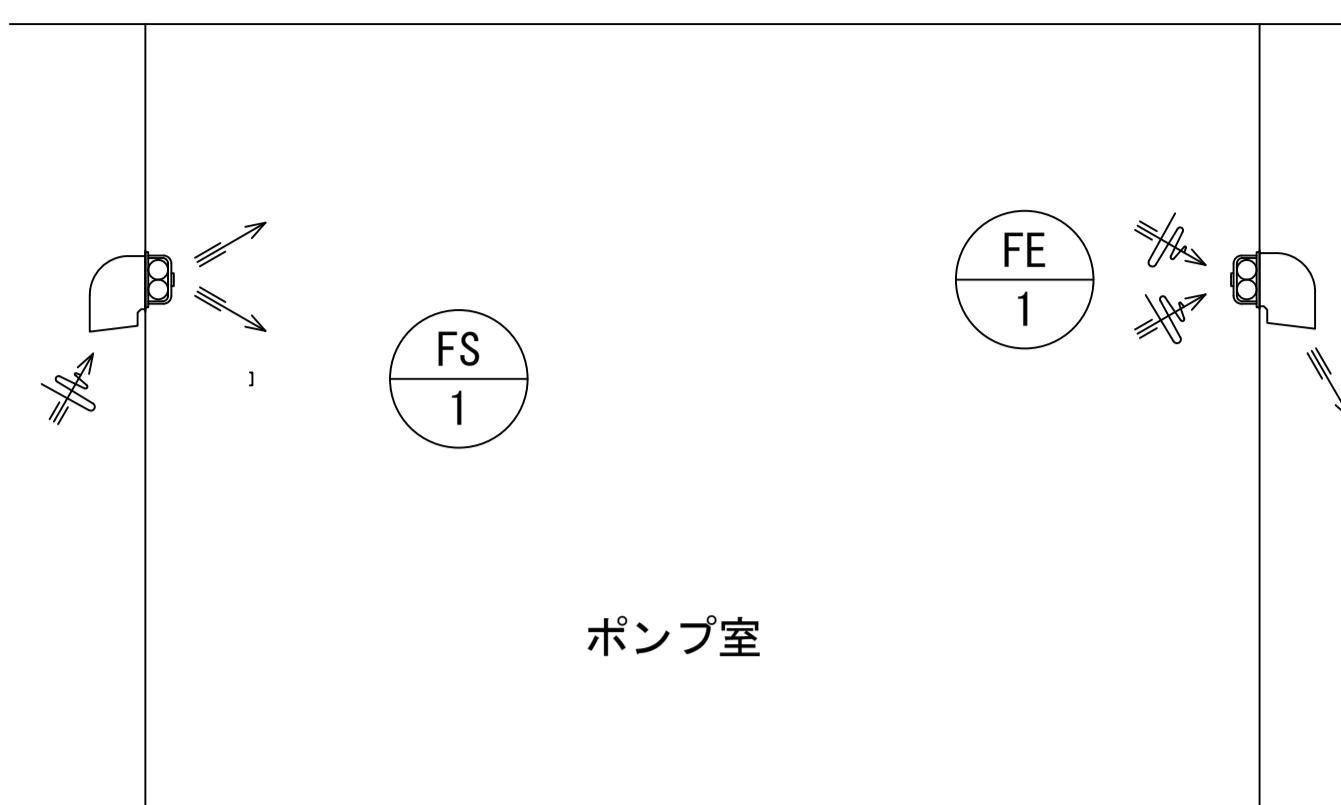
福山市機械設備工事特記仕様書		工事名 (仮称)東中条ポンプ所新築工事																																																																																																																		
※ 福山市建築工事特記仕様書と内容が重複する場合は、福山市建築工事特記仕様書の特記内容を優先する。		工事場所 福山市神辺町地内																																																																																																																		
I 工事概要		図面 機械設備工事特記仕様書 No.1																																																																																																																		
1 工事名称	(仮称) 東中条ポンプ所新築工事	図面番号 AM-1	縮尺 -																																																																																																																	
2 工事場所	福山市神辺町地内	福山市上下水道局																																																																																																																		
3 用途地域	指定なし	設計年月 2026年1月																																																																																																																		
4 防火地域	・ 防火地域	・ 準防火地域	○ 指定なし																																																																																																																	
5 工事種別	○ 新築	・ 増築	・ 改築																																																																																																																	
6 敷地面積	241.59m ²																																																																																																																			
7 建物概要																																																																																																																				
<table border="1"> <tr><td>1) 構造 RC造 平屋建</td></tr> <tr><td>2) 面積 建築面積 31.42m²</td></tr> <tr><td>延べ面積 31.42m²</td></tr> <tr><td>概要</td></tr> <tr><td>3) 附属施設</td></tr> </table>				1) 構造 RC造 平屋建	2) 面積 建築面積 31.42m ²	延べ面積 31.42m ²	概要	3) 附属施設																																																																																																												
1) 構造 RC造 平屋建																																																																																																																				
2) 面積 建築面積 31.42m ²																																																																																																																				
延べ面積 31.42m ²																																																																																																																				
概要																																																																																																																				
3) 附属施設																																																																																																																				
<p>8 消防法令に準ずる防火対象物 消防法施行令別表一 (15) 項</p> <p>9 建築基準法施行規則に定める主要用途区分 ()</p> <p>* 本工事の初期には、工事検査期間として 日を含んでいる。</p> <p>* 契約締結後 日以内に実施工表を提出するものとする。</p> <p>* 本工事は、法定外の労災保険を見込んでいる。</p>																																																																																																																				
<p>II 工事項目 (○印のついたものを適用する。)</p> <table border="1"> <tr><th>工事種目</th><th>工事種目</th></tr> <tr><td>1. 給排水衛生設備工事</td><td>② 空気調和設備工事</td></tr> <tr><td>1 衛生器具設備工事</td><td>1 空気調和設備工事</td></tr> <tr><td>2 給水設備工事</td><td>② 換気設備工事</td></tr> <tr><td>3 排水設備工事</td><td>3 排煙設備工事</td></tr> <tr><td>4 給湯設備工事</td><td>4 自動制御設備工事</td></tr> <tr><td>5 消火設備工事</td><td></td></tr> <tr><td>6 廚房機器設備工事</td><td></td></tr> <tr><td>7 ガス設備工事</td><td></td></tr> <tr><td>8 净化槽設備工事</td><td></td></tr> </table>				工事種目	工事種目	1. 給排水衛生設備工事	② 空気調和設備工事	1 衛生器具設備工事	1 空気調和設備工事	2 給水設備工事	② 換気設備工事	3 排水設備工事	3 排煙設備工事	4 給湯設備工事	4 自動制御設備工事	5 消火設備工事		6 廚房機器設備工事		7 ガス設備工事		8 净化槽設備工事																																																																																														
工事種目	工事種目																																																																																																																			
1. 給排水衛生設備工事	② 空気調和設備工事																																																																																																																			
1 衛生器具設備工事	1 空気調和設備工事																																																																																																																			
2 給水設備工事	② 換気設備工事																																																																																																																			
3 排水設備工事	3 排煙設備工事																																																																																																																			
4 給湯設備工事	4 自動制御設備工事																																																																																																																			
5 消火設備工事																																																																																																																				
6 廚房機器設備工事																																																																																																																				
7 ガス設備工事																																																																																																																				
8 净化槽設備工事																																																																																																																				
<p>III 設備概要 (○印のついたものを適用する。)</p> <table border="1"> <tr><td>給水方式</td><td>・ 直結直圧式</td><td>・ 直結増圧式</td><td>・ 高層水槽式</td><td>・ 受水槽方式</td></tr> <tr><td>排水方式</td><td>・ 自然流下</td><td>・ ポンプ排水</td><td>(・ 汚物</td><td>・ 水</td><td>・ 雜排水)</td></tr> <tr><td>放流先</td><td>汚水</td><td>・ 直放流水管</td><td>・ 净化槽</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>雑排水</td><td>・ 直放流水管</td><td>・ 净化槽</td><td>・ 側溝</td><td>・ 別途樹</td></tr> <tr><td>給湯設備</td><td>方式 (・ 局所式</td><td>・ 中央式)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>熱源 (・ 電気</td><td>・ 都市ガス</td><td>・ 液化石油ガス</td><td>・ 灯油</td><td>・ A重油)</td></tr> <tr><td></td><td>・ 戸内消火栓</td><td>・ 連結送水管</td><td>・ 戸外消火栓</td><td>・ スプリングラン</td><td></td></tr> <tr><td>消防設備</td><td>・ 粉末消火</td><td>・ 消防水用</td><td>・ 泡消火</td><td>・ 連結散水</td><td>・ 消火器</td></tr> <tr><td></td><td>・ フード等用簡易自動消火</td><td></td><td>・ 二酸化炭素消火</td><td>・ 不活性ガス消火</td><td></td></tr> <tr><td>ガス設備</td><td>・ 都市ガス</td><td>種別 1 3 A (4.5 MJ/N口)</td><td>・ 液化石油ガス</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>浄化槽</td><td>・ 小規模合併処理</td><td>・ 合併処理</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>空気調和方式等</td><td>・ 空気調和 (・ 中央ダクト方式</td><td>・ 各階ユニット方式</td><td>・ パッケージ方式</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>・ ファンコイルユニット</td><td>・ ダクト併用方式</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>()</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>空気調和設備</td><td>・ 空調ボイラー</td><td>・ 鋼鉄製ボイラー</td><td>・ 温水発生機</td><td>・ チリングユニット</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>・ 空気熱源ヒートポンプユニット</td><td>・ 連冷却冷媒機</td><td>・ スクリュー冷凍機</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>・ 吸收冷凍機</td><td>・ 直冷吸収冷温水機</td><td>・ 小形吸収冷温水機ユニット</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>・ コージエネレーション装置</td><td>・ 水蓄熱ユニット</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>・ パッケージ型空気調和機</td><td>・ ガスエンジン式パッケージ型空気調和機</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				給水方式	・ 直結直圧式	・ 直結増圧式	・ 高層水槽式	・ 受水槽方式	排水方式	・ 自然流下	・ ポンプ排水	(・ 汚物	・ 水	・ 雜排水)	放流先	汚水	・ 直放流水管	・ 净化槽				雑排水	・ 直放流水管	・ 净化槽	・ 側溝	・ 別途樹	給湯設備	方式 (・ 局所式	・ 中央式)					熱源 (・ 電気	・ 都市ガス	・ 液化石油ガス	・ 灯油	・ A重油)		・ 戸内消火栓	・ 連結送水管	・ 戸外消火栓	・ スプリングラン		消防設備	・ 粉末消火	・ 消防水用	・ 泡消火	・ 連結散水	・ 消火器		・ フード等用簡易自動消火		・ 二酸化炭素消火	・ 不活性ガス消火		ガス設備	・ 都市ガス	種別 1 3 A (4.5 MJ/N口)	・ 液化石油ガス			浄化槽	・ 小規模合併処理	・ 合併処理				空気調和方式等	・ 空気調和 (・ 中央ダクト方式	・ 各階ユニット方式	・ パッケージ方式				・ ファンコイルユニット	・ ダクト併用方式					()					空気調和設備	・ 空調ボイラー	・ 鋼鉄製ボイラー	・ 温水発生機	・ チリングユニット			・ 空気熱源ヒートポンプユニット	・ 連冷却冷媒機	・ スクリュー冷凍機				・ 吸收冷凍機	・ 直冷吸収冷温水機	・ 小形吸収冷温水機ユニット				・ コージエネレーション装置	・ 水蓄熱ユニット					・ パッケージ型空気調和機	・ ガスエンジン式パッケージ型空気調和機			
給水方式	・ 直結直圧式	・ 直結増圧式	・ 高層水槽式	・ 受水槽方式																																																																																																																
排水方式	・ 自然流下	・ ポンプ排水	(・ 汚物	・ 水	・ 雜排水)																																																																																																															
放流先	汚水	・ 直放流水管	・ 净化槽																																																																																																																	
	雑排水	・ 直放流水管	・ 净化槽	・ 側溝	・ 別途樹																																																																																																															
給湯設備	方式 (・ 局所式	・ 中央式)																																																																																																																		
	熱源 (・ 電気	・ 都市ガス	・ 液化石油ガス	・ 灯油	・ A重油)																																																																																																															
	・ 戸内消火栓	・ 連結送水管	・ 戸外消火栓	・ スプリングラン																																																																																																																
消防設備	・ 粉末消火	・ 消防水用	・ 泡消火	・ 連結散水	・ 消火器																																																																																																															
	・ フード等用簡易自動消火		・ 二酸化炭素消火	・ 不活性ガス消火																																																																																																																
ガス設備	・ 都市ガス	種別 1 3 A (4.5 MJ/N口)	・ 液化石油ガス																																																																																																																	
浄化槽	・ 小規模合併処理	・ 合併処理																																																																																																																		
空気調和方式等	・ 空気調和 (・ 中央ダクト方式	・ 各階ユニット方式	・ パッケージ方式																																																																																																																	
	・ ファンコイルユニット	・ ダクト併用方式																																																																																																																		
	()																																																																																																																			
空気調和設備	・ 空調ボイラー	・ 鋼鉄製ボイラー	・ 温水発生機	・ チリングユニット																																																																																																																
	・ 空気熱源ヒートポンプユニット	・ 連冷却冷媒機	・ スクリュー冷凍機																																																																																																																	
	・ 吸收冷凍機	・ 直冷吸収冷温水機	・ 小形吸収冷温水機ユニット																																																																																																																	
	・ コージエネレーション装置	・ 水蓄熱ユニット																																																																																																																		
	・ パッケージ型空気調和機	・ ガスエンジン式パッケージ型空気調和機																																																																																																																		
<p>IV 機械設備工事仕様</p> <p>1 共通仕様</p> <p>面図及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官房営繕部監修公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) 令和4年版 (以下「標準仕様書」という。)、同官房営繕部設備・環境課監修公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) 令和4年版 (以下「標準図」という。)及び公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) 令和4年版による。</p> <p>建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれ公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) 及び公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) による。</p> <p>(1) 手序手続き</p> <p>受注者は各関係官署への必要な手続きを速やかに完了し、工事完成と同時に建物使用できるよう、一切の手続きを代行する。(水道加入金の納付手続きは除く。関係官署手続きは監督員の承認後とする。)</p> <p>(2) 地元企業及び地場製品の活用</p> <p>受注者は、地元企業及び地場製品の積極的な活用に努める。</p>																																																																																																																				
<p>(3) 施設に対する協議等</p> <p>設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取り合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督員と協議する。</p> <p>2 特記仕様</p> <p>(1)項目は、番号に○印のついたものを適用する。</p> <p>(2)特記項目は※印のついたものを適用する。</p> <p>3 引渡し後、次に示す点検を行う。(○印のついたものを適用する。)</p> <p>・ 引渡し後点検(第1次点検) 引渡しの概ね1年後</p> <p>・ 引渡し後点検(第2次点検) 引渡しの概ね2年後</p>																																																																																																																				
<p>11 足場</p> <p>建築工事等に伴う足場及び安全仮囲いは、無償にて使用できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事で設置する。 ・ 内部足場 (・ 単管足場 ・ 枝組足場) ・ 外部足場 (・ 枝組足場 ・ 単管足場) <p>※枝組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について、「厚生労働省平成21年4月」の手すり先行工法に関するガイドラインによるものとし、足場の組立、解体変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。</p> <p>12 施工中の安全確保</p> <p>同一場所で契約書に基づく開通工事が行われる場合は、労働安全衛生法第30条第2項に基づき、当該工事について、同条第1項に規定する措置を講ずべき者として本工事現場代理人を指名する。</p> <p>13 工事実績情報システム(CORINS)への登録</p> <p>本工事は、交通誘導員として人を見込んでいる。交通誘導員の配置については、実施伝票(原本)および配置状況のわかる立会写真の撮影を行い、監督員に提出する。</p> <p>※受注者は、次回に依り、工事実績情報システム(CORINS)へ登録する。</p> <p>登録内容について、あらかじめ監督員の確認を受けたのち、次回の期間内に登録申請を行う。ただし次回には、土曜日・日曜日・祝日・年末年始の閉店日を除く。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>請負金額</th> <th>工事受注時</th> <th>登録内容の変更時</th> <th>工事完成時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>500万円以上</td> <td>契約約10日以内</td> <td>変更契約約10日以内</td> <td>工事完成後10日以内</td> </tr> </tbody> </table> <p>変更金額は、工期・技術者等に変更が生じた場合に行う(請負金額のみ変更の場合、登録不要)※登録後は速やかに登録されたことを明確にする資料を監督員に提出する。</p> <p>なお、工事と工事完成時の間が10日以内に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。(登録要)本工事は、インターネットを利用して、受注者間の情報を効率的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事である。</p> <p>本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事共通情報共有システム」とし、当該サービス提供との契約は受注者が利用料を支払うものとする。</p> <p>運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領(建築工事)」及び「情報共有システム利用手引(建築工事)」によるものとする。</p> <p>・ 受注者指定型</p> <p>共通設置として情報共有システムの利用料を見込んでいる。</p> <p>受注者は、本システムを利用できない特別の事由がある場合は、工事着手までに当該事由を記載した工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで本システムを利用しないことができる。</p> <p>・ 受注者希望型(契約時の請負金額が500万円以上のものに限る)</p> <p>工事費には情報共有システムの利用料を見込んでいる。</p> <p>本システムの利用を希望する受注者は、工事着手までに工事打合せ簿により、監督員にその旨を申し出、本システムを利用することとする。</p> <p>その場合の請負金額の変更については、情報共有システムの利用料を共通設置費に見込むものとし、本システムの利用を確認した後に変更契約を行うものとする。</p> <p>14 情報共有システム</p> <p>15 測定表</p> <p>下記項目の測定を行わない監督員に提出する()部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 溫度 ・ 濕度 ・ 風量 ・ 風速 ・ 搖動 ・ 氣流 ・ 壓強 <p>・ 飲料水(飲用水)の水質</p> <p>・ 凈化槽の放流水質</p> <p>・ 化學物質の濃度</p> <p>測定項目等は、監督員の指示による。</p> <p>16 説明板</p> <p>監督員と協議の上、設備機器類(ボイラー、冷凍機、ポンプ、空気調和機等)及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明版を作成し、指示する箇所に取付ける。</p> <p>特記すべき場合は、E M電線・ケーブルとする。</p> <p>標準仕様書によるほか下記による。</p> <p>・ 電線フロット図に適合するのとする。</p> <p>・ ボイラーや冷温水機等の附屬盤の始動スイッチ二次側に煤煙濃度計用の電源端子を設ける。接点及び端子は、標準仕様書を * 適用する・機器表特記による</p> <p>インバーター用の端子及び操作盤は標準仕様書を * 適用する・機器表特記による</p> <p>・ 成合ゴム製(珠形)・ペローズ形</p> <p>標準仕様書によるほか下記の所に設ける。(被替部分は・鉄製・コンクリート製)</p> <p>排水管を除く地中配管には、土被り150mm程度の深さに埋設表示用テープを埋設する。</p> <p>既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>・ 放射線透析査等</p> <p>工事の施工に伴い既成部分を汚染または損傷した場合は、既成ならぬ補修する。</p> <p>また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入(搬出)する場合は、次回により計画書(実施書)を提出する。なお、これにより無い場合は、監督員と協議する。</p> <p>施工計画時 工事完了時</p> <p>搬入 再生資源利用計画書 再生資源利用実施書</p> <p>搬出 再生資源利用促進計画書 再生資源利用促進実施書</p> <p>17 電線類</p> <p>18 機器附属の制御盤</p> <p>19 防振継手</p> <p>20 埋設表示</p> <p>21 はつり工事</p> <p>22 補修など</p> <p>23 支持金物・固定金具</p> <p>24 耐震施工</p> <p>25 保温材</p> <p>26 鋼管類の地中埋設</p> <p>27 鋼管類の地中埋設 (コンクリート内等)</p> <p>28 塗装</p> <p>29 スリーブ</p> <p>30 機器性能</p> <p>31 電気容量</p> <p>32 防火区画の貫通処理</p> <p>33 溶接配管の検査</p> <p>34 化学物質の測定</p> <p>35 施工調査</p> <p>36 その他</p> <p>37 仮設工事</p> <p>38 衛生器具設備</p> <p>39 1 衛生陶器附属品</p> <p>40 2 大便器</p> <p>41 3 小便器</p> <p>42 4 大便器洗浄弁</p> <p>43 5 洗浄用タンク</p> <p>44 6 便座</p> <p>45 7 化粧棚</p> <p>46 8 化粧鏡</p> <p>47 9 和風便器耐火力バー</p> <p>48 10 手洗器</p> <p>49 11 洗面器</p> <p>50 12 紙巻器</p> <p>51 13 水栓</p> <p>52 14 水セッキン入れ (水セッキン共)</p> <p>53 15 セッキン受け</p> <p>54 (屋内)</p> <p>55 1 給水方式</p> <p>56 2 管</p> <p>57 16 説明板</p> <p>58 17 電線類</p> <p>59 18 機器附属の制御盤</p> <p>60 19 防振継手</p> <p>61 20 埋設表示</p> <p>62 21 はつり工事</p> <p>63 22 補修など</p> <p>64 23 支持金物・固定金具</p> <p>65 24 耐震施工</p> <p>66 25 保温材</p> <p>67 26 鋼管類の地中埋設</p> <p>68 27 鋼管類の地中埋設 (コンクリート内等)</p> <p>69 28 塗装</p> <p>70 29 スリーブ</p> <p>71 30 機器性能</p> <p>72 31 電気容量</p> <p>73 32 防火区画の貫通処理</p> <p>74 33 溶接配管の検査</p> <p>75 34 化学物質の測定</p> <p>76 35 施工調査</p> <p>77 36 その他</p> <p>78 37 仮設工事</p> <p>79 38 衛生器具設備</p> <p>80 39 1 衛生陶器附属品</p> <p>81 40 2 大便器</p> <p>82 41 3 小便器</p> <p>83 42 4 大便器洗浄弁</p> <p>84 43 5 洗浄用タンク</p> <p>85 44 6 便座</p> <p>86 45 7 化粧棚</p> <p>87 46 8 化粧鏡</p> <p>88 47 9 和風便器耐火力バー</p> <p>89 48 10 手洗器</p> <p>90 49 11 洗面器</p> <p>91 50 12 紙巻器</p> <p>92 51 13 水栓</p> <p>93 52 14 水セッキン入れ (水セッキン共)</p> <p>94 53 15 セッキン受け</p> <p>95 54 (屋外)</p> <p>96 55 1 給水方式</p> <p>97 56 2 管</p> <p>98 57 3 井</p> <p>99 58 4 説明板</p> <p>100 59 5 電線類</p> <p>101 60 6 機器附属の制御盤</p> <p>102 61 7 防振継手</p> <p>103 62 8 埋設表示</p> <p>104 63 9 はつり工事</p> <p>105 64 10 補修など</p> <p>106 65 11 支持金物・固定金具</p> <p>107 66 12 耐震施工</p> <p>108 67 13 保温材</p> <p>109 68 14 鋼管類の地中埋設</p> <p>110 69 15 鋼管類の地中埋設 (コンクリート内等)</p> <p>111 70 16 塗装</p> <p>112 71 17 スリーブ</p> <p>113 72 18 機器性能</p> <p>114 73 19 電気容量</p> <p>115 74 20 防火区画の貫通処理</p> <p>116 75 21 溶接配管の検査</p> <p>117 76 22 化学物質の測定</p> <p>118 77 23 施工調査</p> <p>119 78 24 その他</p> <p>120 79 25 仮設工事</p> <p>121 80 26 衛生器具設備</p> <p>122 81 27 1 衛生陶器附属品</p> <p>123 82 28 2 大便器</p> <p>124 83 29 3 小便器</p> <p>125 84 30 4 大便器洗浄弁</p> <p>126 85 31 5 洗浄用タンク</p> <p>127 86 32 6 便座</p> <p>128 87 33 7 化粧棚</p> <p>129 88 34 8 化粧鏡</p> <p>130 89 35 9 和風便器耐火力バー</p> <p>131 90 36 10 手洗器</p> <p>132 91 37 11 洗面器</p> <p>133 92 38 12 紙巻器</p> <p>134 93 39 13 水栓</p> <p>135 94 40 14 水セッキン入れ (水セッキン共)</p> <p>136 95 41 15 セッキン受け</p> <p>137 96 42 (屋外)</p> <p>138 97 43 1 衛生陶器附属品</p> <p>139 98 44 2 大便器</p> <p>140 99 45 3 小便器</p> <p>141 100 46 4 大便器洗浄弁</p> <p>142 101 47 5 洗浄用タンク</p> <p>143 102 48 6 便座</p> <p>144 103 49 7 化粧棚</p> <p>145 104 50 8 化粧鏡</p> <p>146 105 51 9 和風便器耐火力バー</p> <p>147 106 52 10 手洗器</p> <p>148 107 53 11 洗面器</p> <p>149 108 54 12 紙巻器</p> <p>150 109 55 13 水栓</p> <p>151 110 56 14 水セッキン入れ (水セッキン共)</p> <p>152 111 57 15 セッキン受け</p> <p>153 112 58 (屋内)</p> <p>154 113 59 1 衛生陶器附属品</p> <p>155 114 60 2 大便器</p> <p>156 115 61 3 小便器</p> <p>157 116 62 4 大便器洗浄弁</p> <p>158 117 63 5 洗浄用タンク</p> <p>159 118 64 6 便座</p> <p>160 119 65 7 化粧棚</p> <p>161 120 66 8 化粧鏡</p> <p>162 121 67 9 和風便器耐火力バー</p> <p>163 122 68 10 手洗器</p> <p>164 123 69 11 洗面器</p> <p>165 124 70 12 紙巻器</p> <p>166 125 71 13 水栓</p> <p>167 126 72 14 水セッキン入れ (水セッキン共)</p> <p>168 127 73 15 セッキン受け</p> <p>169 128 74 (屋外)</p> <p>170 129 75 1 衛生陶器附属品</p> <p>171 130 76 2 大便器</p> <p>172 131 77 3 小便器</p> <p>173 132 78 4 大便器洗浄弁</p> <p>174 133 79 5 洗浄用タンク</p> <p>175 134 80 6 便座</p> <p>176 135 81 7 化粧棚</p> <p>177 136 82 8 化粧鏡</p> <p>178 137 83 9 和風便器耐火力バー</p> <p>179 138 84 10 手洗器</p> <p>180 139 85 11 洗面器</p> <p>181 140 86 12 紙巻器</p> <p>182 141 87 13 水栓</p> <p>183 142</p>				請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時	500万円以上	契約約10日以内	変更契約約10日以内	工事完成後10日以内																																																																																																									
請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時																																																																																																																	
500万円以上	契約約10日以内	変更契約約10日以内	工事完成後10日以内																																																																																																																	

排水設備	(屋内)	1 管 (第1枚まで)	* 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP (・露出部 カラーVP) ・排水用鉛管 (SHASE-S 203) ・コーティング鋼管 ・耐火二層管 ・配管用炭素鋼管 (JIS G 3452) SGP	1 種別 2 管 ガス設備	・都市ガス ・液化石油ガス ・配管用炭素鋼管 (JIS G 3452) (白管) ・圧力配管用炭素鋼管 (JIS G 3454) (黒管) ・ガス用ステンレス鋼フレキシブル管 ・ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774) ・ポリエチレン被覆管 (JIS G 3469) ・塩化ビニル被覆管 ・鋼管継手 (垂船メッキ) ・PLS継手同等品以上、溶接継手 ・() kg × () 本立 無 ・バルブ貯蔵 () kg ・別図による ・遮断弁 ・ガス漏れ警報器 ・取付は (・木工事・別途工事) とする。 ・配線接続は (・木工事・別途工事) とする。 コントローラーは圧力確認爆形とする。 ・本工事は、当地区ガス会社責任施工とする。 気密試験は、配管途中埋戻前又は、配管完了後監督員立会いの上試験を行う。	1 中央監視制御装置 2 電源装置 3 計装工事の配線 自動制御設備	・有り (構成機能図は図示による) ・無し ・要 (・木工事・別途工事) ・不要 屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。	工事名 (仮称)東中条ポンプ所新築工事 工事場所 福山市神辺町地内 図面 機械設備工事特記仕様書 No.2 図面番号 AM-2 縮尺 -
	2 通気管		・配管用炭素鋼管 (JIS G 3452) SGP ・硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP (・露出部 カラーVP) ・耐火二層管 ・建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管	3 繋手 4 プロパンガス集合装置 5 機器等 6 遮断装置等 7 その他				
	3 溝水試験継手		3階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに溝水試験継手を取付ける。					
	4 ピット内配管保溫	(屋外)	・施工する ・施工しない					
	5 方式		・自然排水 ・ポンプ排水					
	6 管		・硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) (・VP * VU)					
	7 インバート樹		SA、AB形 ・SC形 ・小口径					
	8 インバート樹用蓋		・塩ビ製 ・鋳鉄製 (・MHA・MHB・小口径用防護ハット)					
	9 排水樹		RA、RB形 ・SC型 ・小口径					
	10 排水樹用蓋		・塩ビ製 ・鋳鉄製 (・MHA・MHB・小口径用防護ハット)					
	11 埋設深さ		・グレーチング ・鉄板製 ② 6m/m ・300m/m以上 (車両道路) ・600m/m以上 (車両道路) ・勾配図による。					
	12 その他		・配管工事完了後、防露工事前に監督員立会の上、透水試験を行う。 ・配管途中、埋戻し前又は配管完了後、防露工事前に監督員立会の上、溝水試験を行う。					
給湯設備	1 方式		・単管式 ・復管式					
	2 管		・銅管 (JIS H 3300) (・Mタイプ・Lタイプ) ・被覆鋼管 (呼び径20までとする)					
			・水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SG PW					
			・保溫付被覆鋼管 (JIS H 3300の外面に発泡断熱材 (14mm以上) で被覆したもの)					
			・一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS 304					
			・架橋ポリエチレン管 ・ポリブテン管					
消防設備	3 扱		・JIS 10K ・JIS 5K					
	4 热源		・ボイラ () ・電気温水器 () ・ヒートポンプ式給湯器 ()					
	5 膨張水槽		・ステンレス製 () ・鋼板製 ()					
	6 その他		・コンクリート埋設管内の保溫はアスファルトジョート1回巻きとする。					
			配管終了後、保溫施工前に監督員立会の上、規定の水圧試験を行う。					
消火設備	1 管		・水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SG PW ・圧力配管用炭素鋼管 (第2種亜鉛メッキ製品) (JIS G 3454) ST PG ・配管用炭素鋼管 (JIS G 3452) SGP ・消防用硬質塩化ビニル外被覆鋼管 (WSP-041) SGP-VS					
			※消防用配管は、消防法令に適合するものとする。					
	2 扱		・JIS 10K					
	3 消火栓箱		・総合形 (・HB-1A・HB-1B) ・単独形 (・HB-2A・HB-2B)					
	4 水源用水槽		・総合形 (・HB-4A・HB-4B) ・消防蓄水槽併設形 (・HB-1AS・HB-1BS)					
	5 消火ポンプユニット		・ステンレス製 () ・鋼板製 ()					
	6 ポンプ基礎		・認定型 φ× □/min × m kW × 台					
	7 消火器		・標準型 () ・本 () 本 ・収納箱共、置台共、壁掛フック共					
	8 保溫		イ) 呼水タクシの保溫 ・施工しない ・施工する					
浄化槽設備	9 その他		ロ) 充水タンクの保溫 ・施工しない ・施工する					
			ハ) 消火配管の保溫は次による。 ・屋内消火栓用 ・施工しない ・施工する					
			・スプリングラー用 ・施工しない ・施工する					
処理槽設備			・連結送水用 ・施工しない ・施工する					
			・連結軟水用 ・施工しない ・施工する					
			水圧試験及び消防用設備等についての試験基準に基づく外観試験及び性能試験を行う。					
	1 処理種別		・小規模合併処理 ・合併処理 ・単独処理槽					
	2 構造		・放流水質 (・BOD mg/口以下 ・T-N mg/口以下) ・COD mg/口以下 ・T-P mg/口以下)					
	3 形式・容量		・分離接触ばつ氣方式 ・長時間ばつ氣方式 ・分離ばつ氣方式					
	4 排水方式		・ユニット型 () ・現場施工型 () ・自然排水 ・ポンプ排水 ()					
	5 マンホール		・MHA型 ・MHB型 ・製造者の規格品					
	6 その他		工事竣工後、6ヶ月間は試運転調整とし、 処理水試験及び配管の溝水、水圧、通水、空気圧試験を行う。 槽の水張り試験及び配管の溝水、水圧、通水、空気圧試験を行う。 無償保守点検期間中の消耗薬剤については、受注者において準備し、期間終了後の引越時までに必要薬剤名やその量を報告する。					

設計年月2026年1月

工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	換気設備、機器表、平・断面図		
図面番号	AM-3	縮尺	1:30
福山市上下水道局			

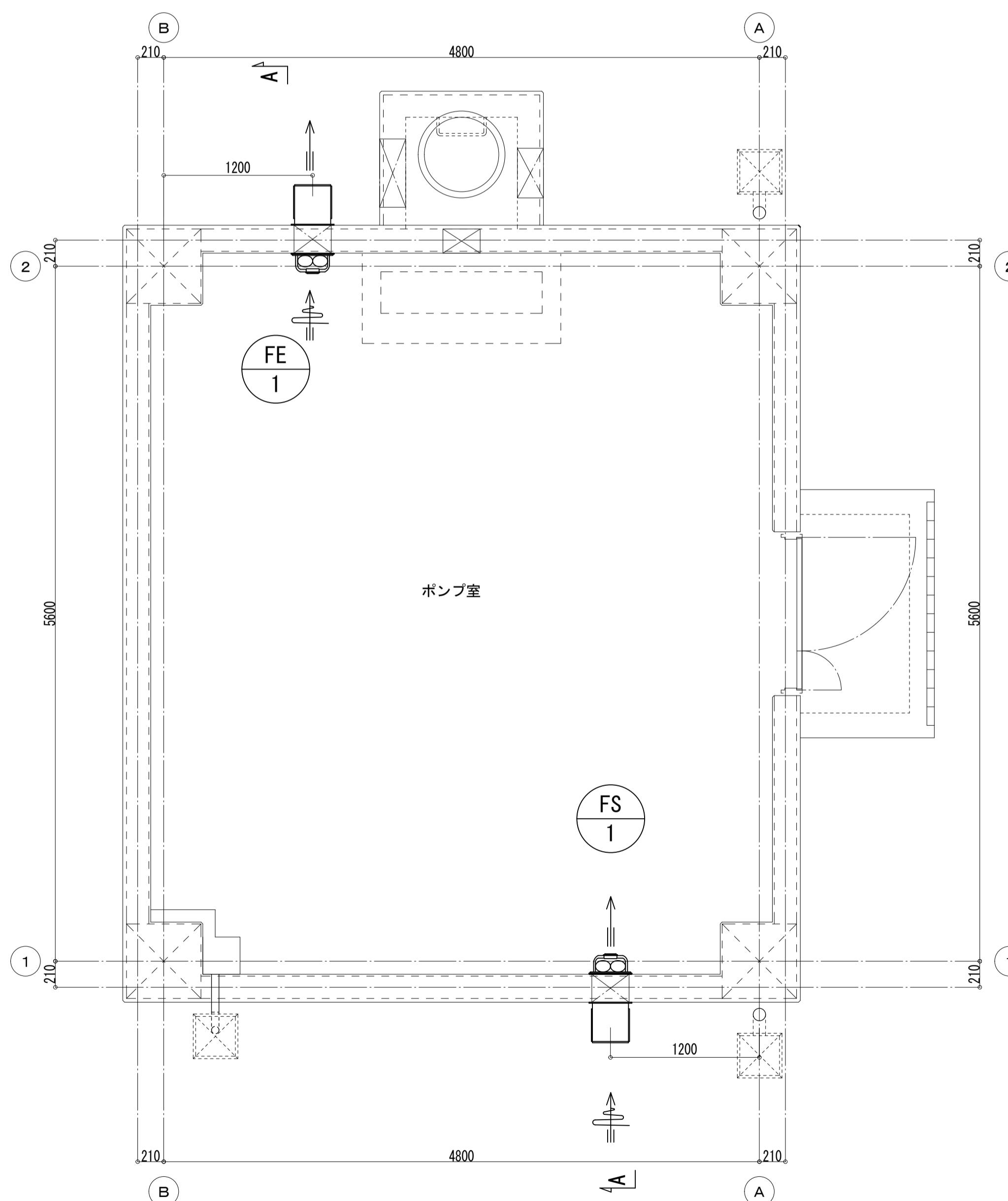
設計年月2026年1月
A3 50%縮小縮尺



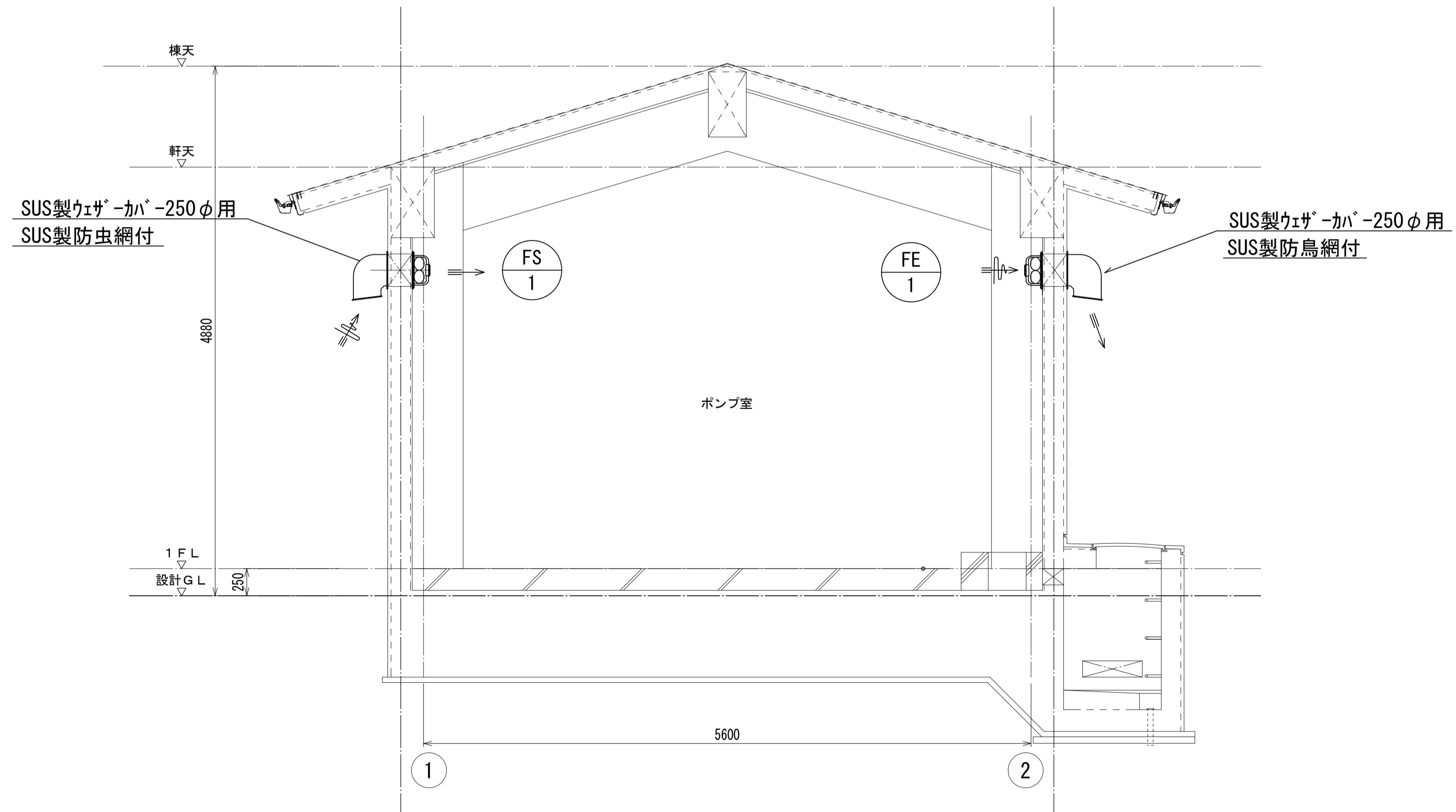
換気設備 機器表

記号	機器名	仕様・付属品	電源	電気容量	台数	設置場所	備考
FS-1	給気ファン	型式：有圧換気扇 給気用低騒音形 ステンレス製 能力：250φ × 650 m³/h × 50 Pa 付属品：SUS製電動式シャッター、SUS製保護がード、 SUS製カバーカバー（指定色焼付塗装） SUS製防虫網付）、SUS製取付枠 他標準付属品一式	1φ-100V	53W	1	ポンプ室	FE-1と連動
FE-1	排気ファン	型式：有圧換気扇 排気用低騒音形 ステンレス製 能力：250φ × 650 m³/h × 40 Pa 付属品：SUS製風圧式シャッター、SUS製保護がード、 SUS製カバーカバー（指定色焼付塗装） SUS製防虫網付）、SUS製取付枠 他標準付属品一式	1φ-100V	50W	1	ポンプ室	FS-1と連動

(注記) 1. 電気容量は、参考値とする。



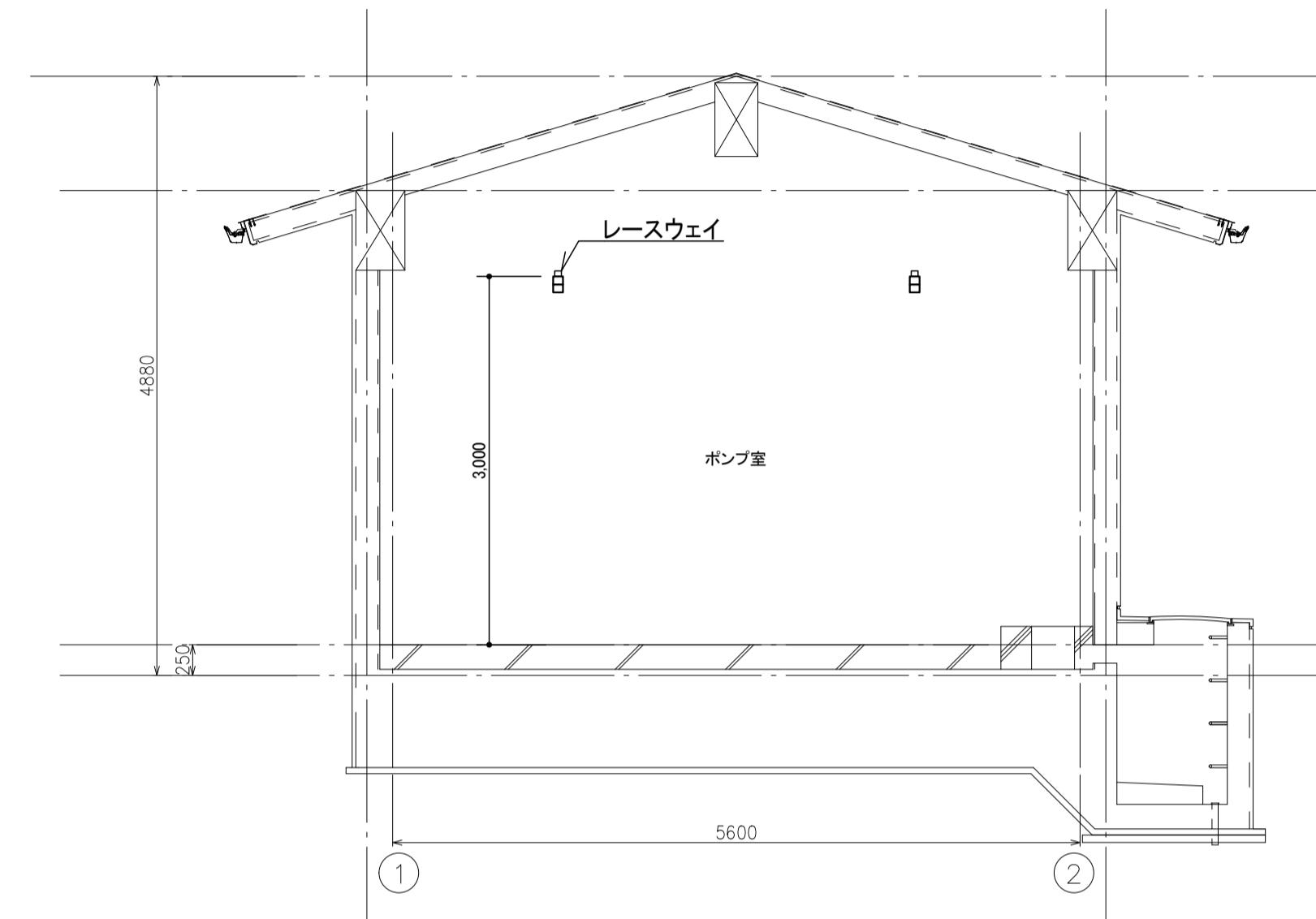
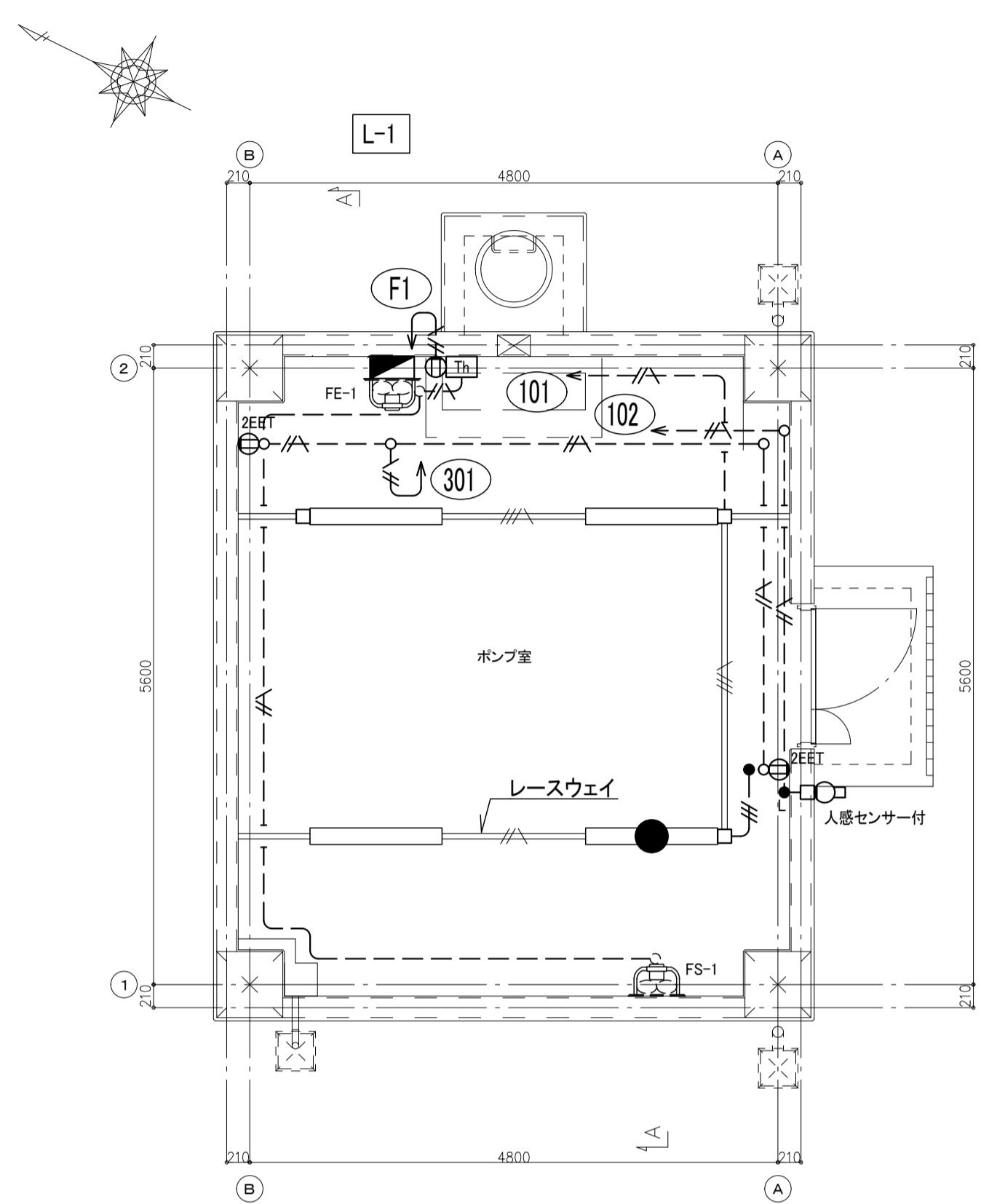
1階平面詳細図 S = 1 / 30



A-A断面図 S = 1 / 30

工事名	(仮称)東中条ポンプ所新築工事		
工事場所	福山市神辺町地内		
図面	電灯・コンセント設備 平面図		
図面番号	AE-2	縮尺	1:50

設計年月 2026年1月
A3 50%縮小縮尺



A - A 断面詳細図 S=1/50

電灯・コンセント設備 平面詳細図 S=1/50

凡例

記号	名称
■	電灯分電盤
—	照明器具 (レースウェイ付)
●—●	非常用照明器具 (レースウェイ付)
●	埋込スイッチ IP15A×1 新金属プレート
● L	埋込動作確認灯付スイッチ IP4A(LED)オルビカ 新金属プレート
① ZEET	埋込コンセント 2P15A×2 接地極・接地端子付 新金属プレート
[■]	サーモスイッチ
—	配管配線 天井埋設
—	配管配線 地中埋設
—	配管配線 床埋設
—	空配管
—	配管配線 露出
—	レースウェイ
—	配管配線 ケーブル工事
—	ケーブルラック
—	配管配線 床下(0.04m)内ケーブル工事
—	配管配線 立上り・素通し・立下げ、J07~内立上げ立下げ

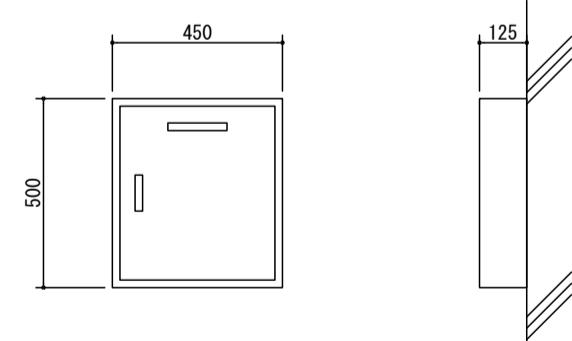
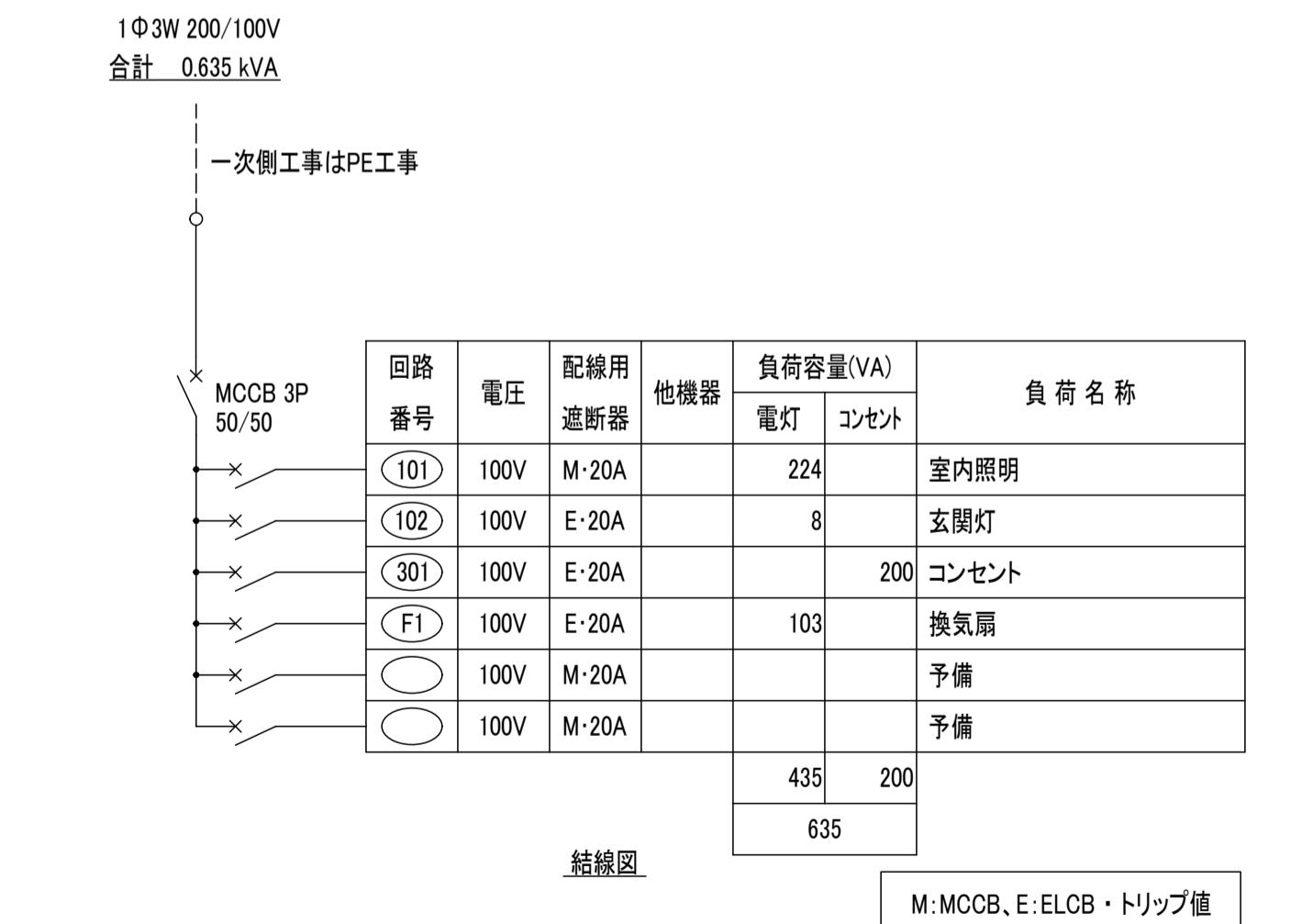
注記

- 1.特記なき配管線は下記とする。
 — EM-IE 2.0×2 (HIVE16)
 — EM-IE 2.0×2 E2.0 (HIVE16)
 — EM-IE 2.0×3 (HIVE16)
- EM-IE 2.0×2 E2.0 2種金属継ぎ40×45
 — EM-IE 2.0×3 E2.0 2種金属継ぎ40×45
 — EM-IE 2.0×4 E2.0 2種金属継ぎ40×45

照明器具姿図



分電盤(L-1)結線図、参考姿図



鋼板製屋内壁掛型
参考姿図
注記寸法は参考とする

参考数量書

§ 工事名称 (仮称) 東中条ポンプ所新築工事

§ 工事場所 福山市 神辺町地内

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

※ 「建築設備数量積算基準・同解説」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

工事名称 (仮称) 東中条ポンプ所新築工事

工事場所 福山市神辺町 地内

工事概要

- ・構造 RC造 平屋建
- ・規模 延べ面積 31.42m²
- ・その他 擁壁工 一式
- ・換気設備工事 一式
- ・電灯設備工事 一式

工事種別内訳

2

建築工事					
名 称	数 量	単位	金 額	備 考	
直接仮設	1	式			
土工	1	式			
地業	1	式			
鉄筋	1	式			
コンクリート	1	式			
型枠	1	式			
防水	1	式			
タイル	1	式			
屋根及びとい	1	式			
金属	1	式			
左官	1	式			
建具	1	式			
塗装	1	式			
内外装	1	式			
ユニット及びその他	1	式			
計					

建築工事					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 領	備 考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
地業	地業	1	式		
計					
鉄筋	軸体	1	式		
計					
コンクリート	軸体	1	式		
コンクリート	内部仕上	1	式		
計					
型枠	軸体	1	式		
型枠	外部仕上	1	式		
型枠	内部仕上	1	式		
計					
防水	外部	1	式		
計					
タイル	外部	1	式		
計					
屋根及びとい	外部	1	式		

建築工事						
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 頓	備 考	
計						
金属	外部	1	式			
金属	内部	1	式			
計						
左官	外部	1	式			
左官	内部	1	式			
計						
建具	鋼製建具	1	式			
計						
塗装	外部	1	式			
計						
内外装	内部	1	式			
計						
ユニット及びその他	内部	1	式			
計						

建築工事 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単 位	单 價	金 領	備 考
遣方		1	式			別紙 00-0001
遣方	小規模	31.4	m ²			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0002
墨出し	小規模 - -	31.4	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0003
養生	小規模 - -	31.4	m ²			
計						
整理清掃 後片付け		1	式			別紙 00-0004
整理清掃 後片付け	小規模 - -	31.4	m ²			
計						
外部足場		1	式			別紙 00-0005
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 12m未満 - -	137	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用	31.2	m			
計						

建築電気設備工		電灯設備		電灯コンセント分岐		
名 称	摘 要	数 量	単 位	单 価	金 領	備 考
配線器具		1	式			別紙 00-0023
タソフラスイッチ	連用(ネーム無) 1P15A	1	個			
スイッチ (金属プレート付)	IP4A (L)	1	個			
コンセント (金属プレート付)	連用形2P15A×1 - 125V	1	個			
コンセント (金属プレート付)	連用形2P15A×2 (接地極×2 接地端子×1付 一体形) 125V	2	個			
計						
電線		1	式			別紙 00-0024
600V耐燃性ホリエチレン絶縁電線(EM-IE)	2.0mm	176	m			
計						
電線管		1	式			別紙 00-0025
耐衝撃性 硬質ビニル管(HIVE)	露出配管 16mm	49	m			
計						
金属線び		1	式			別紙 00-0026
2種金属線び(MM2)	C型 幅40×高さ45mm	10	m			
計						

